平成 18 年度
三重県埋蔵文化財年報

2007（平成 19）年 8 月
三重県埋蔵文化財センター

はじめに

三重県では、教育委員会事務局の地域機関のひとつである三重県埋蔵文化財センターは、平成元年の斎宮歴史博物館の設置に伴ってこれに併設され、作業スペース不足や出土品の収蔵施設の管理に悩まされつつ、各種開発事業の事業地内に所在する埋蔵文化財を事前に発掘調査し、次善の策としての記録保存をはかり、開発事業の円滑な推進に資することが最大の使命とされてきました。

これまでに諸先輩方によって積み重ねられてきた、事前協議のルール化や事業地内における埋蔵文化財の有無の確認など、現状保存に向けた努力は今日も続けられ、少しずつでも充実しています。

しかし、効率性や経済性が優先となる近頃、郷土文化の保全や地域の振興といった呼びかけも、その根本となる歴史文化である様々な身近にある文化財にもっと目を向けていく必要があるのではないでしょうか。

三重県埋蔵文化財センターで長い間に蓄積してきた膨大な埋蔵文化財資料の県民への公開や活用、県内外の市町との情報交換や連携をはじめ様々な平成18年度の取り組みをここにまとめさせて頂きました。

地域における、埋蔵文化財の保護や文化の充実発展に少しでも参考とする基礎資料になればと願っています。

文末になりましたが、本年報をまとめるに当たりましてご協力を賜りました各市町教育委員会並びに関係各位に感謝申し上げます。

平成19年8月

三重県埋蔵文化財センター
所　長　吉水　康夫

例　　言

1　本書は、平成18年度における三重県埋蔵文化財センターの事業概要と、三重県内の発掘調査の概要をまとめたものである。

2　本書の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、三重県埋蔵文化財センター支援研究課が行った。

3　第４章には、平成18年度の三重県内発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館・県内市町が担当した発掘調査成果を掲載している。なお、内容については関係市町教育委員会並びに各発掘調査担当者の協力を得た。したがって、原稿については提出されたものをそのまま掲載しており、表現の統一はしていない。

4　第６章の「１　県内の遺跡数」については、三重県生活創造圏ビジョン推進条例によって策定された９つの生活創造圏によって三重県内を区分し、種類については周知の埋蔵文化財包蔵地の実態調査（文化庁　平成18年8月3日付18財記念第31号　依頼）にならって掲載した。

5　第６章の「２　県内発掘調査の経年変化」の分類は、以下の方法によって行い、各担当機関で分類した。

- 土地改良など：ほ場整備・畑地造成など
- 道路・河川等：道路・河川等の建設・改良工事のほか、ダム建設、それらに関わる側溝工事・舗装工事など
- ゴルフ場：ゴルフ場建設及びそれに付帯する工事
- 団地･個人住宅：個人・共同住宅・店舗付住宅建設、解体、宅地造成、土地区画整理など
- 工場造成地：大規模な生産施設・工場建設及びそれに付帯する工事
- 土取りなど：砂利採取など
- その他：学術調査、教育施設・福祉施設・公園・その他公共施設関係、上下水道工事、ガス管工事、浄化槽工事、電柱工事、駐車場整備、店舗など商業施設関係、娯楽施設など前述の調査原因に当てはまらないもの

6　第６章の「２　県内発掘調査の経年変化」における県埋蔵文化財センター担当分については、数値に誤りがあったため、今回再集計を行った。

目　次

1　公開・普及活動 …… 1
1　埋蔵文化財センターのこの一年 …… 1
2　展覧会事業 …… 5
3　資料閲覧・掲載・貸出実績 …… 7
4　ホームページの開設 …… 10
5　刊行物 …… 11
オンディマンド印刷 …… 11

2　資料の整理・保管 …… 12
1　整理状況 …… 12
2　保管状況 …… 12
3　科学的保存処理 …… 12
4　三重県指定有形文化財（考古資料）の所蔵 …… 13

3　埋蔵文化財技術者養成 …… 14
1　埋蔵文化財発掘技術者研修（教職員研修） …… 14
平成 18 年度　埋蔵文化財教職員研修実施要項 …… 15
2　埋蔵文化財発掘調査市町職員研修 …… 16
三重県埋蔵文化財発掘調査市町職員研修実施要項 …… 16
3　埋蔵文化財専門担当者会議 …… 18
4　埋蔵文化財行政基礎講座 …… 22
三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項 …… 22
5　市町支援 …… 23

4　県内の発掘調査 …… 24
1　本発掘調査 …… 24
2　範囲確認調査 …… 28
3　工事立会 …… 35
4　本調査の概要 …… 41

5　組織・職員・施設 …… 64
1　組織・分掌事務 …… 64
2　職員一覧 …… 65
3　施設概要 …… 65
4　各種研修・資料調査 …… 66

6　行政資料 …… 68
1　県内遺跡数 …… 68
2　県内発掘調査の経年変化 …… 68

1　公開・普及活動

1　埋蔵文化財センターのこの一年

三重県埋蔵文化財センターでは、県民や学校教育現場からの様々なニーズにこたえるため、出土した遺物等を持参して行う「出前講座」やセンターでの業務を紹介する「バックヤードツアー」、遺跡の発掘そのものに触れていただく「遺跡見学」・「現地説明会」などを行っている。今年度は出前講座20件・5,858名、バックヤードツアー(BT)47件・3,103名、遺跡見学６件・73名、現地説明会５件、555名の参加があった。

4月

土器ってどんなの？
(バックヤードツアー)

27日(木)	亀山市立神辺小学校	出前講座	28名	遺物を用いた地域学習

19日(水)	松阪市立山室山小学校	6年生	(BT)	96名
21日(金)	津市立育生小学校	6年生	(BT)	88名
	松阪市立中川小学校	5・6年生	(BT)	157名
	津市立西ヶ丘小学校	6年生	(BT)	156名
	伊勢市立北浜小学校	6年生	(BT)	39名
25日(火)	松阪市立鵲小学校	5・6年生	(BT)	55名
	伊勢市立明倫小学校	6年生	(BT)	77名
26日(水)	松阪市立東部中学校	1年生	(BT)	129名
27日(木)	松阪市立東黒部小学校	4・5年生	(BT)	26名
28日(金)	伊勢市立明野小学校	6年生	(BT)	88名
	松阪市立第五小学校	5年生	(BT)	91名
	津市立桃園小学校	5・6年生	(BT)	66名
	伊勢市立豊浜西小学校	6年生	(BT)	44名

5月

14日(日)	鈴鹿市考古博物館	出前講座	200名	「ヤマトタケルの考古学」
15日(月)	津市立黒田小学校	出前講座	34名	土器製作(施文具使用) 縄文・古墳時代土器の学習
21日(日)	丁長遺跡現地説明会	現地説明会	130名	
25日(木)	四日市市立中部西小学校	出前講座	67名	地域の縄文～古墳、近世の暮らしの概説 土器の施文体験

1日(月)	松阪市立機殿小学校	4～6年生	(BT)	37名
	明和町立明星小学校	6年生	(BT)	38名
2日(火)	松阪市立豊田小学校	1～6年生	(BT)	152名
	伊勢市立進修小学校		(BT)	40名
12日(金)	修道小学校	6年生	(BT)	81名
	伊勢市立御薗小学校		(BT)	113名
18日(木)	伊勢市立宮川中学校	2年生	(BT)	128名
25日(木)	明和町立下御糸小学校	6年生	(BT)	24名
30日(火)	松阪市立漕代小学校	6年生	(BT)	16名
31日(水)	玉城町立有田小学校	6年生	(BT)	24名

6月

3日(土)	名張市美旗市民センター	出前講座	71名	美旗古墳群と被葬者を考える
13日(火)	津市立明小学校	出前講座	19名	地域の遺物実見 縄文土器の施文体験。
23日(金)	県立みえ夢学園高等学校	出前講座	112名	「安濃津」の遺跡・遺物解説
29日(木)	津市立雲出小学校	出前講座	76名	雲出島貫・宮間戸遺跡の出土遺物を中心とした歴史学習。

18日(火)

平成18年度子ども展「三重の大昔へタイムスリップ」

4日(日)

7月

9日(日)	島ヶ原公民館	出前講座	34名	木津川流域における島ヶ原の文化遺産					
15日(土)	朝日町歴史博物館	出前講座	41名	天下統一と北伊勢の城ー秀吉・家康・信雄ー					
					25日(火)	高田高等学校	東沖遺跡見学	8名	
29日(土) 30日(日)	こどもかんきょう体感フェア2006「Mieちびっこエコ王国大会」		4,800名	たいけんコーナーに「縄文土器の模様付け」を出展					

8月

上手に勾玉できるかな？
(出前講座：勾玉作り)

									5日(土)
20日(日)	森庵遺跡現地説明会	現地説明会	80名						
24日(木)	松尾きっずクラブ	出前講座	36名	パネル説明と滑石を使って製作する自分たちの勾玉づくり	24日(木)	個人	木造赤坂遺跡見学	2名	
						三重県内市町職員・県職員	BT	50名	

平成18年度埋蔵文化財展「北畠氏とその時代」

9月

					7日(木)	宇陀市教育委員会	施設見学	7名	
9日(土)	西野田遺跡現地説明会	現地説明会	100名						
	東沖遺跡現地説明会	現地説明会	110名						
					10日(日)	北畠氏とその時代講演会		350名	
12日(火)	答志島小学校・中学校	出前講座	46名						
					15日(金)	飯高西中学校	岸本遺跡見学	19名	
									18日(月)
					25日(月) 26日(火)	鹿児島県立埋蔵文化財センター	施設見学 木造赤坂遺跡見学	3名	

熱心に聴き入る皆さん
(北畠氏とその時代講演会)

外まであふれる熱狂振り

10月

どんなことしてるのかな？
(バックヤードツアー)

5日(木)	志摩市立立神小学校	5・6年生	40名
	私立鈴鹿中学校	1年生	159名
6日(金)	志摩市立甲賀小学校	6年生	30名
	伊勢市立浜郷小学校	6年生	55名
	セントヨゼフ中学校	2年生	111名
12日(木)	津市立戸木小学校	6年生	21名
	津市立誠之小学校		69名
13日(金)	津市立藤水小学校	6年生	65名
	いなべ市立白瀬小学校	5・6年生	20名
	津市立立成小学校	6年生	63名
18日(水)	伊勢市立佐八小学校	6年生	20名
20日(金)	明和町立上御糸小学校	3年生	41名
	伊勢市立大湊小学校	6年生	32名
25日(水)	皇學館高校		150名
26日(木)	堺市立熊野小学校	6年生	106名
	明和町立下御糸小学校	3年生	34名
31日(火)	伊勢市立神社小学校		30名

11月

2日(木)	津市立安濃小学校	6年生	60名
28日(火)	県立草の実養護学校		5名

12月

8日(金)	名張市立図書館	出前講座	45名	古代中央政権と伊賀について
14日(木)	川合コミュニティーセンター	出前講座	20名	地域の古墳について
	くわな歴史と文学を語る会	出前講座	150名	北勢地域の古代寺院 ー額田廃寺と縄生廃寺ー
16日(土)	木造赤坂遺跡・井出ノ上遺跡 現地説明会	現地説明会	135名	

15日(金)	小野江小学校	西肥留遺跡 見学	29名

何がでてきたの？
(現地説明会)

1月

	14日(土)	川合コミュニティーセンター	遺跡見学	12名
	19日(金)	明和町立明和中学校	BT	20名

2月

4日(日)	三重郷土史会	出前講座	14名	「三重県の埋蔵文化財」最近の発掘調査成果を中心に	いま、県内の発掘調査は…(出前講座)			
13日(火)	大台町教育委員会	出前講座	20名	大台町内の遺跡について－出張遺跡－				
					15日(木)	県立緑が丘養護学校	BT	30名
27日(火)	大台町教育委員会	出前講座	20名	上三瀬　北畠氏館跡及び三瀬砦跡				
	南勢地区高等学校教育研究会	出前講座	25名	最近の発掘調査の成果について　他				

3月

	8日(木)	皇學館高校	BT	120名

出前講座とは？

当センターが近年に実施した発掘調査の成果や県下の埋蔵文化財へのご理解を深めていただくために、職員がお伺いしてお話しします。

テ ー マ：近年の発掘調査成果を中心に、希望者とセンター職員と相談の上、決めます。

申込条件：地域や任意の集まりでもＯＫです。

（原則として参加希望者が20名以上の場合とさせていただきます。）

講　　師：三重県埋蔵文化財センターの職員

場　　所：ご用意いただいた会場

日　　時：ご希望の日時にお伺いします。

（土曜日・日曜日・祝日でも可能。1回の時間は、1時間30分程度です。）

回　　数：年間10回程度を予定しています。

費　　用：当センター職員の交通費や資料代は、不要です。

（会場の借用料などは、希望者の負担となります。）

バックヤードツアーとは？

発掘調査終了後に三重県埋蔵文化財センターで行っている仕事（遺物の洗浄から保管、報告書の刊行までの作業など）を、ご見学いただけます。

遺物に触れたり、解説を聞いていただくこともできます。（ただし、バックヤードツアーの申込みと同時に、別途、申込みが必要です。）

また、斎宮歴史博物館やいつきのみや歴史体験館とのセットでのご利用も可能です。

どちらもお問い合わせはこちらまで！

〒515-0325　三重県多気郡明和町竹川503
三重県埋蔵文化財センター情報普及課
電話 0596-52-7029　　FAX 0596-52-7035
HPURL：http://www.pref.mie.jp/MAIBUN/HP/

2　展覧会事業

（1）企画展　第 25 回三重県埋蔵文化財展

テ ー マ：「北畠氏とその時代」
開催時期：平成18年８月５日(土）～９月18日(月)　39日間
展示場所：斎宮歴史博物館　特別展示室
入場者数：4,311名
展示資料：北畠満雅御教書、北畠教具袖判書状、北畠氏奉行人国兼奉書（以上、県指定文化財）、無外逸方（北畠政勝）寿像、北畠具方制札、北畠晴具禁制、無外逸方書状、北畠具房書下（以上、松阪市指定文化財）、波多野蓮寂軍忠状、天祐書状、多気城下絵図、多気北畠氏館跡出土遺物、養徳寺跡出土花瓶、安養寺跡出土青磁香炉、浪岡城跡出土鉄製十字轡、城之内遺跡出土金銅製銚子、観音寺城跡出土青花合子など474点
講 演 会：平成18年９月10日(日)
場　　所：斎宮歴史博物館講堂
演　　題：「北畠親房はなぜ伊勢を選んだか」
皇學館大学文学部　教授　岡野 友彦 氏
展示趣旨：　南北朝時代から戦国時代にかけて伊勢国最大の支配者であった北畠氏をテーマとした。北畠氏は国司として伊勢に入部した後、武力で名を馳せる一方、高い官位を持つ公家でもあり、伊勢の地に武家風・公家風双方の融合した文化を華開かせた。展示では、本拠地・多気の発掘調査成果を中心に、県下各地の北畠氏に関する遺跡や遺物、文書などを紹介した。また、青森県の浪岡・北畠氏や、北畠氏と姻戚関係のあった土岐氏・六角氏の資料を展示した。

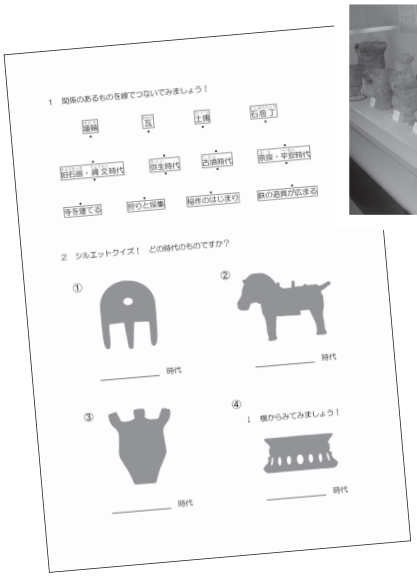
今回は、開催直前に北畠氏館跡が国史跡に追加指定されたこともあり、大勢の観覧者が訪れた。また、初公開の無外逸方寿像や浪岡・北畠氏の資料も大きな話題を呼び、遠くは青森県や九州地方からも観覧者が訪れた。特に講演会では、講堂内には収まりきらず、急遽ロビーにテレビとイスを設置する盛況ぶりであり、北畠氏に対する関心の高さが窺えた。

（2）企画展　第５回きみはプチ考古学者だ！展

テ　ー　マ：『三重の大昔へタイムスリップ』
開催時期：平成18年4月18日(火) ～ 6月4日(日)　43日間
入場者数：6,574名
展示資料：粥見井尻遺跡出土土偶、石薬師東63号墳出土馬形埴輪、六大Ａ遺跡出土初期須恵器・韓式系土器、（以上県指定有形文化財）ほか、縄文時代から奈良・平安時代の考古資料250点

展示趣旨：　県内各地の発掘調査で出土した資料のうち、初公開資料や日本最古の土偶などの県指定文化財をおりまぜた、県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館屈指の収蔵資料などを一挙に展示した。これらを旧石器・縄文時代から奈良・平安時代までの年代を追って展示することにより、広く県民に公開するとともに、学校教育の中での実物資料として活用してもらうことを目的とした。

　展示では、小中学校あわせて22校の課外授業として活用された。児童・生徒たちからは、実物を見て感動し、自分たちが住んでいる地域からこういった資料が出土していることに大変興味をもっていた。また、児童・生徒の学習用にワークシートを作成したが、ほとんどの学校に活用していただき、楽しみながら学習してもらうことができた。



（3）　県庁舎・県民センター等常設展示 (通年)

　広く県民の皆様に郷土の文化財への興味･関心を深めていただくように県庁舎県民ホールや松阪・伊賀県民センターで常設展示を行っている。前者は平成10年度から、後者は平成13年度からそれぞれの地域性や話題性のある資料・テーマによるサテライト展示を継続している。

　今年度は、県庁舎では「四日市市　菟上遺跡」、松阪県民センターでは「松阪市　天王山遺跡・天王山古墳群」、伊賀県民センターでは「伊賀市　天童山古墳群」の出土資料を展示した。これらについては、埋蔵文化財発掘技術者研修(教員研修)の一環として、研修員が企画・資料選定・展示作業全てを行った。

県民センター展示

3　資料閲覧・掲載・貸出実績

（1）資料の閲覧

研究もしくは展示借用に際しての事前調査など、資料の実見・物品利用に関して個人・団体を問わず応じている。今年度の実績は52件、4596点・53箱である。

遺　跡　名	資　料　名	点数・箱数	申　請　者	目　的	期　日
雲出島貫遺跡・小谷赤坂遺跡	遺物・資料	3点	個人	個人研究	H18.4.20
ＧＩＳ遺跡情報		1点	(株) 建設企画コンサルタント	道路設計のための調査	H18.5.10
天白遺跡	土偶	66点	個人	個人研究	H18.5.15
雲出島貫遺跡	土器	258点・4箱	個人	個人研究	H18.5.16
切山瓦窯跡・観音沖遺跡	瓦・写真	11点	亀山市教育委員会	展覧会借用のための資料調査	H18.6.1
図書の閲覧		9点	個人	個人研究	H18.6.9
堀田遺跡・伊坂城跡・浄土近世墓地・門阪遺跡・東川遺跡・楠ノ木遺跡・安濃津遺跡・下之川富田遺跡	火打石・火打金	24点	個人	個人研究	H18.6.26
落合古墳群・小谷古墳群	須恵器	42点	個人	個人研究	H18.6.27
ＧＩＳ遺跡情報		2点	コクド鑑定・調査（株）	不動産鑑定評価のため	H18.7.5
落合古墳群・小谷古墳群	土師器・須恵器	17点	個人	個人研究	H18.7.13
志知南浦遺跡・神殿遺跡・天白遺跡・権現坂遺跡・下之庄東方遺跡	石器・土偶・写真	21点	鈴鹿市考古博物館	展覧会借用のための資料調査	H18.7.28
図書の閲覧		24点	個人	学園祭展示の準備	H18.8.8 ～ H18.8.11
織糸遺跡	須恵器・土師器・管玉	25点	個人	個人研究	H18.8.9
森脇遺跡	土師器	44点・15箱	個人	個人研究	H18.8.28 ～ H18.9.1
六大Ａ遺跡	櫛	2点	個人	個人研究	H18.8.28
北堀池遺跡・西沖遺跡 川南Ａ遺跡・歌野遺跡 城之越遺跡・高賀遺跡 岸之上遺跡	土師器	69点・25箱	個人	個人研究	H18.9.4 ～ H18.9.7
内垣外遺跡	石器	10点・3箱	個人	個人研究	H18.9.4
六地蔵Ｂ遺跡・高寺遺跡・西山遺跡	土師器	7点・4箱	個人	個人研究	H18.9.5 ～ H18.9.7
楠ノ木遺跡・前田町屋遺跡	土師器	6点	個人	報告書作成	H18.9.12
六大Ａ遺跡	初期須恵器	28点	個人	個人研究	H18.9.21
高瀬遺跡・六大Ａ遺跡	陶質土器・初期須恵器	138点	個人	個人研究	H18.9.28
大古曽遺跡・東浦遺跡・西出遺跡・納所遺跡・高茶屋大垣内遺跡	石器・土器	10点	セントヨゼフ女子学園中学校	地域学習	H18.10.4
牧瓦窯・長者屋敷遺跡	瓦	3点	個人	個人研究	H18.10.18
六大Ａ遺跡	陶質土器他	173点	個人	個人研究	H18.10.24
納所遺跡・雲出島貫遺跡・織糸遺跡・新徳寺遺跡・寺門遺跡・六大Ａ遺跡・コドノＢ遺跡・北蟻越遺跡・天白遺跡・前田町屋遺跡	土器・石器	266点	鈴鹿市考古博物館	展覧会借用のための資料調査	H18.10.25・H18.10.27
鴻ノ木遺跡・溝端遺跡・山添遺跡・堀町遺跡	土器・石器・木器	24点	皇學館大学考古学研究会	企画展借用のための資料調査	H18.10.25
切山瓦窯跡	瓦	5点	個人	個人研究	H18.11.6
稲生山古窯址群・井田川城山古墳	埴輪	109点	個人	個人研究	H18.11.9
西肥留遺跡・筋違遺跡・村竹コノ遺跡	遺物・写真	64点	松阪市文化財センター	展覧会借用のための資料調査	H18.11.9
小谷古墳群・落合古墳群	土器・埴輪	76点	個人	個人研究	H18.11.17

遺　　跡　　名	資　料　名	点数・箱数	申　請　者	目　的	期　日
納所遺跡・六大Ａ遺跡	木器	11点	個人	個人研究	H18.11.27・H18.11.28
図書の閲覧		4点	個人	個人研究	H18.11.27
縁通庵遺跡・アカリ遺跡・山添遺跡（第４次）・天白遺跡	縄文土器・石器・動物遺体	131点・2箱	東海縄文研究会	研究会の資料調査	H18.12.3
菟上遺跡	土器・石器	1177点	個人	報告書作成	H18.12.20～H18.12.22
川原井瓦窯跡・ヒタキ廃寺	軒丸瓦	25点	個人	個人研究	H18.12.25・H18.12.27
川原井瓦窯跡	瓦	7点	個人	個人研究	H19.1.9
図書の閲覧		10点	個人	個人研究	H19.1.12
縁通庵遺跡・アカリ遺跡・山添遺跡（第4次）	縄文土器・石器	131点	東海縄文研究会	研究会の資料見学	H19.1.14
中戸遺跡・辻垣内遺跡・覚正垣内遺跡	縄文土器	682点	個人	個人研究	H19.1.15
図書の閲覧		10点	個人	個人研究	H19.1.15
金塚遺跡・堀町遺跡・雲出島貫遺跡	土器・銅鐸片	76点	個人	研究・報告書作成に伴う調査	H19.1.19
六大Ａ遺跡・堂ノ後遺跡	木器・弥生土器	27点	個人	個人研究	H19.1.19
図書の閲覧		2点	個人	個人研究	H19.1.29
六大Ａ遺跡・城之越遺跡	韓式系土器	42点	個人	個人研究	H19.1.31
菟上遺跡	土器・石器	406点	個人	報告書作成	H19.2.2・H19.2.5
航空写真の閲覧		30点	個人	個人研究	H19.2.15
長者屋敷遺跡	遺構図面等	2点	鈴鹿市考古博物館	資料調査	H19.2.22
ヲノ坪遺跡・六大Ａ遺跡・城ノ広古墳群	須恵器・土管・埴輪	234点	個人	個人研究	H19.2.27・H19.2.28
丸山水銀採掘坑跡群	石器・木炭	49点	個人	個人研究	H19.3.7
群馬県報告書閲覧		2点	県史編纂グループ	編纂業務	H19.3.7
航空写真の閲覧		30点	個人	個人研究	H19.3.7
遺跡分布図		1点	防災危機管理部地震対策室	基本測量に伴う調査	―

（２）資料の掲載

研究発表などに際しての資料の写真などの掲載は、個人・団体を問わず応じている。今年度は24件・84点の所蔵資料の写真などが掲載された。

遺　　跡　　名	資　　料　　名	点数	申　　請　　者	掲　載　資　料　名
丁長遺跡	全景写真	1点	新人物往来社	『歴史読本』2006年8月号
舞出北遺跡	写真	8点	三重河川工事事務所	協議資料
木造赤坂遺跡	空中撮影写真	1点	新人物往来社	『中世都市研究12月号　中世の中の「京都」』2006年8月
中新田遺跡・西肥留遺跡木造赤坂遺跡	現地説明会資料・写真	4点	(株)ジャパン通情報センター	『文化財出土情報』2006年7月号
ヒタキ廃寺	鬼瓦写真	1点	個人	『伊勢の生身の女神たち』2006年9月
天白遺跡	遺構写真	3点	鈴鹿市考古博物館	展覧会図録『不思議な石の道具たち』
城之越遺跡	遺構写真	1点	大阪府立狭山池博物館	展覧会図録『水にうつる願い』
六大Ａ遺跡	櫛実測図(申請者加筆)	2点	個人	『(財) 元興寺文化財研究所創立40周年記念論集』2007年3月
森山東遺跡	水田跡写真	1点	三重県生活部長	『発見！三重の歴史』2006年9月
納所遺跡	鍬写真	1点	（株）小学館	『ビジュアルNIPPON江戸時代』2006年10月
養徳寺	鉄砲玉写真(申請者撮影)	1点	夕刊三重新聞社	新聞紙面
米軍撮影航空写真		7点	斎宮歴史博物館	展覧会図録『斎王のおひざもと－斎宮をめぐる地域事情－』
鴻ノ木遺跡・溝端遺跡・堀町遺跡・山添遺跡・粥見井尻遺跡	遺物写真(申請者撮影)	25点	皇學館大学考古学研究会	企画展(大学祭)のパンフレット
石山古墳	遺物写真(申請者撮影)	1点	藤井寺市	講演会レジュメ

遺　　跡　　名	資　　料　　名	点 数	申　　請　　者	掲　載　資　料　名
井田川茶臼山古墳	銀象嵌鉄刀写真	1点	（株）雄山閣	『復元七支刀』2006年12月
粥見井尻遺跡	土偶写真	1点	秋田県埋蔵文化財センター	出版物『川又川の一万年』
鴻ノ木遺跡	石皿・磨石実測図(申請者作図)	3点	個人	論文
高茶屋大垣内遺跡	写真	9点	県立こころの医療センター	ホームページ
納所遺跡	木製品実測図・写真	1点	個人	論文
粥見井尻遺跡	土偶写真	1点	（株）ポプラ社	『月刊ポプラディア』2007年4月号付録ポスター
中林中道遺跡	木製品写真	1点	奈良文化財研究所	『奈良文化財研究所紀要2007』
亀井遺跡	双脚壺写真	1点	津市教育委員会	亀井遺跡第２次現地説明会配付資料
河田宮ノ北遺跡	写真	2点	河曲中部ほ場整備組合	ほ場整備竣工記念誌
城ノ越遺跡・長遺跡・安濃津遺跡・石薬師東古墳群・粥見井尻遺跡・雲出島貫遺跡・六大A遺跡	遺構・遺物写真	7点	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	『設立20周年記念誌』2007年3月

（３）資料の貸出

県内外を問わず、所蔵する資料・機材を有効活用していただけるよう貸出を行っている。今年度は22件・674点の遺物や写真を貸し出した。

遺　　跡　　名	資 料 名	点 数	申　　請　　者	目　　的	期　　日
赤外線調査機材一式		1点	県史編さんグループ	大紀町郷土資料館資料調査	H18.4.25
遺跡ＧＩＳ出力（旧阿児町・磯部町・志摩町・浜島町・大王町）		36点	志摩市建設部	都市計画マスタープラン策定業務に係る現況調査の基礎資料	H18.5.24～5.25
安濃津遺跡	常滑甕	1点	津市教育委員会	レプリカ作成	H18.6.12～8.7
切山瓦窯跡・観音沖遺跡	軒瓦・写真	11点	亀山市教育委員会	テーマ展示『鈴鹿の関』で展示	H18.6.15～9.15
城之越遺跡	調査風景写真	45点	個人	市民講座使用	H18.7.21～7.31
土器の模様付け体験用具		26点	三重県環境学習センター	「Mieちびっこエコ王国大会」での体験型イベントに使用	H18.7.26～8.3
伊勢国府	調査風景写真	21点	個人	市民講座使用	H18.8.10～8.29
伊勢国府	調査風景写真	31点	個人	市民講座使用	H18.8.21～8.29
志知南浦遺跡・神殿遺跡下之庄東方遺跡・天白遺跡	石器・土偶等	17点	鈴鹿市考古博物館	展覧会『不思議な石の道具たち』で展示	H18.9.21～12.23
安養寺跡・昼河古墳群	写真	100点	個人	市民講座使用	H18.9.14～9.30
米軍撮影航空写真		7点	斎宮歴史博物館	展覧会『斎王のおひざもと－斎宮をめぐる地域事情－』展示	H18.9.19～10.4
鴻ノ木遺跡・溝端遺跡・山添遺跡・堀町遺跡	土器・石器	18点	皇學館大学考古学研究会	企画展(大学祭)展示	H18.11.1～10.6
コドノＢ遺跡・織糸遺跡・前田町屋遺跡・谷山古墳・北蟻越遺跡・六大Ａ遺跡・城之越遺跡	遺構写真	13点	鈴鹿市考古博物館	展覧会『赤く塗られた土器』で展示	H18.11.10～H19.1.19
遺跡ＧＩＳ出力（旧飯高町）		9点	松阪市教育委員会	分布調査資料	H18.11.17～11.24
村竹コノ遺跡・岸本遺跡・豊原西町遺跡・筋違遺跡・西野田遺跡・西肥留遺跡	遺物・写真	90点	松阪市文化財センター	『こんなの出ました！－松阪市内発掘調査速報展－』で展示	H18.12.5～H19.4.18
コドノＢ遺跡・阿形遺跡・雲出島貫遺跡・柴崎遺跡・織糸遺跡・新徳寺遺跡・前田町屋遺跡・谷山古墳・天白遺跡・納所遺跡・北蟻越遺跡・六大Ａ遺跡	遺物	103点	鈴鹿市考古博物館	展覧会『赤く塗られた土器』で展示	H19.1.4～3.28
天白遺跡	遺構写真	1点	鈴鹿市考古博物館	展覧会『赤く塗られた土器』で展示	データ使用
城之越遺跡	写真	46点	個人	市民講座使用	H19.1.18～1.30
伊勢国府・伊賀国府	調査風景写真	48点	個人	市民講座使用	H19.2.22～3.6
坂倉遺跡	遺構写真	2点	多気町教育委員会	遺跡看板作成	H19.3.1～4.10
丁長遺跡	航空写真	2点	斎宮歴史博物館	特別展示	H19.3.7～3.11
高向遺跡	遺構写真	46点	個人	市民講座使用	H19.3.23～4.3

（３）長期貸出

県内の他施設で、所蔵資料・物品を有効活用していただけるよう、１年を通じて貸出を行っている。今年度の実績は20件、984点・121箱である。

施設名	所在地	目的	活用貸出資料名	遺跡名	点数・箱数
津市教育委員会	津市西丸の内23-1	展示活動	展示ケース		2点
伊賀市教育委員会 青山郷土資料室	伊賀市青山町高尾2505	展示活動	展示ケース		14点
津市美杉町埋蔵文化財保存センター	津市美杉町上多気1022	展示活動	展示ケース		2点
四日市市立博物館	四日市市安島1-3-16	常設展示	石帯	落川原遺跡	1点
津市教育委員会 津市埋蔵文化財センター	津市安東町1225	展示及び教育普及活動	遺跡写真パネル	森山東遺跡ほか	62点
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市国分町224	常設展示	縄文土器ほか	東庄内Ａ遺跡ほか	43点
城之越遺跡学習館	伊賀市比土	常設展示	小型丸底壷ほか	城之越遺跡	15点
多気町勢和郷土資料館	多気郡多気町朝柄2889	常設展示	縄文土器・ 石製品ほか	井尻遺跡・ 若宮遺跡	27点
朝日町歴史博物館	三重郡朝日町柿2278	常設展示	白磁小壷ほか	丹生川上城跡	23点
斎宮歴史博物館	多気郡明和町竹川503	常設展示	土師器椀・皿・甕など	北野遺跡	4点
鈴鹿市稲生民俗資料館	鈴鹿市稲生西二丁目24-18	常設展示	弥生土器壷・炭化米	起Ａ遺跡	2点
松阪市文化財センター	松阪市外五曲町1	常設展示	縄文土器深鉢・ 壷形埴輪ほか	鴻ノ木遺跡ほか	5点
亀山市教育委員会 埋蔵文化財整理所	亀山市若山町7-10	発掘調査報告書作成	出土遺物・ 遺構図面一式・ 写真アルバム２冊	野元坂館址	3点・3箱
地方職員共済組合榊原保養所会 神湯館	津市榊原町5079	常設展示	信楽焼壷、古銭	宮出遺跡	157点
津市美杉町ふるさと資料館	津市美杉町上多気1010	常設展示	軒平・軒丸瓦、 墨書土器ほか	多気遺跡群	20点
亀山市歴史博物館	亀山市若山町7-30	常設展示	出土遺物	井田川茶臼山 古墳ほか	599点・52箱
明和町立ふるさと会館	多気郡明和町馬之上944-2	常設展示	弥生土器壷ほか	寺垣内遺跡	5点
桑名市埋蔵文化財整理所	桑名市大字東方 字日物谷2218-16	常設展示	出土遺物	山王遺跡	66箱

４　ホームページの開設

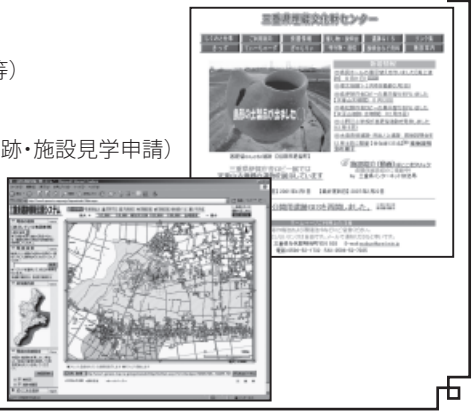
当センターの事業内容や、発掘調査・現地説明会、収蔵品の情報等を、インターネットを介して多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護意識を高めることを目的として、平成13年４月１日にホームページを開設し、運用している。

平成18年度中の利用アクセスは、15,980件で、運用開始以来、累計58,611件に達している。遺跡ＧＩＳ（三重県遺跡情報公開システム）は、システム及びセキュリティを大幅に改善し、９月からリニューアル・再開した。アクセス件数は3,776件である。今後とも、社会変化や利用状況を勘案しながら、より充実した内容を構築したい。

ホームページの主な内容

●センターの紹介（役割・仕事、内容・組織等、案内地図、施設紹介等）
●発掘・催し物情報
●利用方法と手続き（資料の閲覧申請、資料の借用・掲載許可申請、遺跡・施設見学申請）
●教員向け授業支援の内容紹介
●遺跡ＧＩＳ
●収蔵品ギャラリー
●センター刊行物案内

ホームページURL　http://www.pref.mie.jp/MAIBUN/HP/



5　刊行物

今年度は、発掘調査報告書・発掘調査概報を合わせて22件、調査ニュース３件、その他４件の合計29件の印刷物を刊行した。これらの刊行物は全国の埋蔵文化財センター並びに図書館等に送付している。一般への頒布は行っていないが、一部の刊行物についてはオンディマンド印刷を利用して手に入れられるようになっている。

番　号	書　　名	所　収　遺　跡　名	頁 数	CD容量	刊行年月
275	天童山古墳群発掘調査報告　－附編　近代古墳発掘調査報告－	天童山古墳群・近代古墳	196	439MB	H18.12
276	里前遺跡（第3･4次）発掘調査報告	里前遺跡（3･4次）・梁瀬遺跡	68	86.8MB	H18.12
277	魚見里前遺跡発掘調査報告	魚見里前遺跡	52	28MB	H18.11
278	大会遺跡発掘調査報告	大会遺跡	66	31.6MB	H19.3
279	三石代遺跡発掘調査報告	三石代遺跡	72	95.5MB	H19.3
280	山添遺跡（第4次）発掘調査報告	山添遺跡（第4次）	208	139MB	H19.3
281	替田遺跡（第5次～第8次）発掘調査報告	替田遺跡（第5次～第8次）	300	145MB	H19.3
282	荒木・西明寺地内遺跡群発掘調査報告	宮ノ前遺跡・寺前遺跡・荒木氏館跡・服部氏館跡・有井遺跡・西明寺三反田遺跡・小泉氏館跡	264	139MB	H19.3
283	上後瀬遺跡発掘調査報告	上後瀬遺跡	42	33.7MB	H19.3
284	小牧北遺跡発掘調査報告	小牧北遺跡	108	130MB	H19.3
285	中新田遺跡(第2次)発掘調査報告	中新田遺跡	66	147MB	H19.3
286	琵琶垣内遺跡（第3次）発掘調査報告	琵琶垣内遺跡（第3次）	100	161MB	H19.3
287	岡田向遺跡・本田氏館跡発掘調査報告	岡田向遺跡・本田氏館跡	118	174MB	H19.3
115-22	小津遺跡発掘調査報告	小津遺跡	372	178MB	H19.3
115-23	舞出北遺跡発掘調査報告	舞出北遺跡	324	219MB	H19.3
226-2	勢武谷遺跡第1次発掘調査報告	勢武谷遺跡	84	56.3MB	H19.3
	一般国道42号松阪多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報10	村竹コノ遺跡	36	388MB	H18.10
	一般国道42号松阪多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報11	村竹コノ遺跡・廿チ遺跡	48	99.8MB	H19.3
	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報18	赤坂遺跡・筋違遺跡・向山遺跡	44	39.7MB	H19.2
	平成17年度三重県埋蔵文化財年報	－	92	186MB	H18.9
	図録『北畠氏とその時代』	－	48	－	H18.8
	宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査だより	－	8	－	H18.9
	中勢道路調査ニュース№46	－	8	－	H18.12
	中勢道路調査ニュース№47	－	8	－	H19.3
	研究紀要第16-1号	－	54	181MB	H19.3
	研究紀要第16-2号	釜生田遺跡・東野B遺跡・屋敷田遺跡	68	164MB	H19.3
	研究紀要第16-3号	北中溝遺跡・高瀬遺跡 小上野墓ノ谷古墳・小上野墓ノ谷遺跡 小上野西谷遺跡・富岡前山古墳	80	36.7MB	H19.3
	研究紀要第16-4号	清水北遺跡･清水北古墳･安田氏館跡･塚本館跡・田中氏館跡・四ノ坪遺跡・鳥羽遺跡・浦遺跡・坂之上遺跡	80	49.4MB	H19.3
	センター通信みえ	－	4	－	H19.3

オンディマンド印刷

現在、三重県埋蔵文化財センターで刊行した発掘調査報告書は一般の方に頒布しておりません。しかし、一部の報告書については、三重県と契約した印刷業者によってオンディマンド印刷を行っています。三重県埋蔵文化財センターのホームページにその業者のサイトへのリンクがはってありますので、そちらに移動して、サイト内の検索で、ご希望の刊行物を探していただき、印刷業者へ直接お申し込みください。なお、書名等が不明確な場合は、「三重県」あるいは、「三重県埋蔵文化財センター」で検索していただくと、現在オンディマンド中の刊行物を見ていただくことができます。

http://www.pref.mie.jp/MAIBUN/HP/tosyo/index.htm（三重県埋蔵文化財センター HPの該当頁です。）

2　資料の整理・保管

1　整理状況

発掘調査終了後、記録した図面・写真類はトレース・焼付け、出土遺物は洗浄・注記・接合・選別・実測などの作業を行い、調査報告書を作成している。平成18年度のそれぞれの作業実績は以下の通りである。

	洗　浄	注　記	復　元	遺物実測	遺構図トレース	遺物図トレース
一人1日当りの作業量	13.55kg	11.28kg	2.08点	5.38点	5.48枚	3.71枚

※なお、洗浄・注記接合は出土遺物の総重量をもとに計算している。

2　保管状況

正式報告済みの出土遺物は、A遺物、B遺物ともに、「遺跡ごと」・「遺構ごと」に整理し、収納箱に通し番号を付して、保管場所を決定・収納した後、遺物管理台帳に登録、入力して管理している。正報告された遺物は、報告書番号で検索、直ちに保管場所が判明する。その他、実測図面や写真などの記録保存資料も、遺跡ごとに整理番号を付して収蔵・管理している。なお、寄贈を受けた各地の報告書類もデータベースに登録後、閲覧可能な形で収蔵・管理している。

施設名		A遺物	B遺物	整理途中
埋蔵文化財センター	収蔵庫１	806箱		
	収蔵庫２	3522箱		
	仮設収蔵庫	3378箱		
	その他			794箱
各地収蔵庫	高茶屋収蔵庫		10245箱	
	嬉野分室		13357箱	
受託現場整理所	中勢道路整理所			2660箱
合計		7706箱	23602箱	3454箱
斎宮歴史博物館	収蔵庫２		9613箱	

保管出土遺物保管箱数（概数）　平成19年3月末現在

事業名		箱数	重量
県事業	県土整備部	220箱	620.60kg
	農水商工部	118箱	182.81kg
	その他	43箱	56.21kg
国事業	中勢道路	696箱	1,904.00kg
	松阪多気BP	60箱	172.90kg
	宮川用水	55箱	78.42kg
	紀宝BP	1箱	0.05kg
高速道路	近畿自動車道紀勢線	1箱	0.02kg
合計		1194箱	3,015.01kg

平成18年度出土遺物量(概数)

※箱数はコンテナパッド(60cm×40cm×16cm）に収納した場合の数量を示している。整理作業を終えて正式収蔵すると平均して約45%ほどの箱数が削減される。

3　科学的保存処理

科学的保存処理を専任する職員は配置していないが、保存科学室１（木製品専用)にPEG樹脂含浸装置２基、保存科学室２（金属製品専用)には減圧含浸装置１基が設置されている。また、中勢道路整理所にもPEG樹脂含浸装置１基が設置されている。現状では、奈良文化財研究所主催の保存科学研修やその他の関連研修を受けた職員が簡易な作業を行い、本格的な保存処理は国庫補助制度等を活用して専門処理機関に委託している。

事業部局		遺跡名	木製品	金属製品
県事業	県土整備部	立花堂遺跡	21点	
		西肥留遺跡３次	10点	30点
		丁長遺跡２次	1点	
		三疋田遺跡	1点	
		森庵遺跡		1点
		中新田遺跡		13点
	農水商工部	大木ノ輪遺跡	12点	
		下茅原遺跡２次		1点
		三石代遺跡		5点
国事業	中勢道路	六大A遺跡	235点	
		筋違遺跡３次	2点	4点
		小津遺跡	9点	
		中林・中道遺跡	9点	
		木造赤坂遺跡		1点
		六大Ｂ遺跡		8点
	松阪多気BP	村竹コノ遺跡３次	9点	
高速道路株式会社	近畿自動車道名古屋神戸線	大会遺跡		1点
国庫補助金制度利用		太岡寺古墳		13点
		加和良古墳		50点

4　三重県指定有形文化財（考古資料）の所蔵

新たに宮山遺跡（いなべ市大安町）出土の磨製石斧製作関係資料121点が指定された。

（平成19年3月27日指定）

番号	報告書番号	遺　物　名	製作段階
1	189	伐採斧Ⅰa	剥離段階
2	190	伐採斧Ⅰa	剥離段階
3	191	伐採斧Ⅰa	剥離段階
4	197	伐採斧Ⅰa	剥離段階
5	199	伐採斧Ⅰa	剥離段階
6	192	伐採斧Ⅰb	剥離段階
7	193	伐採斧Ⅰb	剥離段階
8	194	伐採斧Ⅰb	剥離段階
9	195	伐採斧Ⅰb	剥離段階
10	196	伐採斧Ⅰb	剥離段階
11	200	伐採斧Ⅰb	剥離段階
12	234	伐採斧Ⅰb	剥離段階
13	201	伐採斧Ⅰc	剥離段階
14	198	伐採斧Ⅱ	剥離段階
15	202	伐採斧Ⅱ	剥離段階
16	205	伐採斧Ⅰa	敲打段階
17	209	伐採斧Ⅰa	敲打段階
18	211	伐採斧Ⅰa	敲打段階
19	213	伐採斧Ⅰa	敲打段階
20	218	伐採斧Ⅰa?	敲打段階
21	223	伐採斧Ⅰa	敲打段階
22	224	伐採斧Ⅰa	敲打段階
23	231	伐採斧Ⅰa	敲打段階
24	235	伐採斧Ⅰa	敲打段階
25	203	伐採斧Ⅰb?	敲打段階
26	204	伐採斧Ⅰb	敲打段階
27	206	伐採斧Ⅰb	敲打段階
28	207	伐採斧Ⅰb	敲打段階
29	214	伐採斧Ⅰb	敲打段階
30	215	伐採斧Ⅰb	敲打段階
31	216	伐採斧Ⅰb	敲打段階
32	219	伐採斧Ⅰb	敲打段階
33	220	伐採斧Ⅰb?	敲打段階
34	222	伐採斧Ⅰb	敲打段階
35	225	伐採斧Ⅰb	敲打段階
36	226	伐採斧Ⅰb	敲打段階
37	227	伐採斧Ⅰb	敲打段階
38	228	伐採斧Ⅰb	敲打段階
39	229	伐採斧Ⅰb	敲打段階
40	230	伐採斧Ⅰb	敲打段階

番号	報告書番号	遺　物　名	製作段階
41	232	伐採斧Ⅰb	敲打段階
42	236	伐採斧Ⅰb	敲打段階
43	237	伐採斧Ⅰb	敲打段階
44	242	伐採斧Ⅰb	敲打段階
45	233	伐採斧Ⅰc	敲打段階
46	239	伐採斧Ⅰc	敲打段階
47	208	伐採斧Ⅱ	敲打段階
48	210	伐採斧Ⅱ	敲打段階
49	212	伐採斧Ⅱ	敲打段階
50	217	伐採斧Ⅱ	敲打段階
51	221	伐採斧Ⅱ	敲打段階
52	238	伐採斧Ⅰb	成品
53	243	伐採斧Ⅰb	成品
54	240	伐採斧Ⅰc	成品
55	241	加工斧（柱状石斧）	剥離段階
56	244	加工斧（柱状石斧）	剥離段階
57	245	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
58	246	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
59	247	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
60	249	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
61	250	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
62	251	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
63	252	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
64	253	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
65	254	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
66	255	加工斧（扁平石斧）	剥離段階
67	256	加工斧（扁平石斧）	敲打段階
68	248	加工斧（扁平石斧）	成品？
69	257	研磨具	研磨面２面
70	258	研磨具	研磨面１面
71	259	敲打具	

番号	報告書番号	遺　物　名	製　作　段　階
72	260	敲打具	
73	261	敲打具	
74	262	敲打具	
75	263	敲打具	
76	264	敲打具	
77	265	敲打具	
78	266	敲打具	
79	267	敲打具	
80	268	敲打具	
81	270	持ち砥石	砥べり面２面
82	271	持ち砥石	砥べり面１面
83	272	持ち砥石	砥べり面５面
84	275	持ち砥石	砥べり面４面以上
85	276	持ち砥石	砥べり面２面
86	273	置き砥石	砥べり面３面以上
87	274	置き砥石	砥べり面１面以上
88	277	置き砥石	砥べり面２面
89	278	置き砥石	砥べり面１面
90	279	置き砥石	砥べり面１面
91	280	置き砥石	砥べり面２面
92	281	置き砥石	砥べり面１面
93	282	置き砥石	砥べり面１面
94	283	置き砥石	砥べり面１面
95	284	置き砥石	砥べり面１面
96	285	置き砥石	砥べり面１面
97	286	置き砥石	砥べり面１面
98	287	置き砥石	砥べり面１面
99	288	置き砥石	砥べり面１面
100	289	置き砥石	砥べり面２面
101	290	置き砥石	砥べり面１面
102	291	置き砥石	砥べり面１面
103	292	置き砥石	砥べり面１面
104	293	置き砥石	砥べり面２面
105	294	置き砥石	砥べり面１面？
106	295	置き砥石	砥べり面１面
107	296	置き砥石	砥べり面１面
108	297	置き砥石	砥べり面１面
109	298	置き砥石	砥べり面２面
110	299	置き砥石	砥べり面３面
111	300	置き砥石	砥べり面２面
112	―	石屑片	
113	―	石屑片	
114	―	石屑片	
115	―	石屑片	
116	―	石屑片	
117	―	石屑片	
118	―	石屑片	
119	―	石屑片	
120	―	石屑片	
121	―	石屑片	

＜分類＞
Ⅰa：太型蛤刃石斧（長さ18cm以上の大型品）
Ⅰb：太型蛤刃石斧（長さ13～17cm程度の中型品）
Ⅰc：太型蛤刃石斧（長さ10cm程度の小型品）
Ⅱ：乳棒状石斧

3　埋蔵文化財技術者養成

1　埋蔵文化財発掘技術者研修（教職員研修）

昭和42年度以来、県内の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得し、教育現場へと還元する目的で研修事業を実施している。昭和54年度から平成18年度までに94名が研修を修了し、平成18年度は１名が受講した。教育現場との連携・成果還元という、埋蔵文化財が必要とされる面が、今後教員研修としても重要視されていくであろう。

（１）　平成18 年度研修員　　勝山孝之（菰野町立八風中学校）

（２）　研修内容

月	日	曜日		研　修　内　容	講義担当者
4	4	（火）	講義	資料の保管と活用	西村 美幸
				GISと情報公開	東　敬義
				学校教育と公開普及	中川　明
	6	（木）		埋蔵文化財概説と手続き	穂積 裕昌
				三重の縄文時代	小山 憲一
	11	（火）		発掘調査概説	水谷　豊
				三重の弥生時代	原田 恵理子
	12	（水）		整理作業１（洗浄・注記・接合・復元）	竹田 憲治
	13	（木）		三重の古墳時代	新名　強
				整理作業2（遺物実測・拓本）	角正 淳子
	17	（月）		三重の中世	柴山 圭子
	18	（火）		三重の奈良・平安時代	角正 芳浩
				写真撮影と写真	萩原 義彦
	19	（水）		斎宮跡	小濱　学
	21	（金）		測量実習	木野本 和之
				遺構・遺物の保存	大川　操
	25	（火）		土工管理・設計	池本 浩弥
				印刷	新名　強
			普及	特別展示実習	
5			実習	発掘調査（丁長遺跡）	
6			実習	発掘調査（廿チ遺跡）	
7			実習	発掘調査（村竹コノ遺跡）	
	25	（火）	講義	縄文・弥生の石器	奥　義次
8			実習	村竹コノ遺跡	
	28	（月）	講義	縄文土器	小山 憲一
9			実習	報告書作成	
10			実習	分布調査実習・報告書作成	
	25	（水）	講義	自然科学分析	角正 淳子
				弥生土器	原田 恵理子
11			実習	範囲確認調査実習・報告書作成	
	24	(金)	講義	奈良・平安時代の土器	西村 美幸
12			実習	県民センター展示実習・報告書作成	
	25	(月)	講義	中世の土器	柴山 圭子
				金属製品	大川　操
1			実習	県民センター展示実習・報告書作成	
	25	(木)	講義	木製品	穂積 裕昌
2			実習	分布調査・県民センター展示実習	
3	2	(金)	授業	研究授業（八風中学校）	
			実習	報告書作成・遺物写真撮影実習	

平成18年度　埋蔵文化財教職員研修実施要項

1　目的

三重県の公立学校教職員が、三重県埋蔵文化財センター等において埋蔵文化財に関する研修を受講することにより、学校教育における歴史教育や郷土学習の充実、並びに教職員の資質の向上をはかると共に、埋蔵文化財の保護活用体制の充実に資する。

2　主催

三重県教育委員会

3　担当

三重県埋蔵文化財センター

4　期間

平成18年４月１日～平成19年３月31日

5　場所

・三重県埋蔵文化財センター　　多気郡明和町竹川５０３

・県内各発掘調査現場及び公開普及会場等

6　人員

原則　３名（県立学校教職員１名、小中学校教職員２名）

7　参加資格

県内の公立の小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の教職員のうち、埋蔵文化財の発掘調査、保存、公開普及についての知識と技術の習得に務めようとする者で、健康で発掘調査に従事できる者

8　主な研修内容

（１）発掘調査

①講義：文化財の保護、文化財保護法、時代各論、遺物各論

②実習：基礎実習（遺物実測実習、測量実習、写真撮影実習等）、分布調査実習、範囲確認調査実習、本発掘調査実習、遺物整理実習、報告書作成実習

（２）公開普及

①講義：埋蔵文化財普及公開

②実習：資料展示実習、展覧会解説実習、体験発掘指導実習、現地説明会実習

（３）学校教育

教材研究、指導案作成、研究授業（教科指導または出前講座）

9　講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10　その他

（１）研修者の出張旅費は、県の旅費規定にしたがって支給する

（２）研修期間中は、当該学校に対して常勤講師の補充がなされる予定である

（３）研修を終了した者は、修了証書を交付する

《年間計画表》

研修内容			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	研修場所
発掘調査	講義	文化財の保護	■												埋文センター
		文化財保護法	■												埋文センター
		時代各論	■												埋文センター
		遺物各論		■	■	■	■	■	■	■	■	■			埋文センター
	実習	基礎実習	■												埋文センター
		分布調査実習		■											県内各地
		範囲確認実習									■	■			県内各発掘現場
		本発掘調査実習		■	■			■		■	■				県内各発掘現場
		遺物整理実習										■	■	■	埋文センター
		報告書作成実習										■	■	■	埋文センター
公開普及	講義	埋蔵文化財公開普及				■									埋文センター
	実習	資料展示実習				■		■							展示会場
		展覧会解説実習					■								展示会場
		体験発掘指導実習					■								県内各発掘現場
		現地説明会実習						■	■	■		■			県内各発掘現場
学校教育実践		教材研究							■			■			埋文センター
		指導案作成							■			■			埋文センター
		研究授業							■			■			県内各学校等

2　埋蔵文化財発掘調査市町職員研修

市町教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を習得し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。平成18年度は、講座Ⅱaに１名の受講者があったが、研修期間不足のため、修得には至らなかった。

三重県埋蔵文化財発掘調査市町職員研修実施要項

1　目的

この研修は、各市町において文化財保護行政を担当する者が、埋蔵文化財の保護実務と調査に関する知識や技術を習得し、文化財保護体制を強化することを目的とする。

2　主催

三重県埋蔵文化財センター

3　対象者

研修の対象者（以下「研修員」という）は、原則として市町教育委員会の文化財保護行政の担当職員とする。

4　場所

三重県埋蔵文化財センター及び県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等

5　実施時期

実施時期（各講座の履修方法）は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する（別表 [受講例] 参照）。

6　研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

7　研修員の決定

(1)　市町教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という）に提出するものとする。

(2)　所長は「研修希望調書」を受けた場合、その受け入れの可否を定め、研修を希望する市町教育長に通知するものとする。

8　修了者

所長は、研修員が全研修課程を修了し、発掘調査を担当する技術を習得したと認める時は、修了証書を交付する。

9　研修に要する費用

(1)　研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2)　所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

10　その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

（附則）

この要項は平成 12 年 7 月 3 日から実施する。
平成15年２月１日（改定）
平成18年７月26日（改定）

《別表》

講　座　名	期　　間	研　　修　　内　　容
講　座　Ⅰ	30日 間 程 度	関連法令や調査手順などの実習 ●範囲確認調査　●分布調査 （＊研修期間中に実施できなかった場合は、その後随時研修を行う。） ●関連法令等の概要　●遺跡台帳の整備等
講　座　Ⅱa	２ヶ月間程度	本調査実習 ●基準測量や地区設定等　●土層の判断や遺構の検出 ●出土遺物の取り上げ方等　●遺物出土状況の実測や撮影等 ●調査前や調査作業の撮影　●遺構の掘削 ●遺構の実測や撮影
講　座　Ⅱb	２ヶ月間程度	基本的に講座Ⅱaと同じ内容であるが、市町村職員が主体的に発掘調査を行う。
講　座　Ⅲ	２ヶ月間程度	発掘調査資料の整理や保管の実習 ●遺構図面や写真等の整理　●遺物実測等 ●出土遺物の分類整理
講　座　Ⅳ	２ヶ月間程度	報告書作成作業の実習 ●遺物写真撮影　●原稿執筆 ●遺構や遺物の図版作成　●レイアウト等

[注]　①　講座Ⅰは基本的に研修の当初に受講するものとするが、講座修了者と同等の知識と技術を有すると認める者については省略することができる。

②　各講座の取得方法及び実施時期及び期間は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する。

《参考》　受講例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
例1		Ⅰ	Ⅱa		Ⅱb		Ⅲ		Ⅳ										
例2					Ⅱa		Ⅱb							Ⅲ			Ⅳ		

（別紙様式）
〇〇〇第〇〇〇号
平成〇年〇月〇日

三重県埋蔵文化財センター所長　様

〇〇市町教育委員会教育長　印

研　修　希　望　調　書

三重県埋蔵文化財発掘調査市町職員研修を次のとおり希望します。

<table>
<tr><td colspan="2">希望する講座名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">研修希望期間</td><td colspan="3">年　月　日から　年　月　日まで</td></tr>
<tr><td rowspan="6">研修希望職員</td><td>ふりがな
職氏名</td><td></td><td>性別</td><td>男・女</td></tr>
<tr><td>生年月日(年齢)</td><td colspan="3">（　　）歳</td></tr>
<tr><td>現職年数</td><td colspan="3">年（　　年　月以来）</td></tr>
<tr><td>最終学歴</td><td colspan="3">学校名（　　学部　　学科）</td></tr>
<tr><td>発掘調査経験
（参加遺跡）</td><td colspan="3">有　　無
（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">過去に県埋蔵文化財センターで受けた市町職員研修</td><td colspan="3">有　　無
昭和
平成　　年度　講座名</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他希望事項</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

3　埋蔵文化財専門担当者会議

県及び市町埋蔵文化財保護行政に携わる専門職員ならびに埋蔵文化財の発掘調査や考古学研究に関わる県内諸機関職員等を対象として、埋蔵文化財に関わる各種協議や研修等を行い、本県埋蔵文化財保護の推進と職員の資質の向上を図ることを目的として、本年度は３回開催した。

また、今年度より、埋蔵文化財を取り巻く社会情勢の変化にあわせて、埋蔵文化財保護に携わる県内の関連行政機関および大学等諸機関、関連するNPO団体等にも適宜参加を要請し広く情報交換を行い、埋蔵文化財の周知や公開・普及拡大にむけた方法等についても協議する場とすることとし、三重県立博物館・三重県生活部文化振興室県史編さんグループ・三重大学・皇學館大学が新しく会議に参加した。

①第１回　三重県埋蔵文化財専門担当者会議

日時：平成18年６月２日（金）　10:00 ～ 15:30

場所：斎宮歴史博物館講堂

出席：桑名市・いなべ市・四日市市・朝日町・鈴鹿市・亀山市・松阪市・明和町・伊勢市・玉城町・伊賀市・名張市・県文化財保護室・県史編さんグループ・三重県立博物館・県埋蔵文化財センター

内容：①平成17年度　奈良文化財研究所研修報告

「遺跡地図情報課程」	いなべ市生涯学習課	平川　智真

②『発掘調査報告書のあり方について～報告書の位置づけ・役割、出土資料の情報掲載～』

「文化庁報告の確認」	三重県埋蔵文化財センター	竹田　憲治
「開発事業に伴う発掘調査報告書　事例①」	三重県埋蔵文化財センター	穂積　裕昌
「開発事業に伴う発掘調査報告書　事例②」	桑名市教育委員会	斎藤　　理
「史跡整備に伴う発掘調査報告書　事例③」	松阪市教育委員会	松葉　和也

①平成17年度　奈良文化財研究所研修報告「遺跡地図情報課程」

ＧＩＳのゴールは何か・使う目的は何かなどの初期設定が非常に大切であること、公開用のＧＩＳ作成のために、三重県と各市町が連携をとること等の内容であった。また、県と各市町のデータ（古墳群として１つにするか古墳を１つ１つ分類するか）に誤差がないようにするために、データの情報を同一の内容に調整していくとよいのではと提案があった。

②『発掘調査報告書のあり方について～報告書の位置づけ・役割、出土資料の情報掲載～』

「文化庁報告の確認」

発掘調査は、報告書の完成によって終わりとなること、埋蔵文化財に代わる公的性格をもった重要な存在であること、報告書の記載に当たっての留意事項、体裁について、デジタル技術は急速に進歩し普及しつつあり、それを導入した報告書のあり方についても今後検討する必要があるが、永久保存という点が最重要であること、現時点では紙資料が第1と文化庁が報告しているなど、『行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準（報告）』に沿っての内容だった。

事例報告の内容において3氏の共通点は、調査の方法・動機・予算・機関等が異なってくるだけ、行政調査の報告書と学術調査の報告書は報告書としては同じ性質をもつということであった。

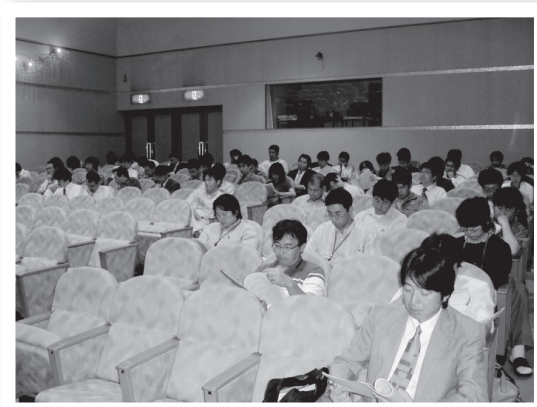
事例①の報告は、刊行することが前提であるが制約された時間のなかでは工夫した作り方（ノウハウ）が必要であり、文章は文章でつくる、遺物は遺物でページ割をすると間違いが少ない、実測図の信頼性を確認するための写真を掲載することがある、実測図と写真が何を表現しているかを踏まえると重要な部分をメインにすることなどの内容だった。

事例②の報告は予算面を考慮して、報告書に反映できないことはしない、報告書

に載らないことはやらないというスタンスをとっていること、主要な部分は発掘現場において、桑名市の担当職員３人で話し合い合議制を行うことがあるなどの内容であった。

事例③では「宝塚古墳」を例にして発掘現場との相互性にも触れた内容であった。史跡整備は、発掘調査の対象範囲内で確認できる全ての事象を追求し記録することができること、現在ある課題を解決するために必要最小限の発掘調査をすること、別の課題が出てくれば後世の検証が可能になるようにすること、宝塚2号墳の発掘調査に課せられた課題について、墳丘の規模を明らかにする（全長）という課題解決するための取り組み、報告書への掲載仕方について説明があった。

協議では報告書についてさまざまな角度からの話し合いが行われた。第1はデジタル化についてである。担当者それぞれのデジタルという言葉の概念が少し異なったが、報告書のPDF化、記録写真のデジタル化、県と市町のデータの共有、CD－Rでの不具合、１つのサーバーにデータを蓄積するケアリングハウスの方法の検討、将来性など、これからの課題について話し合われた。現状では、デジタルという選択肢が増えたと考え、『行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準（報告）』に沿って報告書を刊行していくことが重要である。



第２は、報告書の内容と質である。報告書は、埋蔵文化財に代わる公的性格を持つ重要な存在であること、観察表と個々の記述についてすべてはしていない、報告書は何よりも正確性が大切である、今となっては、報告書にしかない情報がある場合もあり、質の問題は多くの関係者が心配している共通項などを話し合った。

第３は、報告書の発送と予算である。発送について、埋文センターは県内の図書館・埋蔵文化財の専門がいる各市町・県外はそれぞれの都道府県に１冊は行くようにしていることのことであった。また、個人住宅やお金払ってくれない業者の場合の対応は、99条の文章を基に協力ができるようにがんばって対応していくこと、個人住宅1軒１軒でなく、10 ～ 20軒をまとめて報告書にすることは可能、報告書の外部委託をするときの予定価格などについて話し合った。

その他の内容も含め、今後の報告書をどうするのかなどの課題が多く出たが、『行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準（報告）』に沿って報告書を刊行することが大切だと確認した。また、今後、新しい標準になった時に、その標準に沿う報告書にするという確認も出来た。

②第２回　三重県埋蔵文化財専門担当者会議

日時：平成18年10月13日（金）　10:30 ～ 15:30

場所：鈴鹿市考古博物館講堂

出席：桑名市・四日市市・朝日町・鈴鹿市・亀山市・津市・松阪市・明和町・南伊勢町・伊賀市・名張市・三重大学・県文化財保護室・県史編さんグループ・三重県立博物館・県埋蔵文化財センター

内容：「史跡の指定に至る経緯と課題」

事例報告①「伊勢国分寺跡・国府跡」	鈴鹿市考古博物館	藤原　秀樹
事例報告②「久留倍官衙遺跡」	四日市市教育委員会	荒木　昌俊
事例報告③「多気北畠氏城館跡」	津市教育委員会	石淵　誠人

協議　～多くの人に親しまれる史跡整備・活用をめざして～

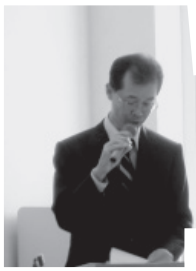
事例①の報告は「伊勢国府跡」を事例として、史跡の中央を道路が通る現実と、史跡範囲のために土地買収の対応に追われたこと、また今後どこまでを史跡の範囲とするかなどの内容であった。

事例②の報告は「久留倍官衙遺跡」を事例として、具体的かつ早急な対応が迫られていることや、近年の経過、協力体制や今後の整備後の構想などの内容であった。その中でも、地域との連携・相互理解の難しさ、側道の下を安全に渡れる通路等の建設などの問題提起は、注目すべき課題であった。

事例③の報告は「多気北畠氏館跡」を事例として、史跡の特徴である谷を中心とした広大な史跡を今後も見据えて整備し続けることと、指定に至るまで史跡化にむけての取り組みなどの今後に向けての内容も盛り込まれていた。

協議では、「多くの人に親しまれる史跡整備・活用をめざして」と題して各事例報告等を参考にさらに詳しい話し合いが行われた。参考にしてきた国史跡の紹介や、参考になった事例を出し合った。四日市市は「史跡等整備のてびきー保存と活用のためにー」事例編（文化庁文化財部記念物課）を参考にしたり、その他さまざまなところから情報を入手したり、都市計画などの部局にも働きかけていること、学校教育との連携に注目しているなど内容だった。また、津市は一乗谷を参考にしていること、鈴鹿市は、国史跡を多く抱えいるが、まずは伊勢国分寺を整備していくという現状だった。

その他、明和町は整備保存に力を入れている現状を、松阪市・亀山市は、地域での活用事例の現状報告などの紹介があった。また、三重大学の山中章氏から、市町単独では限界があり県市町の連携がカギになることや、「鈴鹿の関」「伊勢国府」「久留倍」をつないだ歩行者専用の道があると国史跡の活用の価値が上がるのではと、提案があった。



③第３回　三重県埋蔵文化財専門担当者会議

日時：平成19年２月９日（金）　10:30 ～ 15:30

場所：斎宮歴史博物館講堂

出席：桑名市・四日市市・朝日町・鈴鹿市・亀山市・津市・松阪市・明和町・伊勢市・玉城町・伊賀市・名張市・尾鷲市・鳥羽市・皇學館大学・斎宮（いつきのみや）ガイドボランティア・県文化財保護室・県史編さんグループ・三重県立博物館・県埋蔵文化財センター

内容：・「高槻市における史跡整備・活用について」

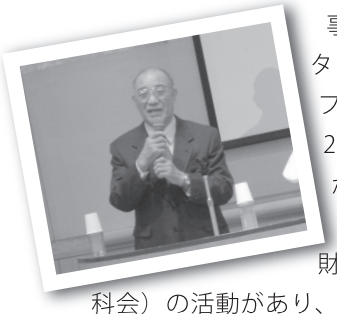
事例報告①「高槻市における史跡整備・活用の歩み」

高槻市文化財課副主幹兼文化財調査センター所長　鐘ヶ江一朗（かねがえいちろう）　氏

事例報告②「高槻市文化財スタッフの会の活動の歩み」　高槻市文化財スタッフの会副会長　西阪（にしさか）　弘（ひろし）　氏

・協議～これからの史跡整備・活用について～

事例報告①は、主に高槻市の史跡整備についての内容だった。阿武山古墳、新池埴輪製作遺跡、安満宮山古墳、闘鶏山古墳、嶋上郡衙跡から、現在整備に取り組んでいる今城塚古墳を１つ１つ例にして、それぞれの史跡の概要を踏まえ具体的な内容だった。公有地化途上の史跡及び史跡公有地に対する市民的理解を得ること、公園化整備や普及活動の取り組み状況や苦労話など、高槻市の行政的に直面してきた史跡整備の事例報告 だった。



事例報告②は、主に高槻市文化財のスタッフの会（以後スタッフの会）の紹介や普及活動についての内容だった。平成15年よりスタートしたスタッフの会は、現在130名（平成19年度春より47名増える）であり、スタッフになるためには、20回の講座（15回は文化財関係・5回はボランティアの活動について→そのうち8割出席が必要）や論文・面接等を必要とすることなど、詳細な解説もあった。活動内容として、「しろあと博物館」を中心とした年4回の特別展やその案内、年3回の会報の発行、文化財の保護・啓発、文化財の維持管理などの紹介もあった。また、それとは別に部会（分科会）の活動があり、古文書部会、拓本部会、散策部会、伝統文化部会、郷土玩具部会、考古部会の部会単位での活動し、そのメンバーでボランティア活動に参加する場合も多いとのことだった。人との出会いや文化財に親しみながらの生涯学習・地域の根ざした文化財の保護・啓発活動の目的にした内容の事例報告だった。

協議では、「これからの史跡整備と活用について」として高槻市への質問が中心となった。指定管理者制度については現在（平成19年2月現在）そうなっていない、行政とスタッフの会との関連性については、市が直営方式をとっているので高槻市は管理をして、スタッフの会は監視・受付をしている、高槻市が刊行している埋蔵文化財関係のマンガ本はパンフレットや映像とともに一般の方を対象とした活用をしている、人数増のため来年度のスタッフの会の募集・NPO法人化について考えている、今後もボランティアの方と共同で文化財の保護をめざしていく将来のビジョン、スタッフの会の設立当初には高槻市は「しろあと博物館」の完成と文化財を理解するスタッフの育成がうまくリンクしたこと、スタッフの会の運営について高槻市は設立当初は間接的に関与していたが、現在（設立2年目以降）はだんだん関与する部分が少なくなってきていること、スタッフの会以外の観光協会等との調整課題、スタッフの会の認定については高槻市教育委員会が問題作成・添削・認定までを行ったこと、学校教育とは近年スタッフの会が連携していることなど高槻市の現状について丁寧に回答していただいた。

４　埋蔵文化財行政基礎講座

埋蔵文化財行政基礎講座は、平成12年度から下記の実施要領に基づき、三重県埋蔵文化財センターで実施していたが、今年度は、県内での市町村合併の進展による状況の変化、各市町からの要望を踏まえ、「埋蔵文化財の把握」というテーマを設定し、８月に尾鷲、２月に南伊勢で開催した。延べ８市町の参加を得て、地域の状況に根ざした講義・質疑、活発な情報交換を行った。

■開催日：第１回　平成18年８月29日（火）　於　県尾鷲庁舎201会議室
　　第２回　平成19年２月15日（火）　於　県埋蔵文化財センター研修室

■テーマ：「埋蔵文化財の把握」
　　講座Ⅰ　「埋蔵文化財の把握とその法令」
　　講座Ⅱ　「埋蔵文化財把握のための実務」
　　ケーススタディ「埋蔵文化財の把握と記録」

三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項

１　講座の目的

この講座は、各市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する者が必要と思われる事務手続き等の基礎的な業務を習得するために行う。

２　講座の主催者

三重県埋蔵文化財センター

３　講座の場所

三重県埋蔵文化財センターなど

４　講座の対象

講座の対象（以下「受講者」という）は、以下の者とする

１　市町村の埋蔵文化財専門担当者以外で、埋蔵文化財保護に携わる職員
２　埋蔵文化財保護の実務経験が２年以内の埋蔵文化財専門担当者
３　上記以外で参加を希望する者（文化財保護委員など）

５　講座の内容

・　関連法令や通知、補助制度等の概要
・　調整協議の流れと各種書類の作成
・　遺跡台帳の整備

６　実施時期・期間

実施時期　　春季と秋季に各１回
実施期間　　１日

７　講座に要する費用

１　受講者の旅費は、派遣機関が負担する。
２　講座に必要な資料等の経費について、派遣機関に実費負担を求めることができる。

８　その他

前各項に定めるもののほか、講座の実施について必要な事項は、三重県埋蔵文化財センター所長が別途定める。

（附則）

この要項は、平成12年７月３日から実施する。
この要項は、平成15年５月１日から改正する。

5　市町支援

県内各市町教育委員会からの依頼･要請に応じ、当該市町教育委員会が直面する埋蔵文化財保護に関する各種の問題に関して、その調整会議等に参加したり、作業への支援･協力を実施している。今年度は14市町、22件に対応した。

市町名	内容	場所	期日	職員名
いなべ市	いなべ市上惣作遺跡発掘調査に関する技術支援		H18.12.25 ～ H19.3.30	
四日市市	久留倍遺跡出土遺物に関する支援		H18.6.30	穂積 裕昌
四日市市	久留倍遺跡出土遺物に関する支援		H18.7.12	角正 淳子
四日市市	久留倍官衙遺跡の現地指導		H19.1.18	吉水 康夫
四日市市	第3回久留倍遺跡調査整備指導委員会	四日市市総合会館	H19.3.13	吉水 康夫
鈴鹿市	国史跡伊勢国府跡調査指導委員会	鈴鹿市考古博物館ほか	H18.11.1	河北 秀実
津市	多気北畠氏遺跡調査指導委員会		H19.3.2	吉水 康夫 河北 秀実 竹田 憲治
津市	薬師谷古墳群ほか出土遺物の保存処理に関する技術支援		通年	
津市	多気北畠氏遺跡ほか発掘調査・出土遺物に関する技術支援		通年	
松阪市	第2回国史跡天白遺跡保存整備活用指導委員会	松阪市嬉野中央研修センター	H18.10.27	田村 陽一
明和町	明和町有爾中地内での埋蔵文化財現地確認	明和町有爾中	H18.4.13	竹田 憲治
度会町	度会町久留沖遺跡の保護に関する協議		H18.6.5	竹田 憲治 角正 淳子
多気町	石塚谷古墳出土遺物の保存処理に関する技術支援		通年	
多気町	石塚谷古墳ほかの刊行物作成支援		通年	
玉城町	中ノ切遺跡報告書作成に関する技術支援		通年	
鳥羽市	鳥羽風力発電施設建設工事に伴う埋蔵文化財協議		H18.5.2	河北 秀実 大川　操
鳥羽市	鳥羽城跡発掘調査に関する協議		H19.1.4 H19.1.11	河北 秀実 竹田 憲治 豊田 祥三
鳥羽市	鳥羽城跡石垣発掘調査に関する技術支援		H19.1.18 ～ H19.3.30	
志摩市	殿畑遺跡発掘調査に関する技術支援		通年	
熊野市	熊野市新鹿町地内 宅地造成に伴う中山北遺跡埋蔵文化財協議	熊野市新鹿町地内 中山北遺跡	H18.5.18	田村 陽一 河北 秀実
伊賀市	第1回史跡上野城跡保存整備指導委員会		H18.10.20	吉水 康夫
名張市	琴平山古墳出土遺物の保存処理に関する技術支援		通年	

4　県内の発掘調査

1　本発掘調査

（1）　県埋蔵文化財センター担当の調査

今年度、県埋蔵文化財センターが実施した本発掘調査は19件、総面積34,716.9㎡である。調査原因の内訳は国・高速道路事業で５件、県事業14件である。調査体制には調査委託・土工委託１・２・労務提供の４種類があり、それぞれの内訳は以下の通りである。今年度から土工委託でも、土工部門だけでなく調査補助員も委託する形式を加えて（土工委託２）、より調査がスムーズに行えるよう体制の改善を行った。

遺跡№	遺　跡　名	所　在　地	調　査　原　因	調査体制	調査面積	備　考
1	大木ノ輪遺跡（第5次）	鈴鹿市	農水商工部	労務提供	380.0㎡	
2	立花堂遺跡（第3次）	津市	県土整備部	調査委託	1,726.0㎡	
3	井手ノ上遺跡	津市	国土交通省（中勢）	土工委託1	370.0㎡	
4	木造赤坂遺跡	津市	国土交通省（中勢）	土工委託1	11,500.0㎡	
5	廿チ遺跡（第2次）	松阪市	国土交通省（松多）	土工委託2	339.0㎡	
6	村竹コノ遺跡（第4次）	松阪市	国土交通省（松多）	土工委託2	793.0㎡	
7	西野田遺跡	松阪市	その他	調査委託	1,755.9㎡	
8	西肥留遺跡	松阪市	県土整備部	調査委託	2,372.0㎡	
9	東沖遺跡	松阪市	農水商工部	土工委託2	3,480.0㎡	
10	岸本遺跡（第3次）	松阪市	県土整備部	調査委託	969.0㎡	
11	丁長遺跡	明和町	農林水産省	労務提供	2,930.0㎡	
12	丁長遺跡（第2次）	明和町	県土整備部	土工委託1	1,400.0㎡	
13	長谷町遺跡	明和町	農林水産省	調査委託	946.0㎡	
14	大谷遺跡（第2次）	玉城町	農林水産省	調査委託	1,635.0㎡	
15	三疋田遺跡	多気町	県土整備部	調査委託	1,200.0㎡	
16	流谷遺跡	大紀町	中日本高速道路	調査委託	60.0㎡	
17	霧生城跡	伊賀市	県土整備部	土工委託1	1,395.0㎡	
18	中道遺跡	伊賀市	県土整備部	労務提供	66.0㎡	
19	森庵遺跡	伊賀市	県土整備部	調査委託	1,400.0㎡	

		調　査　原　因	調　査　体　制	件　数	調査面積	調査経費
事業別本調査合計	県事業	県土整備部	調査委託	5件	7,667.0㎡	159,050,000円
			土工委託1	2件	2,795.0㎡	
			土工委託2	0件	0.0㎡	
			労務提供	1件	66.0㎡	
			合　計	8件	10,528.0㎡	
		農水商工部	土工委託1	0件	0.0㎡	35,909,000円
			土工委託2	1件	3,480.0㎡	
			労務提供	1件	380.0㎡	
			合　計	2件	3,860.0㎡	
		その他	調査委託	1件	1,755.9㎡	30,804,000円
	国事業	国土交通省（中勢）	土工委託1	2件	11,870.0㎡	221,751,000円
		国土交通省（松多）	土工委託2	2件	1,132.0㎡	41,350,000円
			合　計	4件	13,002.0㎡	263,101,000円
		農林水産省	調査委託	2件	2,581.0㎡	47,369,000円
			労務提供	1件	2,930.0㎡	
			合　計	3件	5,511.0㎡	
	高速道路事業	中日本高速道路	調査委託	1件	60.0㎡	25,160,000円
本　調　査　総　計				19件	34,716.9㎡	563,393,000円

（２）斎宮歴史博物館担当の調査

遺跡No.	遺　跡　名	所在地	調査原因	費　用　負　担	調査面積
20	斎宮跡（第149次調査）	明和町	学術調査	※	650.0㎡
21	斎宮跡（第150次調査）	明和町	学術調査	三重県教育委員会・文化庁※	500.0㎡
22	斎宮跡（第151-1次調査）	明和町	その他	明和町	176.8㎡
23	斎宮跡（第151-2調査）	明和町	その他	明和町	469.0㎡
24	斎宮跡（第151-3次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	4.0㎡
25	斎宮跡（第151-4次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	92.3㎡
26	斎宮跡（第151-5次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	56.7㎡
27	斎宮跡（第151-6次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	65.0㎡
28	斎宮跡（第151-7次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	193.0㎡
29	斎宮跡（第151-8次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	11.5㎡
30	斎宮跡（第151-9次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	4.2㎡
31	斎宮跡（第151-10次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	8.0㎡
32	斎宮跡（第151-11次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	92.0㎡
33	斎宮跡（第151-12次調査）	明和町	その他	明和町・県教育委員会・文化庁※	1.5㎡

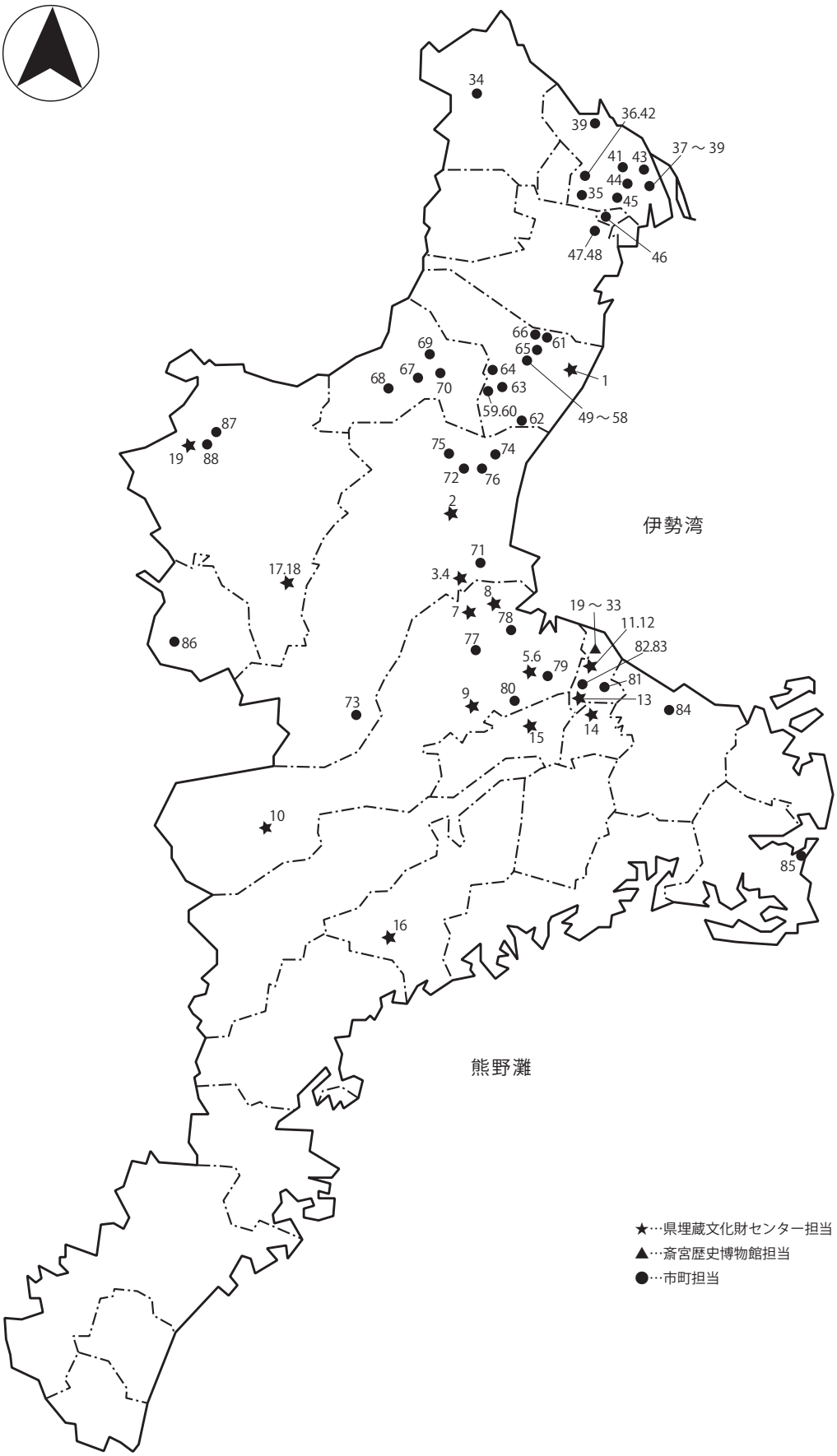
調　査　原　因	件　数	調査面積
学　術　調　査	2件	1,150.0㎡
そ　の　他	12件	1,174.0㎡
総　計	14件	2,324.0㎡

（３）市町機関担当の調査

	土地改良	道路･河川等	ゴルフ場	団地･個人住宅	工場造成地	土取など	その他	小計
件　数	0件	3件	0件	25件	0件	0件	27件	55件
面　積	0.0㎡	1,801.9㎡	0.0㎡	5,531.6㎡	0.0㎡	0.0㎡	29,071.8㎡	36,405.3㎡

遺跡No.	遺　跡　名	所　在　地	調　査　原　因	費用負担	調査面積
34	上惣作遺跡	いなべ市北勢町	天然ガス導管『三重・滋賀ライン』敷設工事	中部電力㈱	217.0㎡
35	柳原遺跡	桑名市大字赤尾	美容院建設	桑名市教育委員会	9.6㎡
36	七和廃寺	桑名市大字芳ヶ崎	個人住宅	桑名市教育委員会	2.4㎡
37	桑名城下町遺跡	桑名市一色町	宅地造成	原因者	41.0㎡
38	桑名城下町遺跡	桑名市外堀	個人住宅	桑名市教育委員会	22.0㎡
39	桑名城下町遺跡	桑名市外堀	個人住宅	桑名市教育委員会	1.4㎡
40	天王平遺跡	桑名市多度町	市道天王平５号線建設工事	桑名市	500.0㎡
41	西方古窯	桑名市大字西方	造成	桑名市教育委員会	130.4㎡
42	七和廃寺	桑名市大字芳ヶ崎	個人住宅	桑名市教育委員会	9.7㎡
43	桑名城跡	桑名市三之丸	個人住宅	桑名市教育委員会	4.3㎡
44	矢田城跡	桑名市大字矢田	愛宕山庚申碑整備事業	桑名市教育委員会	15.8㎡
45	宇賀遺跡	桑名市大字蓮寺	共同住宅	原因者	52.8㎡
46	柿城跡	朝日町大字柿	土地区画整理	朝日町柿土地区画整理組合	2,020.0㎡
47	久留倍遺跡	四日市市大矢知町	国庫補助金事業	国・県・市	2,150.0㎡
48	久留倍遺跡	四日市市大矢知町	史跡整備	市	226.0㎡
49	平田遺跡（11-1次）	鈴鹿市弓削１丁目	個人住宅	鈴鹿市※	81.3㎡
50	平田遺跡（11-2次）	鈴鹿市国分町	個人住宅	鈴鹿市※	104.2㎡
51	平田遺跡（12-1次）	鈴鹿市弓削１丁目	個人住宅	鈴鹿市※	83.1㎡
52	平田遺跡（12-2次）	鈴鹿市郡山	個人住宅	鈴鹿市※	68.6㎡
53	平田遺跡（13次）	鈴鹿市国府町	個人住宅	鈴鹿市※	101.5㎡

遺跡No.	遺　跡　名	所　在　地	調　査　原　因	費用負担	調査面積
54	平田遺跡（14次）	鈴鹿市平田本町１丁目	個人住宅	鈴鹿市※	66.8㎡
55	平田遺跡（15-1次）	鈴鹿市広瀬町	個人住宅	鈴鹿市※	106.1㎡
56	平田遺跡（15-2次）	鈴鹿市河田町	個人住宅建設	鈴鹿市※	94.2㎡
57	平田遺跡（16次）	鈴鹿市平田本町１丁目	個人住宅建設	鈴鹿市※	69.4㎡
58	平田遺跡（17次）	鈴鹿市弓削１丁目	個人住宅建設	鈴鹿市※	81.9㎡
59	保子里8号墳	鈴鹿市国府町	病院進入道路改良工事	医療法人斎寿会 回生病院	85.0㎡
60	保子里遺跡（５次）	鈴鹿市平田本町１丁目	院内保育所施設建設工事	医療法人斎寿会 回生病院	100.0㎡
61	境谷遺跡	鈴鹿市国分町	廃棄物最終処分場	鈴鹿市	8,080.0㎡
62	西川遺跡（２次）	鈴鹿市国府町	宅地造成	原因者負担	2,000.0㎡
63	富士遺跡（２次）	鈴鹿市国分町	共同住宅建設事業	原因者	148.0㎡
64	長者屋敷遺跡（21次）	鈴鹿市弓削１丁目	伊勢国府ほか発掘調査	鈴鹿市※	500.0㎡
65	南山遺跡（４次）	鈴鹿市弓削１丁目	福祉施設駐車場整備	原因者	90.0㎡
66	国分北遺跡（５次）	鈴鹿市弓削１丁目	自動車修理工場建設	個人	70.0㎡
67	大鼻遺跡	亀山市布気町	アパート建設	原因者	265.0㎡
68	鈴鹿関跡	亀山市関町	学術調査	※	130.0㎡
69	高飛館跡	亀山市野村２丁目	市営斎場建設	亀山市	4,815.0㎡
70	亀山城跡	亀山市本丸町	公園整備	亀山市	742.5㎡
71	川方城跡	津市川方町	集合住宅建設	事業者	200.0㎡
72	今徳城跡（第２次）	津市安濃町今徳	集合住宅建設	事業者	280.0㎡
73	多気北畠氏遺跡（第29次） 〔上多気六田地区〕	津市美杉町上多気	学術調査	津市※	419.0㎡
74	中鳶遺跡（第３次）	津市大里窪田町	大里小学校校舎改築	津市	600.0㎡
75	小野口遺跡（第２次）	津市安濃町草生	天應教本部建設事業	事業者	580.0㎡
76	亀井遺跡（第２次）	津市河辺町大字大垣内	市道広明町・河辺町線 改良工事	津市	1,216.9㎡
77	茶屋前遺跡	松阪市八重田町	社会福祉施設建設	民間社会福祉法人	193.0㎡
78	権現角遺跡	松阪市市場庄町	建売分譲住宅、駐車場 建設	民間不動産会社	2,772.0㎡
79	方婦多山古墳	松阪市山下町	山下町総合運動公園造成	松阪市建設部 土木課※	306.0㎡
80	鴻ノ木遺跡（第７次）	松阪市射和町	長屋住宅建築工事	個人	120.0㎡
81	古堀遺跡	明和町上野	宅地造成	開発業者	1,155.0㎡
82	金剛坂遺跡	明和町金剛坂	飲食店新築	明和町	24.0㎡
83	金剛坂遺跡	明和町金剛坂	店舗兼住宅の建築	明和町	45.5㎡
84	仮）山田御師邸街遺跡	伊勢市	市史編纂のための学術 調査	伊勢市	8.0㎡
85	殿畑遺跡	志摩市阿児町国府	阿児国府上ノ東無線局 建設事業	株式会社NTT ドコモ東海	71.0㎡
86	琴平山古墳	名張市赤目町	史跡等整備事業	名張市教育委員会	50.0㎡
87	長良遺跡	伊賀市印代	（仮称）上野東地区 中学校建設	伊賀市教育委員会	4,970.0㎡
88	上野城跡	伊賀市上野丸之内	保存整備のための学術 調査	伊賀市※	110.0㎡


34
39
36.42
37～39
41
43
44
35
45
47.48
46
66
61
65
69
64
67
68
70
63
1
59.60
62
49～58
87
19
88
75
74
72
76
2
伊勢湾
71
17.18
3.4
8
7
78
19～33
11.12
86
77
82.83
5.6
79
81
80
9
13
84
73
14
15
10
85
16
熊野灘
★…県埋蔵文化財センター担当
▲…斎宮歴史博物館担当
●…市町担当

2　範囲確認調査

（1）県埋蔵文化財センター担当の調査

調査原因	県			国・公団			合計
	県土整備部	農水商工部	その他	国土交通省	農林水産省	その他	
件数	9件	7件	11件	5件	7件	1件	40件
調査面積	344.7㎡	187.5㎡	248.6㎡	1,601.7㎡	711.0㎡	84.0㎡	3,177.5㎡

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査原因	費用負担者	文書番号	調査日	対象面積	調査面積	調査概要	保存対応
砂田遺跡（すなだ）	205－b71	桑名市 多度町猪飼	道路安全事業 (主)四日市 多度線	県土整備部 道路保全室	H19.3.23付 教埋第471号	H19.3.22	150.0㎡	24.0㎡	遺構なし 遺物少量	施工可
岡田南遺跡（おかだみなみ）	207－1181	鈴鹿市 岡田３丁目	かん排事業 鈴鹿川沿岸地区	農水商工部 農業基盤室	H18.6.15付 教埋第129号	H18.6.12	56.0㎡	8.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
国立療養所遺跡（こくりつりょうようしょ）	207－524	鈴鹿市 加佐登町 王塚	独立行政法人 国立病院機構 国立鈴鹿病院 病棟改築事業	独立行政法人 国立病院機構 国立鈴鹿病院	H18.8.10付 教埋第227号	H18.8.7	15,300.0㎡	84.0㎡	遺構なし 土師器片少量	施工可
野辺遺跡（のんべ）	207－1157	鈴鹿市 野辺町・ 竹野町	経営体育成事業 鈴鹿川沿岸３期	農水商工部 農業基盤室	H18.12.6付 教埋第342号	H18.11.20 ～ H18.12.5	45,000.0㎡	45.0㎡	杭痕？	要工事立会
上箕田遺跡（かみみだ）	207－164	鈴鹿市 上箕田町・ 中箕田町	鈴鹿川沿岸２期 地区経営体育成 基盤整備事業	農水商工部 農業基盤室	H19.3.19付 教埋第464号	H19.3.12 ～ H19.3.13	1,500.0㎡	40.0㎡	溝 弥生土器・ 近世陶器	要本調査
(仮称)五祝遺跡（いわい）	207－	鈴鹿市 五祝町	道路改築事業 (主)鈴鹿環状線 磯山バイパス	県土整備部 道路整備室	H19.3.20付 教埋第468号	H19.3.14	2,200.0㎡	30.0㎡	遺構なし	施工可
稲降遺跡1次（いねふり）	201－c46	津市河芸町 三行字成瀬	一般国道23号 中勢道路建設事業	国土交通省 中部地方 整備局	H18.12.12付 教埋第352号	H18.11.13 ～ H18.11.28	2,500.0㎡	260.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可 要範囲確認 1,800㎡
成瀬A遺跡（なるせ）	201－c15	津市河芸町 三行字成瀬	一般国道23号 中勢道路建設事業	国土交通省 中部地方 整備局	H18.12.12付 教埋第352号	H18.11.13 ～ H18.11.28	12,000.0㎡	600.0㎡	遺構なし 遺物少量	施工可
成瀬B遺跡（なるせ）	201－c49	津市河芸町 三行字成瀬	一般国道23号 中勢道路建設事業	国土交通省 中部地方 整備局	H18.12.12付 教埋第352号	H18.11.13 ～ H18.11.28	8,700.0㎡	140.0㎡	遺構なし 表土から 須恵器	施工可
三年作A古墳群（さんねんさく）・ 三年作B古墳群（さんねんさく）	201－a	津市産品 字三年作	復旧治山事業	環境森林部 森林保全室	H19.3.9付 教埋第456号	H19.3.8	4,000.0㎡	13.6㎡	古墳ではない ことを確認。	施工可
向山遺跡（むかいやま）	201－a797	津市高茶屋 小森町 字向山	一般国道23号 中勢道路建設事業	国土交通省 中部地方 整備局	H18.11.14付 教埋第329号	H18.10.16 ～ H18.10.20	14,300.0㎡	401.7㎡	溝4条検出	要本調査
久居城址（ひさいじょうし）	201－b154	津市久居東 鷹跡町	久居農林高校 特別教室棟 改築工事	県教育委員会 学校施設室	H18.5.29付 教埋第97号	H18.5.22	500.0㎡	18.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
久居城址（ひさいじょうし）	201－b154	津市久居東 鷹跡町	久居農林高校 農業土木棟 建築工事	県教育委員会 学校施設室	H18.12.27付 教埋第372号	H18.12.21	409.0㎡	15.0㎡	ピット 近世陶磁器片	要本調査
(仮称) 久居城下町遺跡（ひさいじょうかまち）	201－b	津市 久居新町	街路道路改築事業 相川小戸木橋線	県土整備部 都市政策室	H19.3.9付 教埋第457号	H19.3.5	600.0㎡	14.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
関ノ宮遺跡（せきのみや）	201－i54	津市白山町 川口	一般地方道 垣内御成線 公共土木施設 維持管理工事	県土整備部 道路整備室	H19.2.26付 教埋第436号	H18.10.25	60.0㎡	3.0㎡	なし	なし
多気北畠氏遺跡（たげきたばたけし） (伊勢本街道部分)	201－j26	津市美杉町 上多気	予防治山事業 (一般)第８号工事	環境森林部 森林保全室	H18.8.2付 教埋第219号	H18.7.27	30.0㎡	2.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
久保山遺跡（くぼやま）	204a-8A-12	松阪市 久保町	久保交番 建築工事	県警察本部	H18.11.28付 教埋第341号	H18.11.21	340.0㎡	18.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
日野町遺跡（ひのまち）	204－a 未登録	松阪市 中央町	松阪警察署 新築事業	県警察本部	H19.2.14付 教埋第425号	H18.12.28 ～ H19.1.18	11,900.0㎡	58.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
松阪六地蔵遺跡（まつさかろくじぞう） 隣接地	204a-20A-4	松阪市 大平尾町	道路改築事業 (一)六軒鎌田線	県土整備部 道路整備室	H19.3.22付 教埋第470号	H19.3.15	40,000.0㎡	23.0㎡	自然地形？ 土師器片・ 陶器片	要範囲確認
斎宮池（さいくういけ）20・21号墳	442－ 登録不要	明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H18.8.11付 教埋第228号	H18.7.18 ～ H18.7.28	175.0㎡	54.0㎡	調査の結果、 自然地形と 判明。	施工可
斎宮池（さいくういけ）22号墳	442－ 登録不要	明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H18.8.11付 教埋第228号	H18.7.25 ～ H18.7.28	75.0㎡	18.0㎡	調査の結果、 自然地形と 判明。	施工可

遺　跡　名	遺跡番号	所在地	調査原因	費用負担者	文書番号	調査日	対象面積	調査面積	調査概要	保存対応
斎宮池23号墳（さいくういけ）	442－ 新規発見	明和町池村	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H18.8.11付 教埋第228号	H18.7.10 ～ H18.7.14	900.0㎡	47.0㎡	遺跡は事業 地外。	施工可
野田（のだ）遺跡	442－ 登録不要	明和町池村 字野田	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H18.9.7付 教埋第265号	H18.8.29 ～ H18.8.31	5,880.0㎡	272.0㎡	遺構なし 土師器・ 山茶椀・ 陶器等	施工可
生洲（いけず）遺跡	442－ 新規発見	明和町池村 字生洲	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H18.7.3付 教埋第161号	H18.6.22 ～ H18.6.27	7,569.0㎡	160.0㎡	自然流路or 沼沢地 土師器・ 山茶椀・ 陶器等	要工事立会 (30㎡)
生洲（いけず）遺跡	442－ 新規発見	明和町池村 字生洲	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H18.9.26付 教埋第286号	H18.9.21 ～ H18.9.22		144.0㎡	自然流路or 沼沢地 須恵器・ 土師器・ 陶器等	施工可
鉄砲塚（てっぽうづか）遺跡	461－372	玉城町宮古 字鉄砲塚	国営宮川用水 第二期土地改良 事業	農林水産省 東海農政局	H19.3.9付 教埋第455号	H19.3.5	300.0㎡	16.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
校庭（こうてい）遺跡	441－a4	多気町相可	相可高校 グラウンド 改修工事	県教育委員会 学校施設室	H18.8.7付 教埋第223号	H18.8.3	3,800.0㎡	61.0㎡	沼状遺構？ 弥生土器片・ 土師器片	要工事立会
相可出張（おうかでばり）遺跡	441－a428	多気町相可	相可高校 総合農場棟及び 牛舎棟トイレ改修、 下水道接続 その他工事	県教育委員会 学校施設室	H19.1.26付 教埋第405号	H19.1.25	120.0㎡	4.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
(仮称) 相可友田（おうかともだ）遺跡	441－a	多気町相可 友田	相可高校 総合農場棟及び 牛舎棟トイレ回収、 下水道接続 その他工事	県教育委員会 学校施設室	H19.2.6付 教埋第415号	H19.1.26 ～ H19.2.2	108.0㎡	12.0㎡	遺構なし 土師器片	施工可 (80㎡) 要工事立会 (28㎡)
三疋田（さんびきだ）遺跡	441－a309	多気町 三疋田	道路改築事業 (一)勢和兄国 松阪線	県土整備部 道路整備室	H18.4.19付 教埋第44号	H18.4.18	6,800.0㎡	104.0㎡	遺構なし 土師器片 (中世)	施工可
三疋田（さんびきだ）遺跡	441－a309	多気町 三疋田	農免農道事業 松阪多気地区	農水商工部 農業基盤室	H18.9.26付 教埋第289号	H18.9.13	222.0㎡	13.0㎡	溝・ピット 土師器片・ 山茶碗片	要本調査
ユフミ古墳群	441－a	多気町土羽	広域農道整備事業 中南勢地区	農水商工部 農山漁村室	H18.12.6付 教埋第344号	H18.11.28	1,800.0㎡	26.0㎡	遺構なし 遺物なし 自然地形	施工可
南張貝塚（なんばりかいづか）	215－a	志摩市 浜島町南張	県営中山間(広域) 浜島集落排水 第１号設計 業務工事	農水商工部 農村基盤室	H19.3.19付 教埋第465号	H19.2.19 ～ H19.3.14	150.0㎡	22.5㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
壱丁田（いっちょうだ）遺跡	562－a4	紀宝町成川 字下地 壱丁田	一般国道42号バ イパス建設事業	国土交通省 中部地方 整備局	H18.11.14付 教埋第330号	H18.11.6 ～ H18.11.7	3,600.0㎡	200.0㎡	縄文土器片・ 土師器片	施行可
奥城寺（おうじょうじ）遺跡	216－a684	伊賀市 上神戸	道路改築事業 (主)上野名張線 (古郡～上神戸)	県土整備部 道路整備室	H19.2.27付 教埋第439号	H18.11.21 ～ H19.2.26	6,600.0㎡	118.7㎡	落ち込み・溝 土師器片・ 須恵器片	要本調査
水衛（みずえ）遺跡	216－b207	伊賀市川東	あけぼの学園 高校エレベーター 設置工事	県教育委員会 学校施設室	H19.1.31付 教埋第410号	H19.1.26	14.9㎡	5.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
東追付（ひがしとつけ）遺跡	216－c6	伊賀市 島ヶ原地内	農村総合整備事業 畿央伊賀地区 農道４（追付）	農水商工部 農山漁村室	H19.1.19付 教埋第395号	H19.1.16	1,000.0㎡	33.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
霧生城跡（きりゅうじょうあと）	216－f176	伊賀市霧生 字中切	道路改築事業 (主)松阪青山線	県土整備部 道路整備室	H19.2.27付 教埋第437号	H18.10.10 ～ H19.2.22	1,950.0㎡	10.0㎡	遺構なし	施工可
(仮称) 霧生中切中世墓（きりゅうなかぎりちゅうせいぼ）	216－f	伊賀市霧生 字中切	道路改築事業 (主)松阪青山線	県土整備部 道路整備室	H19.3.9付 教埋第458号	H19.3.8	2,500.0㎡	18.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可
(仮称)澤附（さわつけ）遺跡	216－	伊賀市笠部	導水ポンプ所 築造工事	県企業庁 水道事業室	H19.3.19付 教埋第466号	H19.3.16	3,000.0㎡	42.0㎡	遺構なし 遺物なし	施工可

（2） 市町機関担当の範囲確認調査

	土地改良	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取など	その他	小計
件数	4件	6件	0件	79件	8件	10件	37件	144件
面積	83.0㎡	197.2㎡	0.0㎡	2,223.0㎡	194.5㎡	741.8㎡	3,123.7㎡	6,563.2㎡

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査原因	費用負担者	調査実施日	調査対象面積	調査面積	調査概要	保存対応
梅戸城跡（うめどじょうあと）	214－c106	いなべ市大安町梅戸	ＮＴＴドコモ東海携帯電話用無線鉄塔及び中継装置建設	いなべ市	H18.6.5	205.9㎡	10.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
南石仏遺跡（みなみいしほとけ）	214－b27	いなべ市員弁町畑新田	共同住宅建設	いなべ市	H18.12.20	681.8㎡	20.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
下松崎遺跡（しもまつざき）	214－c61	いなべ市大安町平塚	市道平塚3区339号線道路改良	いなべ市	H18.9.12	5,400.0㎡	40.0㎡	遺構なし 山茶碗・土師器・施釉陶器片	施工可
田辺城跡（たなべじょうあと）	214－a18	いなべ市北勢町田辺	北勢高齢者等研修施設熟人荘パークゴルフ場増設	いなべ市	H18.7.12	9,478.0㎡	80.0㎡	遺構なし 天目茶碗・擂鉢片	施工可
宮前遺跡（みやまえ）	205－b87	桑名市多度町小山西谷通	電気通信事業用設備	ボーダフォン（株）	H18.5.22	161.6㎡	8.0㎡	遺構なし・遺物少量	施工可
天王平遺跡（てんのうびら）	205－b57	桑名市多度町小山字天王平他	市道改良工事	桑名市	H18.6.1～H18.6.30	500.0㎡	20.0㎡	遺構・遺物あり	要本調査
宇賀Ａ遺跡（うが）	205－b27	桑名市多度町柚井字宇賀他	市道改良工事	桑名市	H18.8.8	123.0㎡	3.0㎡	遺構なし・遺物少量出土	施工可
下野代遺跡（しものしろ）	205－b95	桑名市多度町下野代字小島他	市道改良工事	桑名市	H18.9.21	313.0㎡	4.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
下野代遺跡（しものしろ）	205－b95	桑名市多度町下野代字中ノ町	電気通信事業用設備	ＮＴＴドコモ東海	H18.11.22	243.6㎡	8.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
天王平遺跡（てんのうびら）	205－b57	桑名市多度町小山字天王平他	健康増進施設建設	桑名市	H19.2.19～H19.2.23	1,750.0㎡	80.0㎡	遺構らしき掘込確認・遺物少量出土	要協議
桑名城下町遺跡（くわなじょうかまち）隣接地		桑名市大央町	分譲マンション建築	桑名市教育委員会	H18.6.27・H18.6.28	1,756.8㎡	24.0㎡	遺構なし。近世以降の堆積層から土師器・近世陶磁器が少量出土。	施工可
江場貝戸遺跡（えばかいと）	205－a131	桑名市大字江場字長折	宅地分譲	近鉄四日市タクシー株式会社	H18.8.24・H18.8.25	4,184.9㎡	50.0㎡	他で確認している中世遺物包含層と同一の土層を検出。土師器がごく少量出土。遺構なし。	施工可
桑名城下町遺跡（くわなじょうかまち）隣接地		桑名市大字東野字鎌堀	長屋住宅建設	桑名市教育委員会	H19.2.15	389.0㎡	8.5㎡	掘削深度制限有。近世～近現代遺構面と遺物包含層確認。下層に遺構のある可能性有。近世陶磁器類。	施工可
江場城跡（えばじょうあと）		桑名市江場中縄	店舗併用住宅建設	桑名市教育委員会	H19.2.20	217.7㎡	4.0㎡	掘削深度制限有。近現代の盛土を確認したのみ。	施工可
川原遺跡（かわら）	343－37	朝日町大字埋縄字川原	その他	朝日町	H18.10.27	50,400.0㎡	256.0㎡	遺構なし 須恵器・土師器・近世陶磁器	施行可
羽津広遺跡（はづひろ）	202－336	四日市市大矢知町	鉄塔建設	事業者	H18.4.5	2.0㎡	2.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
宮ノ下遺跡（みやのした）	202－532	四日市市小古曽二丁目	共同住宅	事業者	H18.4.24	7.0㎡	7.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
山之瀬古遺跡（やまのせこ）	202－420	四日市市寺方町	宅地造成	事業者	H18.5.11	39.0㎡	6.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
羽津広遺跡（はづひろ）	202－336	四日市市大矢知町	鉄塔建設	事業者	H18.6.15	5.0㎡	52.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
貝野遺跡（かいの）	202－124	四日市市東坂部町	個人住宅	四日市市	H18.9.4	146.0㎡	16.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
小判田遺跡（こばんでん）	202－332	四日市市芝田二丁目	共同住宅	事業者	H18.11.2	267.0㎡	16.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
生泉遺跡（しょうず）	202－149	四日市市生泉町	共同住宅	事業者	H19.3.6	70.0㎡	10.5㎡	遺構・遺物なし	施工可
西ノ野遺跡（にしのの）	207－160	鈴鹿市国府町字西ノ野	個人住宅建築	鈴鹿市※	H18.4.24	99.0㎡	22.0㎡	古墳周講	基礎が遺構面に達せず施工可

遺　跡　名	遺跡番号	所　在　地	調　査　原　因	費用負担者	調査実施日	調査対象面積	調査面積	調　査　概　要	保存対応
(周知の遺跡外)		鈴鹿市国分町字佐兵衛林	倉庫建設	鈴鹿市※	H18.5.16～H18.5.17	3,908.0㎡	40.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
中島遺跡	207－874	鈴鹿市柳町字中島	個人住宅建築	鈴鹿市※	H18.5.24	127.0㎡	12.0㎡	遺物包含層	慎重工事で施工可
椿一宮遺跡	207－1	鈴鹿市椿一の宮町字一の宮他	製茶工場建設	鈴鹿市※	H18.5.25	3,600.0㎡	15.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
小塚遺跡	207－1161	鈴鹿市西玉垣町字池之下	共同住宅建設	鈴鹿市※	H18.6.14	607.0㎡	15.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
南山遺跡	207－737	鈴鹿市河田町	福祉施設駐車場舗装	鈴鹿市	H18.7.15	2,357.0㎡	45.0㎡	環濠・弥生土器	本調査
富士遺跡	207－904	鈴鹿市平野町字尼ヶ橋	共同住宅建設	鈴鹿市※	H18.7.25	904.0㎡	28.0㎡	溝・土坑・ピット・竪穴住居	本調査
沢遺跡	207－554	鈴鹿市西條町字東澤外	温浴施設建設	鈴鹿市※	H18.8.11	7,616.0㎡	13.0㎡	土師器皿・木製品	基礎が遺構面に達せず施工可
三日市東遺跡	207－1158	鈴鹿市三日市二丁目	共同住宅建設	鈴鹿市※	H18.10.30	330.0㎡	9.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
津賀東部遺跡	207－523	鈴鹿市高塚町字神垣	個人住宅建築	鈴鹿市※	H18.11.8	79.0㎡	18.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
郡山野遺跡	207－271	鈴鹿市郡山町字野口	宅地造成	鈴鹿市※	H18.9.11～H18.9.15	8,400.0㎡	15.0㎡	土坑・柱穴・土師器・須恵器	発掘調査協議中
郡山野田遺跡	207－673	鈴鹿市郡山町字野口	宅地造成	鈴鹿市※	H18.9.11～H18.11.17	8,400.0㎡	134.0㎡	竪穴住居・古墳周溝・須恵器・土師器・埴輪	発掘調査協議中
西ノ野遺跡	207－160	鈴鹿市国府町字西ノ野	個人住宅建築	鈴鹿市※	H18.11.24	148.0㎡	19.0㎡	古墳周溝	基礎が遺構面に達せず施工可
岸岡山Ⅲ遺跡	207－889	鈴鹿市岸岡町字雲雀山	宅地造成	鈴鹿市※	H18.12.27～H18.12.28	5,630.0㎡	160.0㎡	竪穴住居・土坑・溝・弥生土器	発掘調査協議中
国分北遺跡	207－536	鈴鹿市国分町字裏山	工場建設	鈴鹿市※	H19.1.9	90.0㎡	10.0㎡	ピット	本調査
(周知の遺跡外)		鈴鹿市高岡町字旭	宅地造成	鈴鹿市※	H19.2.27	2,668.0㎡	11.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
国分西遺跡	207－837	鈴鹿市国分町字西浦	個人住宅増築	鈴鹿市	H19.3.6	524.0㎡	5.0㎡	ピット・瓦	基礎が遺構面に達せず施工可
八重垣神社遺跡	207－1174	鈴鹿市十宮町地内	学校建築	鈴鹿市土地開発公社	H18.12.4～H19.1.10	38,850.0㎡	1,502.0㎡	竪穴住居・溝・土坑・ピット・流路・弥生土器・土師器・須恵器	工法検討・協議
萱町遺跡	207－167	鈴鹿市神戸八丁目	個人住宅建築	鈴鹿市	H19.3.27	93.0㎡	11.0㎡	竪穴住居・土坑・柱穴土師器・須恵器	本調査実施
大鼻遺跡	210－a	亀山市布気町	アパート建設	亀山市	H18.4.13	860.0㎡	27.0㎡	古代～中世の遺構・遺物確認	本調査(建物部分265㎡)
亀山城跡	210－a	亀山市西町	個人住宅	亀山市	H18.6.30	380.0㎡	8.0㎡	亀山城外堀検出	施行可
植松遺跡	210－a	亀山市菅内町	工場用倉庫建設	亀山市	H18.7.13	4,280.0㎡	50.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
会下A遺跡	210－b	亀山市関町鷲山	工場敷地造成	亀山市	H17.7.25	980.0㎡	40.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
鈴鹿関想定地	210－b	亀山市関町新所	アパート建設	亀山市	H18.8.4	4,900.0㎡	94.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
堂殿遺跡	210－a	亀山市川崎町	アパート建設	亀山市	H18.8.7	1,570.0㎡	72.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
仲屋敷遺跡	210－a	亀山市安坂山町	個人住宅	亀山市	H17.8.11	310.0㎡	26.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
大鼻遺跡	210－a	亀山市布気町	駐車場造成	亀山市	H18.9.14	6,000.0㎡	43.0㎡	遺構・遺物確認。遺跡に支障がないよう施工方法変更。	現状保存
高垣内遺跡	210－a	亀山市井尻町	自動車学校建設	亀山市	H17.9.15	3,375.0㎡	35.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
鈴鹿関想定地	210－b	亀山市関町新所	個人住宅	亀山市	H18.9.19	70.0㎡	1.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
鈴鹿関想定地	210－b	亀山市関町新所	個人住宅	原因者	H18.10.4	70.0㎡	3.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
南崎遺跡	210－a	亀山市南崎町	個人住宅	亀山市	H18.10.3	560.0㎡	20.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
鈴鹿関想定地	210－b	亀山市関町中町	個人住宅	原因者	H18.10.4	360.0㎡	3.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
会下A遺跡	210－b	亀山市関町鷲山	アパート建設	亀山市	H18.10.11	490.0㎡	6.0㎡	遺構・遺物無し	施行可

遺　跡　名	遺跡番号	所　在　地	調　査　原　因	費用負担者	調査実施日	調査対象面積	調査面積	調　査　概　要	保存対応
鈴鹿関想定地	210－b	亀山市関町木崎	個人住宅	原因者	H19.1.5	480.0㎡	28.0㎡	遺構・遺物無し	施行可
和田遺跡	210－a	亀山市和田町	分譲宅地造成	亀山市	H19.1.10	4,900.0㎡	46.0㎡	遺構・遺物確認	本調査（315㎡）
片野遺跡	201－h126	津市一志町片野	宅地造成	事業者	H18.4.7	2,859.0㎡	64.0㎡	ピット、須恵器	盛土・現状保存
四ツ野Ｃ遺跡	201－a842	津市高茶屋小森町	宅地造成	事業者	H18.5.1	1,350.0㎡	40㎡	遺構・遺物なし	施行可
寺家遺跡	201－h006	津市一志町高野	個人住宅建設	事業者	H18.5.2	74.6㎡	8.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
四ツ野B遺跡	201－a370	津市高茶屋小森町	宅地造成	事業者	H18.5.8	1,651.2㎡	40㎡	遺構なし弥生土器	施行可
磯遺跡	201－f680	津市安濃町今徳	土地造成	事業者	H18.5.10・H18.5.11	3,495.0㎡	64.0㎡	溝・ピット、須恵器・土師器・陶器	要本調査（保護措置書）
鬼が塩屋遺跡	201－a853	津市栗真町屋町	三重大学附属病院改築	事業者	H18.5.15～H18.5.17・H18.5.30	5,643.0㎡	93.0㎡	遺構なし陶磁器、瓦等（近世以降）	施行可
川方城跡	201－b163	津市川方町	集合住宅建設	事業者	H18.6.5	938.8㎡	24.0㎡	ピット、土坑土師器、陶磁器	本調査実施
一丁田遺跡	201－b184	津市久居北口町	宅地造成	事業者	H18.6.16	2,005.2㎡	40㎡	遺構・遺物なし	施行可
中起遺跡	201－c124	津市河芸町中別保	宅地造成	事業者	H18.6.27	9,888.2㎡	48.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
今徳城跡	201－f601	津市安濃町今徳	集合住宅建設	事業者	H18.6.28	842.4㎡	83.4㎡	ピット、溝、土坑土師器、陶器	本調査実施
和遅野遺跡	201－i037	津市白山町二本木	個人住宅建設	事業者	H18.6.28	179.3㎡	6.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
赤坂遺跡	201－b210	津市木造町	個人住宅建設	事業者	H18.6.28	711.0㎡	2㎡	ピット、遺物なし	盛土・現状保存
鬼が塩屋遺跡	201－a853	津市江戸橋２丁目	三重大学立体駐車場建設	事業者	H18.7.13・H18.7.14	2,712.0㎡	123.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
片野遺跡	201－b126	津市一志町片野	個人住宅建設	事業者	H18.7.21	158.2㎡	4.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
片野遺跡	201－h126	津市一志町片野	集合住宅建設	事業者	H18.8.3	2,678.9㎡	24.0㎡	土坑、溝、ピット、土師器	要本調査（保護措置書）
亀井遺跡	201－a478	津市河辺町	市道広明町・川辺町線改良工事	津市	H18.8.9～H18.8.11	19,200.0㎡	144.2㎡	溝、土坑、ピット、弥生土器、土師器、須恵器、埴輪、陶器	本調査実施
若林遺跡	201－b114	津市庄田町	個人住宅建設	事業者	H18.10.10	228.4㎡	16.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
四ツ野B遺跡	201－a370	津市高茶屋小森町	個人住宅・倉庫建設	事業者	H18.10.12	425.0㎡	7.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
久居城址	201－b154	津市久居西鷹跡町	個人住宅建設	事業者	H18.10.31	245.5㎡	4.8㎡	遺構・遺物なし	施工可
寺家遺跡	201－h006	津市一志町高野	個人住宅建設	津市※	H18.11.1	658.9㎡	8.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
専修寺境内遺跡	201－a844	津市一身田町	専修寺防災施設改修（防災貯水水槽）	事業者	H18.12.5	83,000.0㎡	48.0㎡	溝、土坑、土師器、陶器、瓦	
宮代遺跡	201－a023	津市渋見町	宅地造成	事業者	H19.1.17～H19.1.18	14,933.0㎡	80.0㎡	溝、土坑、ピット、土師器、陶器、瓦	要工事立会
古市遺跡	201－i053	津市白山町古市	個人住宅建設	津市※	H19.3.6	716.2㎡	16.0㎡	遺構なし、土師器	施行可
若林遺跡	201－b114	津市庄田町	個人住宅建設	津市※	H19.3.9	582.6㎡	16.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
久居城址	201－b154	津市久居西鷹跡町	個人住宅建設	津市※	H19.3.30	410.0㎡	8.0㎡	ピット、遺物なし	盛土対応、施工可
小野江・甚目遺跡	204－c3	松阪市甚目町字東浦	宅地造成	松阪市※	H18.4.4	2,150.3㎡	20.0㎡	土師器片	施工可
権現角遺跡	204－c32	松阪市市場庄町字古市場	宅地造成	松阪市※	H18.5.25	4,886.0㎡	32.0㎡	溝、柱穴を検出中世土師器多数出土	本調査
方婦多山古墳	204－a新発見	松阪市山下町字方婦多山	総合運動公園造成	松阪市※	H18.5.31～H18.6.7	2,500.0㎡	135.0㎡	埴輪片出土、直径20mほどの円墳と推定。	本調査
御殿山遺跡	204－b247	松阪市嬉野黒野町字林田	電波鉄塔及び付随施設建設	松阪市※	H18.6.1・H18.6.2	416.0㎡	16.0㎡	土師器片、陶器	施工可
南曽原遺跡	204－c19	松阪市中道町字浜田	共同住宅建設工事	松阪市※	H18.6.13	2,295.0㎡	15.0㎡	山茶椀、鍋	施工可
御堂山遺跡	204－a15A2	松阪市西野々町字山森	砂利採取	松阪市※	H18.6.22	9,079.0㎡	16.0㎡	なし	施工可

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査原因	費用負担者	調査実施日	調査対象面積	調査面積	調査概要	保存対応
天保遺跡	204－b141	松阪市嬉野島田町字天保	デイサービスセンター建設工事	松阪市※	H18.6.24	1,297.1㎡	32.0㎡	なし	施工可
前田町屋遺跡	204－c9	松阪市小野江町	宅地造成	松阪市※	H18.7.25	3,824.0㎡	36.0㎡	なし	施工可
舞出北遺跡	204－c1	松阪市舞出町字松垣内	宅地造成	松阪市※	H18.7.28・H18.7.31	2,823.0㎡	24.0㎡	山茶椀、鍋	施工可
小野江・甚目遺跡	204－c3	松阪市小野江町、肥留町	宅地造成	松阪市※	H18.8.2	3,873.7㎡	32.0㎡	なし	施工可
井之尻長井遺跡	204－c38	松阪市松ヶ島町字大溝	長屋住宅建築	松阪市※	H18.8.4	1,746.0㎡	16.0㎡	なし	施工可
西野田遺跡	204－b249	松阪市嬉野中川町	介護老人保健施設整備	松阪市※	H18.8.22	7,944.0㎡	36.0㎡	土師器片、須恵器片	本調査
道性目遺跡	204－b180	松阪市嬉野新屋庄町字森目	駐車場兼調整池造成工事	松阪市※	H18.8.24～H18.8.31	3,261.0㎡	75.0㎡	山茶椀、土師器片	協議
赤部遺跡	204－b42	松阪市嬉野新屋庄町字櫻	バイオマス発電所建設	松阪市※	H18.8.24～H18.8.31	532.0㎡	16.0㎡	灰釉陶器片	本調査
小津遺跡	204－c21	松阪市小津町	店舗建設	松阪市※	H18.8.30	3,389.0㎡	14.0㎡	なし	施工可
松阪城跡	204－a7A2	松阪市殿町	保育園施設増築工事	松阪市※	H18.9.6	21.0㎡	2.0㎡	なし	施工可
伊勢寺遺跡	204－a2A5	松阪市深長町字森ノ西	工場建設	松阪市※	H18.9.7	4,705.2㎡	20.0㎡	なし	施工可
那知山遺跡	204－a8A5	松阪市田原町字那知山	長屋住宅建築	松阪市※	H18.9.8	441.7㎡	8.0㎡	なし	施工可
松阪城跡	204－a7A2	松阪市殿町	消防防火水槽設置	松阪市※	H18.9.12	136.0㎡	22.0㎡	瓦出土	施工可
脇田遺跡	204－a15A8	松阪市大宮田町字大蔵寺	砂利採取	松阪市※	H18.9.13	7,818.0㎡	32.0㎡	なし	施工可
小野江・甚目遺跡	204－c3	松阪市肥留町字フケ	共同住宅建築工事	松阪市※	H18.9.20	2,842.4㎡	36.0㎡	なし	施工可
土取古墳	204－a6B27	松阪市駅部田町字土取	宅地造成	松阪市※	H18.9.29	1,789.5㎡	20.0㎡	なし	施工可
小久保遺跡	204－a8A6	松阪市垣鼻町字田尼	長屋住宅建築	松阪市※	H18.10.3	3,209.0㎡	12.0㎡	なし	施工可
鴻ノ木遺跡	204－a12A41	松阪市射和町字鴻ノ木	長屋住宅建築	松阪市※	H18.10.10	1,087.0㎡	48.0㎡	山茶椀、土師器片	工事立会
松本権現前遺跡	204－c8	松阪市中林町字荒木	宅地造成	松阪市※	H18.10.12	3,477.6㎡	64.0㎡	中世の土師器少量	施工可
下之庄東方遺跡	204－b13	松阪市嬉野中川町字笛吹垣内	携帯電話鉄塔建設	松阪市※	H18.10.31	246.5㎡	32.0㎡	溝、平安時代の土師器	慎重工事
宝塚4号墳	204－a6B4	松阪市光町	低層戸建住宅建設工事	松阪市※	H18.10.31・H18.11.6	2,441.8㎡	36.6㎡	なし	施工可
仮）上り畑遺跡	登録不要	松阪市保津町字西浦	砂利採取	松阪市※	H18.11.2	33,776.0㎡	120.0㎡	なし	施工可
中林・中道遺跡	204－c14	松阪市曽原町字山ノ越	共同住宅の新築	松阪市※	H18.11.7	2,490.0㎡	98.0㎡	山茶椀、鍋片	施工可
松本権現前遺跡	204－c8	松阪市中林町	宅地造成	松阪市※	H18.11.21	2,936.0㎡	48.0㎡	中世の土師器少量	施工可
仮）堂ノ前遺跡	登録不要	松阪市古井町字堂ノ前	砂利採取	松阪市※	H18.11.27	9,227.0㎡	96.0㎡	なし	施工可
貝塚遺跡	204－c34	松阪市久米町字東吹	歩道設置工事	松阪市※	H18.12.15	24,818.8㎡	24.0㎡	なし	施工可
松本権現前遺跡	204－c8	松阪市小舟江町字西ノ宮	宅地造成	松阪市※	H18.12.19	3,057.8㎡	12.0㎡	なし	施工可
小津遺跡	204－c21	松阪市小津町字大坪	宅地造成	松阪市※	H18.12.19	5,707.0㎡	36.0㎡	中世の土師器少量	施工可
鴻ノ木遺跡	204－a12A41	松阪市射和町字鴻ノ木	長屋住宅建築	松阪市※	H19.1.11・H19.1.12	467.9㎡	45.2㎡	溝等の遺構を検出平安以降の遺物	本調査
上久米遺跡	204－c39	松阪市久米町字奥此亦	長屋住宅建築	松阪市※	H19.1.25	2,968.1㎡	32.0㎡	なし	施工可
大西代遺跡	204－c15	松阪市曽原町字大西代	共同住宅建築工事	松阪市※	H19.1.30	1,629.2㎡	32.0㎡	なし	施工可
貝塚遺跡	204－c34	松阪市久米町字東吹	共同住宅建築工事	松阪市※	H19.2.2	1,225.6㎡	32.0㎡	なし	施工可
上村遺跡	204－a209	松阪市下村町字北浦	低層戸建住宅造成工事	松阪市※	H19.2.6	3,273.3㎡	14.0㎡	土師器片	施工可
御堂山遺跡	204－a503	松阪市西野々町字山森	砂利採取	松阪市※	H19.3.2	12,152.0㎡	20.0㎡	なし	施工可
上ノ口遺跡	204－a8A31	松阪市上川町字上ノ口	住宅兼個人教授所建築	松阪市※	H19.3.7	281.0㎡	12.0㎡	なし	施工可

遺　跡　名	遺跡番号	所　在　地	調　査　原　因	費用負担者	調査実施日	調査対象面積	調査面積	調　査　概　要	保存対応
荘遺跡	203－b32	伊勢市二見町荘	共同住宅建設	個人	H18.4.3	2,330.4㎡	30.0㎡	遺構なし・須恵器・土師器微量	施工可
仮）旧橋村大夫邸推定地		伊勢市常磐	保育所等建設	市	H18.4.4	2,000.0㎡	26.0㎡	遺構なし・遺物（瓦等）あり	施工可
上ノ山遺跡	461－381	玉城町勝田字上ノ山	長屋住宅新築工事	工事主体者(個人)	H18.6.21・H18.6.22	1,223.0㎡	88.0㎡	遺構なし・土器片数点採取	施工可・慎重工事
宮西古墳	461－360	玉城町野篠字宮西	(有）ヨシダ宅地分譲	(有)ヨシダ	H18.7.7・H18.7.8	1,987.0㎡	57.8㎡	古墳大部分は破壊済みで、１部残存。遺物なし	古墳残存部を保存し、施工可。
小社遺跡	461－272	玉城町小社曽根字小社山	砂利採取	小俣産業(有)	H18.9.16	8,143.0㎡	64.0㎡	遺構なし・土器片数点採取	慎重工事・施工可。
世古里中遺跡	461－389	玉城町世古字里中	専用住宅新築工事	玉城町教育委員会	H18.12.22	380.2㎡	12.0㎡	遺構なし・旧整地土中より土器片数点採取	慎重工事・施工可。
久留沖遺跡	470－102	度会町南中村小字久留沖	砂利採取	事業者・度会町	H18.7.2・H18.7.8・H18.7.9	3,207.0㎡	45.8㎡	遺構・遺物なし	施行可
久祢ノ下遺跡	470－120	度会町和井野小字久祢ノ下	砂利採取	事業者・度会町	H18.11.18・H18.11.25・H18.12.2・H18.12.3	5,728.0㎡	128.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
久祢ノ下遺跡	470－120	度会町和井野小字中切	砂利採取	事業者・度会町	H18.12.3・H18.12.9	2,483.0㎡	80.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
鳥羽城跡	211－324	鳥羽市鳥羽三丁目	道路修景工事	まちづくり課	H19.2.22	12.0㎡	2.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
鳥羽城跡	211－324	鳥羽市鳥羽三丁目	ポケットパーク造成工事	まちづくり課	H19.2.26	900.0㎡	4.0㎡	遺物・遺構なし	施工可
木津遺跡	215－e47	志摩市磯部町迫間	老人ホーム建設工事	志摩市	H18.6.1・H18.6.3	2,970.0㎡	26.5㎡	遺構なし チャート･サヌカイト製の剥片、土師器片が数点	施行可
城之越遺跡	216－a1130	伊賀市比土	ﾃﾞｨｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ新築	重機提供	H18.4.12	1,565.0㎡	7.4㎡	遺構・遺物なし	施行可
御墓山陪塚2号墳	216－a83	伊賀市佐那具町	駐車場造成	重機提供	H18.6.29	2,020.0㎡	8.4㎡	遺構・遺物なし	施行可
小寺跡	216－b121	伊賀市御代	共同住宅建設	重機提供	H18.6.29	2,736.3㎡	23.8㎡	遺構・遺物なし	施行可
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野万町	共同住宅建設	重機提供	H18.9.11	613.1㎡	13.4㎡	遺構・遺物なし	施行可
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野田端町	分譲住宅地造成	重機提供	H18.11.1	2,302.7㎡	97.6㎡	遺構・遺物なし	施行可
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野田端町	共同住宅建設	重機提供	H18.11.1	999.8㎡	44.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
加藤将監堡跡	216－a379	伊賀市大内	圃場整備事業	伊賀市	H18.11.24	3,200.0㎡	43.0㎡	遺構・遺物なし	施工可（遺構確認範囲は盛土などにより遺構保護。排水路等の掘削に際しては工事立会）
今井氏館跡	216－a485	伊賀市大内						ﾋﾟｯﾄ、溝、土師器片	
黒岩新池遺跡	216－a378	伊賀市大内						ﾋﾟｯﾄ、須恵器片、土師器片	
西明寺遺跡	216－a785	伊賀市西明寺	共同住宅建設	重機提供	H18.12.1	1,052.3㎡	9.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
横尾遺跡	216－a269	伊賀市安場	土砂採取	重機提供	H19.2.21	9,400.0㎡	140.0㎡	遺構・遺物なし	施行可
下郡遺跡	216－a164	伊賀市下郡	駐車場造成　事務所	重機提供	H19.1.29	2,882.0㎡	14.4㎡	遺構・遺物なし	施行可
重福氏館跡	216－a352	伊賀市佐那具町	工場事務所新築	重機提供	H19.3.6	1,800.0㎡	約16㎡	遺構・遺物なし	施行可

3　工事立会

（1）県埋蔵文化財センター担当

調査原因	県			国・公団		合計
	県土整備部	農水商工部	その他	国土交通省	農林水産省	
件数	15件	2件	11件	0件	2件	30件
調査面積	390.5㎡	34.0㎡	1,270.2㎡	0.0㎡	2,180.0㎡	3,874.7㎡

遺跡名	遺跡番号	所在地	結果通知文書番号	調査原因	費用負担者	調査日	調査面積	調査概要
西方台地A遺跡隣接地（にしかただいち）	205－a94	桑名市上野	H18.4.25付教埋第47号	急傾斜地崩壊対策工事	県土整備部砂防室	H18.4.21	0.0㎡	なし
石薬師東遺跡隣接地（いしやくしひがし）	207－727	鈴鹿市石薬師町	H18.12.22付教埋第363号	石薬師高校バックネット改修工事	県教育委員会学校施設室	H18.12.15	20.0㎡	遺構・遺物なし
野辺遺跡（のんべ）	207－1157	鈴鹿市野辺町、竹野町	H18.12.6付教埋第343号	経営体育成基盤整備事業鈴鹿川沿岸3期	農水商工部農業基盤室	H18.11.30～H18.12.1	30.0㎡	遺構･遺物なし
山本城跡（やまもとじょうあと）	207－6593	鈴鹿市山本町	H18.12.22付教埋第371号	主要地方道四日市関線道路災害復旧工事	県土整備部道路保全室	H18.11.13	124.0㎡	遺構・遺物なし
梁瀬遺跡（やなせ）	201－a848	津市野田字梁瀬	H18.5.16付教埋第72号	二級河川岩田川河川改修事業	県土整備部河川室	H18.5.10	32.0㎡	流路 石器・縄文土器片・弥生土器片・陶器
梁瀬遺跡（やなせ）	201－a848	津市野田字梁瀬	H18.6.6付教埋第116号	二級河川岩田川河川改修事業	県土整備部河川室	H18.5.25	19.0㎡	なし
上出遺跡（うえで）	201－b104	津市庄田町	H18.10.24付教埋第311号	（久居）一般国道165号公共土木施設維持管理（あんしん路肩整備）工事	県土整備部道路保全室	H18.10.11	120.0㎡	遺構・遺物なし
久居城址（ひさいじょうし）	201－b154	津市久居東鷹跡町	H19.1.26付教埋第403号	久居農林高校農業土木棟電気設備工事	県教育委員会学校施設室	H19.1.25	1.4㎡	ピット・陶磁器
前川原遺跡（まえがわら）	201－b84	津市森町	H18.9.7付教埋第264号	（久居）一般地方道上稲葉羽野線他1線公共土木施設維持管理（側溝整備）工事	県土整備部道路保全室	H18.8.29	15.0㎡	遺構・遺物なし
池田遺跡（いけだ）	201－b97	津市森町	H18.9.15付教埋第274号	（久居）一般地方道上稲葉羽野線他1線公共土木施設維持管理（側溝整備）工事	県土整備部道路保全室	H18.9.5	6.0㎡	遺構・遺物なし
北出遺跡隣接地（きたで）	201－b38	津市稲葉町北出	H18.12.18付教埋第357号	（久居）一般地方道上稲葉羽野線公共土木施設維持管理（あんしん路肩整備）工事	県土整備部道路保全室	H18.12.13	3.0㎡	遺構・遺物なし
霧山城跡（きりやまじょうあと）	201－j2644	津市美杉町下多気	H18.12.22付教埋第370号	国補通常砂防事業雲出川水系禁中谷川	県土整備部砂防室	H18.10.10	16.0㎡	遺構・遺物なし
川上中ノ垣内遺跡（かわかみなかのがいと）	201－j118	津市美杉町川上	H19.1.26付教埋第407号	一般地方道奥津飯高線公共土木施設維持管理（側溝整備）工事	県土整備部道路保全室	H19.1.24	9.0㎡	遺構・遺物なし
多気北畠氏遺跡（たげきたばたけし）（小田地区）	201－j26－4	津市美杉町下多気	H19.1.19付教埋第396号	人家等保全防災機能強化事業	環境森林部森林保全室	H19.1.15	5.6㎡	遺構・遺物なし
松本遺跡（まつもと）	204－b392	松阪市嬉野川北町字松本		埋蔵文化財センター嬉野収蔵庫増改築工事	県教育委員会	H19.1.22～H19.2.15	840.0㎡	遺構・遺物なし
（仮称）天下一遺跡（てんかいち）	204－a	松阪市東黒部町	H18.12.7付教埋第346号	潅水防除事業東黒部地区	農水商工部農業基盤室	H18.11.29	4.0㎡	遺構・遺物なし
琵琶垣内遺跡	204－a756	松阪市安楽町	H18.11.14付教埋第331号	中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)多気幹線(左岸第1工区)管渠工事	県土整備部下水道室	H18.11.6	8.3㎡	遺構なし 土師器少量
琵琶垣内遺跡（びわがいと）	204－a756	松阪市豊原町	H18.12.7付教埋第345号	中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)多気幹線(左岸第1工区)管渠工事	県土整備部下水道室	H18.12.1	4.0㎡	遺構・遺物なし
丁長遺跡（ちょうなが）	442－745	明和町斎宮字丁長、上横田	H19.2.1付教埋第413号	二級河川笹笛川統合河川整備事業	県土整備部河川室	H19.1.31	30.0㎡	遺構・遺物なし
斎宮池16号墳（さいくういけ）	442－140	明和町池村字長谷町	H18.9.25付教埋第284号	国営宮川用水第二期土地改良事業	農林水産省東海農政局	H18.9.15	180.0㎡	影響なし

遺跡名	遺跡番号	所在地	結果通知文書番号	調査原因	費用負担者	調査日	調査面積	調査概要
校庭(こうてい)遺跡	441－a4	多気町相可	H18.12.26付 教埋第368号	相可高校グラウンド改修工事	県教育委員会 学校施設室	H18.12.18	370.0㎡	遺構面に達さず、遺物なし
(仮称)相可友田(おうかともだ)遺跡	441－a	多気町相可 友田	H19.2.23付 教埋第433号	相可高校総合農場棟及び牛舎棟トイレ回収、下水道接続その他工事	県教育委員会 学校施設室	H19.2.16	28㎡	遺構・遺物なし
ミゾコ遺跡	441－a	多気町 四神田	H18.5.1付 教埋第53号	中勢沿岸流域下水道(松阪処理分区)佐奈川幹線(第4-5工区)	県土整備部 下水道室	H18.4.27	4.2㎡	遺構・遺物なし
与五郎谷(よごろうだに)遺跡	441－a152	多気町土羽 字与五郎谷	H19.1.4付 教埋第384号	国営宮川用水第二期土地改良事業	農林水産省 東海農政局	H18.10.26 ～ H18.10.27	2,000.0㎡	焼土・ピット 土師器・須恵器等
惣門(そうもん)遺跡	470－52	度会町 大久保 小字惣門	H19.1.31付 教埋第414号	国補交通安全事業(主)伊勢大宮線(大久保工区)	県土整備部 道路保全室	H19.1.29	2.5㎡	遺構・遺物なし
出口(でぐち)遺跡	216－a668	伊賀市 上之庄	H19.2.28付 教埋第440号	山の川水管橋下部工及び取り付け配管工事	県企業庁 水道事業室	H19.2.2	8.0㎡	遺構・遺物なし
城之越(じょのこし)遺跡	216－a1130	伊賀市比土	H18.12.14付 教埋第358号	内径250粍送水管布設工事	県企業庁 水道事業室	H18.12.11	4.2㎡	遺構・遺物なし
城之越(じょのこし)遺跡	216－a1130	伊賀市比土	H18.12.28付 教埋第379号	内径250粍送水管布設工事	県企業庁 水道事業室	H18.12.25	8.0㎡	遺構・遺物なし
城之越(じょのこし)遺跡	216－a1130	伊賀市比土	H19.2.9付 教埋第419号	北川水管橋下部工及び取付配管工事	県企業庁 水道事業室	H19.2.6	6.0㎡	遺構・遺物なし
東代遺跡	216－a1133	伊賀市古郡	H18.12.14付 教埋第358号	内径250粍送水管布設工事	県企業庁 水道事業室	H18.12.11	7.0㎡	遺構なし 土師器少量

（2）市町機関担当の調査

	土地改良	道路･河川等	ゴルフ場	団地･個人住宅	工場造成地	土取など	その他	小計
件数	1件	2件	0件	84件	0件	0件	74件	161件
面積	1,129.0㎡	412.0㎡	0.0㎡	18,305.7㎡	0.0㎡	0.0㎡	11,507.7㎡	31,354.4㎡

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	調査面積	調査概要
段(だん)遺跡	214－b	いなべ市員弁町北金井	H18.9.5	集合住宅建設	発生せず		遺構・遺物なし
段(だん)遺跡	214－b	いなべ市員弁町北金井	H18.6.19	個人住宅建設	発生せず		遺構・遺物なし
多度(たど)B遺跡	205－b44	桑名市多度町柚井	H18.6.9	個人住宅	事業者	165.6㎡	遺構・遺物なし
下野代(しものしろ)遺跡	205－b95	桑名市多度町下野代字一丁物	H18.6.13	宅地造成	事業者	868.8㎡	遺構・遺物なし
多度(たど)B遺跡	205－b44	桑名市多度町柚井他	H18.6.19	個人住宅	事業者	87.0㎡	遺構・遺物なし
石原(いしはら)遺跡	205－b93	桑名市多度町御衣野字石原	H18.11.7	個人住宅	事業者	330.0㎡	遺構・遺物なし
関東(かんとう)遺跡	205－b21	桑名市多度町柚井字関東	H19.2.14	個人住宅	事業者	358.0㎡	遺構・遺物なし
桑名城下町(くわなじょうかまち)遺跡	205－a99	桑名市南寺町	H18.4.4	個人住宅	事業者	67.1㎡	境界基礎掘削時立会。地表から0.5m掘削。包含層到達せず。
桑名城下町(くわなじょうかまち)遺跡	205－a99	桑名市南魚町	H18.5.22	店舗	事業者		基礎掘削時立会。包含層到達せず。
勢以口(せいぐち)遺跡	205－a128	桑名市大字江場字正金縄	H18.6.5	盛土工事	事業者	759.0㎡	現況0.6m盛土のみ。遺構･遺物確認されず。
柳原(やなぎはら)遺跡	205－a69	桑名市大字赤尾字坂ノ下	H18.6.7	電柱	事業者	1.0㎡	面積狭小のため遺構･遺物確認できず。
桑名城下町(くわなじょうかまち)遺跡	205－a99	桑名市新屋敷	H18.6.12	個人住宅	事業者	197.9㎡	掘削は盛土内。柱状改良のため遺構･遺物確認できず。
桑名城下町(くわなじょうかまち)遺跡	205－a99	桑名市赤須賀		個人住宅	事業者	68.4㎡	ベタ基礎。表土掘削ないため遺構･遺物確認できず。
能部南貝戸(のんべみなみかいと)遺跡	205－a112	桑名市大字増田	H18.7.24	電柱	事業者	2.0㎡	面積狭小のため遺構･遺物確認できず。
勢以口(せいぐち)遺跡隣接地		桑名市大字江場字正金縄	H18.9.8	個人住宅	事業者	72.0㎡	杭打設後の状況を確認。遺構･遺物に問題なし。
江場貝戸(えばかいと)遺跡	205－a131	桑名市大字江場字長折	H18.9.8	事務所建築	事業者	48.6㎡	浄化槽部分立会。遺構･遺物なし。
桑名城下町(くわなじょうかまち)遺跡	205－a99	桑名市三之丸	H18.9.12	個人倉庫	事業者	59.6㎡	布基礎。深さ0.3mの掘削。包含層に到達せず。

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	調査面積	調査概要
宇賀遺跡	205－a80	桑名市大字蓮花寺字惣作	H18.9.25	倉庫	事業者	542.0㎡	基礎工事立会。柱状改良のため遺構・遺物確認できず。
			H18.10.19				擁壁部分立会。掘削が包含層まで到達せず。
宇賀遺跡	205－a80	桑名市大字蓮花寺字惣作	H18.9.27	分譲住宅	事業者	3,565.9㎡	浄化槽部分立会。地表より2mの掘削。包含層到達せず。
桑名城跡	205－a100	桑名市吉之丸	H18.9.27	個人住宅	事業者	96.8㎡	鋼管杭のため遺構・遺物確認できず。
桑名城下町遺跡	205－a99	桑名市船馬町	H18.10.3	個人住宅	事業者	69.6㎡	盛土内を地表から0.1m掘削。遺構・遺物確認されず。
言治武遺跡隣接地		桑名市大字坂井字言治武	H18.10.19 H18.10.25 H19.1.29	鉄塔撤去	事業者	3.0㎡	鉄塔建設時に削平され、遺構・遺物なし。
桑名城下町遺跡隣接地		桑名市大字江場字江場屋敷	H18.11.2	個人住宅	事業者	117.2㎡	擁壁部分立会。地表より0.4mで時期不明の貝混整地面確認。
古城遺跡	205－a65	桑名市大字友村字トモノ森	H18.12.1	個人住宅	事業者	119.0㎡	浄化槽部分立会。地表下1mで還元された無遺物層。遺構・遺物なし。
勢以口遺跡	205－a128	桑名市大字江場	H18.12.4	事務所建築	事業者	23.2㎡	盛土内を地表から0.5m掘削。遺構・遺物確認されず。
江場貝戸遺跡	205－a131	桑名市大字江場字長折	H18.12.12 ～ H18.12.14 H18.12.18	共同住宅		202.0㎡	擁壁部分立会。遺構・遺物確認されず。
笠松遺跡隣接地		桑名市大字上野字笠松	H18.12.7	個人住宅	事業者	70.6㎡	浄化槽部分立会。すでに削平され遺構・遺物なし。
出口遺跡	205－a82	桑名市大字増田	H18.12.26	電柱	事業者		面積狭小のため遺構・遺物確認できず。
柳原遺跡	205－a69	桑名市大字赤尾字屋敷	H19.1.24 H19.1.29	鉄塔撤去	事業者		鉄塔建設時に削平され、遺構・遺物なし。
桑名城下町遺跡	205－a99	桑名市新屋敷	H19.2.1	個人住宅	事業者	154.0㎡	盛土内の掘削のみ。遺構・遺物確認できず。
能部南貝戸遺跡	205－a112	桑名市大字能部字南貝戸、東正和台	H19.3.12	個人住宅	事業者	51.2㎡	掘削は盛土内。鋼管杭のため遺構・遺物確認できず。
勢以口遺跡	205－a128	桑名市大字江場字宮之島	H19.3.13	農業倉庫	事業者	961.0㎡	擁壁部分立会。包含層到達せず。山茶碗・近世陶磁器表採。
篠原遺跡	205－a113	桑名市大字桑部字篠原	H19.3.20	共同住宅	事業者	1,659.7㎡	中世・近世包含層検出。山茶碗・近世陶磁器。
根田遺跡	343－36	朝日町柿字根田1758－1	H19.2.13	団地・個人住宅	事業者	150.0㎡	遺構・遺物なし
大膳寺跡	202－89	四日市市別名三丁目	H18.4.4	個人住宅	事業者	142.0㎡	遺構・遺物なし
古里遺跡	202－522	四日市市日永西五丁目	H18.4.19	駐車場	事業者	33.0㎡	遺構・遺物なし
北中寺遺跡	202－156	四日市市城西町	H18.4.24	共同住宅	事業者	51.0㎡	遺構・遺物なし
南奥遺跡	202－338	四日市市大字泊村	H18.5.9	擁壁工事	事業者	21.0㎡	遺構・遺物なし
四方天遺跡	202－496	四日市市大矢知町	H18.5.12	共同住宅	事業者	35.0㎡	遺構・遺物なし
北中寺遺跡	202－156	四日市市石塚町	H18.5.12	店舗建築	事業者	10.0㎡	遺構・遺物なし
雲天遺跡	202－71	四日市市大矢知町	H18.5.24	電柱支線設置	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
斑鳩A遺跡	202－515	四日市市大字羽津	H18.5.24	宅地造成	事業者	85.0㎡	遺構・遺物なし
上野遺跡	202－479	四日市市大字阿倉川	H18.5.29	宅地造成	事業者	15.0㎡	遺構・遺物なし
斑鳩B遺跡	202－516	四日市市大字羽津	H18.5.29	鉄塔建設	事業者	48.0㎡	遺構・遺物なし
海星学園内遺跡	202－189	四日市市大治田一丁目	H18.5.29	個人住宅	事業者	98.0㎡	遺構・遺物なし
下之宮遺跡	202－512	四日市市下之宮町	H18.5.30	宅地造成	事業者	68.0㎡	遺構・遺物なし
雲天遺跡	202－71	四日市市大矢知町	H18.6.23	個人住宅	事業者	112.0㎡	遺構・遺物なし
蒔田城跡	202－321	四日市市蒔田二丁目	H18.6.23	個人住宅	事業者	390.0㎡	遺構・遺物なし

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	調査面積	調査概要
赤堀城跡	202－290	四日市市赤堀二丁目	H18.6.28	既存建物解体	事業者	242.0㎡	遺構・遺物なし
北山遺跡	202－239	四日市市北山町	H18.7.10	電柱立替	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
上里遺跡	202－152	四日市市久保田二丁目	H18.7.13	下水管布設	事業者	102.0㎡	遺構・遺物なし
桶尻谷遺跡	202－414	四日市市中村町	H18.7.24	鉄塔建設	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
久留倍遺跡	202－74	四日市市大矢知町	H18.8.23	個人住宅	事業者	96.0㎡	遺構・遺物なし
井詰遺跡	202－90	四日市市南いかるが町	H18.9.19	電柱支線打替	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
北垣内遺跡	202－455	四日市市桜町	H18.9.20	下水管布設	事業者	223.0㎡	遺構・遺物なし
松ノ木遺跡	202－395	四日市市采女町	H18.9.21	個人住宅	事業者	91.0㎡	遺構・遺物なし
四方天遺跡	202－496	四日市市大矢知町	H18.9.28	電柱移設	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
浄裕遺跡	202－154	四日市市中川原三丁目	H18.10.3	個人住宅	事業者	76.0㎡	遺構・遺物なし
井詰遺跡	202－90	四日市市南いかるが町	H18.10.2	住宅建設	事業者	109.0㎡	遺構・遺物なし
小判田遺跡	202－332	四日市市芝田二丁目	H18.10.13	下水管布設	事業者	620.0㎡	遺構・遺物なし
上野遺跡	202－479	四日市市大字阿倉川	H18.10.2	個人住宅	事業者	477.0㎡	遺構・遺物なし
大矢知山畑遺跡	202－76	四日市市大矢知町	H18.10.12	携帯電話用基地局設置	事業者	20.0㎡	遺構・遺物なし
永井遺跡	202－137	四日市市尾平町	H18.10.25	下水管布設	事業者	200.0㎡	遺構・遺物なし
宮の西遺跡	202－155	四日市市中川原二丁目	H18.11.6	下水管布設	事業者	522.0㎡	遺構・遺物なし
上野遺跡	202－479	四日市市大字阿倉川	H18.11.7	個人住宅	事業者	75.0㎡	遺構・遺物なし
斑鳩B遺跡	202－516	四日市市大字羽津	H18.11.28	個人住宅	事業者	648.0㎡	遺構・遺物なし
小判田遺跡	202－332	四日市市芝田二丁目	H18.11.27	寄宿舎建設	事業者	600.0㎡	遺構・遺物なし
伊勢安国寺跡	202－292	四日市市西日野町	H18.11.27	個人住宅	事業者	180.0㎡	遺構・遺物なし
坪ノ内遺跡	202－143	四日市市高角町	H18.12.11	個人住宅	事業者	277.0㎡	遺構・遺物なし
貝野遺跡	202－124	四日市市坂部が丘三丁目	H18.12.20	既存建物解体	事業者	562.0㎡	遺構・遺物なし
観音寺跡	202－252	四日市市垂坂町	H19.1.31	電柱支線取付	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
下之宮遺跡	202－512	四日市市下之宮町	H19.2.9	個人住宅	事業者	88.0㎡	遺構・遺物なし
東山遺跡	202－45	四日市市朝明町	H19.2.16	個人住宅	事業者	63.0㎡	遺構・遺物なし
茂福城跡	202－253	四日市市茂福町	H18.12.25	道路側溝工事	事業者	66.0㎡	遺構・遺物なし
岡太神社遺跡	207－1182	鈴鹿市岡田一丁目	H18.4.12	個人住宅	事業者	5.0㎡	遺構・遺物なし
萱町遺跡	207－167	鈴鹿市神戸八丁目	H18.4.27	個人住宅	事業者	40.0㎡	遺構・遺物なし
岸岡山Ⅲ遺跡	207－889	鈴鹿市岸岡町字見当山	H18.5.18	個人住宅	事業者	5.0㎡	遺構・遺物なし
南山C遺跡	207－1003	鈴鹿市石薬師町字南山	H18.5.26	個人住宅	事業者	5.0㎡	遺構・遺物なし
国分遺跡	207－838	鈴鹿市国分町	H18.6.5	農業用倉庫	事業者	3.0㎡	敷地北西端で瓦溜り。
平田遺跡	207－386	鈴鹿市弓削一丁目	H18.7.26	個人住宅	事業者	4.0㎡	井戸・山茶碗
竹野遺跡	207－1159	鈴鹿市竹野一丁目	H18.7.26	共同住宅	事業者	1,182.0㎡	遺構・遺物なし
平田城跡	207－375	鈴鹿市平田本町一丁目地内	H18.6.15～H18.10.22	道路側溝敷設	事業者	200.0㎡	遺構・遺物なし
飯野神社遺跡	207－1192	鈴鹿市三日市二丁目	H18.9.4	公共下水道敷設	事業者	689.0㎡	遺構・遺物なし
龍光寺遺跡	207－1193	鈴鹿市神戸二丁目	H18.9.4	個人住宅	事業者	239.0㎡	遺構・遺物なし
染野遺跡	207－593	鈴鹿市郡山町字染野	H18.9.21	個人住宅	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
本多町遺跡	207－416	鈴鹿市神戸四丁目地内	H18.10.12	上水道管敷設	事業者	300.0㎡	遺構なし･近世瓦等
須賀遺跡	207－166	鈴鹿市須賀一丁目	H18.10.17	個人住宅	事業者	80.0㎡	遺構・遺物なし
神戸中学校遺跡	207－168	鈴鹿市神戸八丁目	H18.10.16	個人住宅	事業者	65.0㎡	遺構・遺物なし
龍光寺遺跡	207－1193	鈴鹿市神戸六丁目	H18.10.17	個人住宅	事業者	63.0㎡	遺構・遺物なし

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	調査面積	調査概要
須賀遺跡	207－166	鈴鹿市須賀一丁目他	H18.11.6	社会福祉施設	事業者	700.0㎡	遺構・遺物なし
稲生道遺跡	207－1320	鈴鹿市末広南一丁目地内	H18.11.8	上水道管敷設	事業者	40.0㎡	遺構・遺物なし
天王屋敷遺跡	207－364	鈴鹿市岸岡町字石塚	H18.12.18	個人住宅	事業者	78.0㎡	遺構・遺物なし
三日市東遺跡	207－1158	鈴鹿市三日市三丁目	H18.9.4～H19.1.19	公共下水道敷設	事業者	860.0㎡	遺構・遺物なし
石薬師東遺跡	207－727	鈴鹿市石薬師町字寺東	H19.1.29	個人住宅	事業者	35.0㎡	遺構・遺物なし
井領田遺跡	207－1044	鈴鹿市小社町	H19.2.1	個人住宅	事業者	5.0㎡	遺構・遺物なし
北若松遺跡	207－237	鈴鹿市若松北三丁目	H19.2.1	個人住宅	事業者	5.0㎡	遺構・遺物なし
三日市東遺跡	207－1158	鈴鹿市三日市二丁目	H19.2.6	店舗	事業者	177.0㎡	遺構・遺物なし
高田遺跡	207－1145	鈴鹿市矢橋町字大日	H19.3.13	駐車場造成	事業者	2,458.0㎡	遺構・遺物なし
平田遺跡	207－386	鈴鹿市弓削一丁目	H19.3.17	個人住宅建築	事業者	2.0㎡	ピット
牧遺跡(H18－1次)	201－b168	津市牧町	H18.4.3	電柱・支線設置工事	事業者	2㎡	遺構・遺物なし
弐ノ坪遺跡	201－a760	津市野田	H18.4.17・H18.4.21	電柱・支線設置工事	事業者	5.0㎡	遺構・遺物なし
志保遺跡	201－a603	津市片田井戸町	H18.4.20	電柱・支線設置工事	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
笠取A遺跡	201－a360	津市半田	H18.4.28	駐車場建設	事業者	430.0㎡	遺構・遺物なし
一丁田遺跡	201－b184	津市久居北口町	H18.4.27	電柱・支線設置工事	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
北興遺跡	201－f627	津市安濃町野口	H18.5.2	電柱・支線設置工事	事業者	2㎡	遺構・遺物なし
稲初遺跡	201－b036	津市稲葉町	H18.5.16～H18.5.18	個人住宅建設	事業者	464.6㎡	遺構なし・土師器片
多気北畠氏遺跡(比津峠番所跡)	201－j026－45	津市美杉町下多気	H18.6.8	電柱・支線設置工事	事業者	0.8㎡	遺構・遺物なし
西山Ａ遺跡	201－j049	津市美杉町八知	H18.7.4	電柱移設工事	事業者	0.5㎡	遺構・遺物なし
御絵堂遺跡	201－c083	津市河芸町北黒田	H18.7.11	電柱設置工事	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
井狭間遺跡	201－c023	津市河芸町浜田	H18.7.12	電柱設置工事	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
鬼が塩屋遺跡 (H18-2次)	201－a853	津市栗真町屋町	H18.8.23	三重大学校舎耐震改修工事	事業者	18.0㎡	遺構・遺物なし
久居城址(H18－2次)	201－b154	津市久居東鷹跡町	H18.8.24	電柱・支線設置工事	事業者	0.4㎡	遺構・遺物なし
鬼が塩屋遺跡 (H18-1次)	201－a853	津市栗真町屋町	H18.8.29・H18.11.29	三重大学校舎改修工事	事業者	20.2㎡	遺構・遺物なし
丸之内本町遺跡	201－a256	津市丸之内	H18.9.8	電柱設置工事	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
岡遺跡 (H18－1次)	201－i033	津市白山町岡	H18.9.12	電柱建替工事	事業者	0.2㎡	遺構・遺物なし
城坂遺跡	201－f859	津市安濃町戸島	H18.10.4	個人住宅建設	事業者	10.0㎡	遺構・遺物なし
赤坂遺跡	201－b210	津市木造町	H18.10.5	電柱・支線設置工事	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
上野城跡	201－c042	津市河芸町上野	H18.10.6	電柱設置工事	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
樋ノ口遺跡	201－j028	津市美杉町丹生俣	H18.10.10	電柱・支線設置工事	事業者	0.4㎡	遺構・遺物なし
佐田大垣内遺跡	201－i003	津市白山町佐田	H18.11.6	電柱・支線設置工事	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
多気北畠氏遺跡(土井沖遺跡)	201－j26－30	津市美杉町上多気	H18.11.6	携帯電話基地局設置工事	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
多気北畠氏遺跡(上沖B地区)	201－j26－29	津市美杉町上多気	H18.11.6	携帯電話基地局設置工事	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
和遅野遺跡 (H18-1次)	201－i037	津市白山町二本木	H18.11.6・H18.11.7	電柱設置工事	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
四ツ野B遺跡	201－a370	津市高茶屋小森町	H18.11.17	電柱建替工事	事業者	0.5㎡	遺構・遺物なし
ゆふけ遺跡	201－f542	津市安濃町連部	H18.11.18・H18.11.19	村主小学校防球ネット設置工事	津市	10.1㎡	遺構なし、陶器
育生小校庭遺跡(H18－1次)	201－a261	津市下弁財町津興	H18.11－12	公共下水道管設置工事	津市	170.0㎡	遺構なし、近世陶磁器、土師器

遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	調査面積	調査概要
鬼が塩屋遺跡（H18-3次）	201－a853	津市栗真町屋町	H18.11.20・H18.11.25	都市下水道工事	津市	37.0㎡	遺構なし、土師器(近世)
育生小校庭遺跡(H18－2次)	201－a261	津市下弁財町津興	H18.11.23・H18.11.24	公共下水道管設置工事	津市	7.9㎡	遺構なし、土師器、陶磁器
一ノ坪遺跡	201－f721	津市安濃町内多	H18.12.11・H18.11.14・H18.11.15	公共下水道管設置工事	津市	844.2㎡	遺構・遺物なし
乙部城跡隣接地	201－a472	津市中河原町	H18.11.24	共同住宅建設	事業者	3.0㎡	遺構・遺物なし
牧遺跡(H18－2次)	201－b168	津市牧町	H18.12.7	電柱設置工事	事業者	1.1㎡	遺構・遺物なし
和遅野遺跡(H18-2次)	201－i037	津市白山町二本木	H18.12.21	電柱設置工事	事業者	0.8㎡	遺構・遺物なし
西里ノ上遺跡	201－a483	津市高茶屋６丁目	H19.1.15	公共下水道管設置工事	津市	3.0㎡	遺構・遺物なし
川北遺跡	201－a476	津市大里川北町	H19.1.20	携帯電話基地局設置工事	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
東浦遺跡・南所遺跡	201－a804・201－a806	津市大里窪田町	H19.2－3	農業基盤整備事業に伴うパイプライン工事	津市	1,129.0㎡	遺構・遺物なし
岡副遺跡	201－f736	津市安濃町川西	H19.1	公共下水道管設置工事	津市	406.8㎡	遺構・遺物なし
多倉田遺跡	201－f534	津市安濃町川西	H18.12－H19.3	公共下水道管設置工事	津市	801.9㎡	遺構なし、山茶椀、近世陶器
岡遺跡(H18－2次)	201－i033	津市白山町岡	H18.12.28/H19.1.11	公共下水道管設置工事	津市	461.7㎡	遺構・遺物なし
久居城址(H18－3次)	201－b154	津市久居東鷹跡町	H19.1.19 H19.2.22	道路修繕に伴う排水施設設置工事	津市	346.0㎡	遺構・遺物なし
津城跡隣接地	201－a763	津市西丸之内	H19.2.23	マンション建設	事業者	1,000.0㎡	遺構・遺物なし
羽根田遺跡	201－j110	津市美杉町奥津	H19.2.22	電柱建替工事	事業者	1.5㎡	遺構・遺物なし
多気北畠氏遺跡（白口地区）	201－j026－8	津市美杉町下多気	H19.2.22	接地極新設工事	事業者	0.6㎡	遺構・遺物なし
専修寺境内遺跡	201－a844	津市一身田町	H19.3.6－7	専修寺防災施設改修（防火用パイプライン）	事業者		遺構・遺物なし
南浦遺跡	201－i030	津市白山町中ノ村	H19.3.19	電柱建替工事	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
竹原下垣内B遺跡	201－j038	津市美杉町竹原	H19.3.26	電柱建替工事	事業者	0.2㎡	遺構・遺物なし
辰ノ口2号墳隣接地	登録不要	明和町大字金剛坂字辰ノ口	H18.4.4	進入路設置	個人	270.0㎡	遺構・遺物なし
辻ノ長遺跡		玉城町上田辺字辻ノ長	H18.11.14	専用住宅建設	事業者	201.0㎡	遺構・遺物なし
海士潜女神社包含地	211－84	鳥羽市国崎町字宮之谷	H18.10.23	電柱改修	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
鳥羽城跡	211－324	鳥羽市鳥羽３丁目	H19.2.26	公園造成	事業者	2.0㎡	明治期以降？の井戸を確認
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野田端町	H18.5.10	個人住宅建設	事業者	3.0㎡	遺構・遺物なし
上野城跡	216－a358	伊賀市上野丸之内	H18.7.3	個人住宅建設	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
高畑遺跡	216－a972	伊賀市高畑	H18.7.11	個人住宅建設	事業者	6.0㎡	遺構・遺物なし
竹島氏館跡（隣接地）	216－b315	伊賀市川東	H18.8.25	農業倉庫建設	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野愛宕町	H18.7.25	個人住宅建設	事業者	4.0㎡	遺構・遺物なし
上野城跡	216－a358	伊賀市上野丸之内	H18.8.3	個人住宅建設	事業者	10.0㎡	遺構・遺物なし
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野新町	H18.12.22	個人住宅建設	事業者	6.0㎡	遺構・遺物なし
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野車坂町	H19.1.19	個人住宅建設	事業者	2.0㎡	遺構・遺物なし
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野農人町	H19.2.6	個人住宅建設	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
上野城下町遺跡	216－a1230	伊賀市上野幸坂町	H19.2.13	個人住宅建設	事業者	3.0㎡	遺構・遺物なし
河合氏館跡	216－d246	伊賀市川合	H19.2.5	下水道管埋設	事業者	1.0㎡	遺構・遺物なし
婦毛遺跡	216－a705	伊賀市大野木	H19.2.28	個人住宅	事業者	60.0㎡	遺構・遺物なし

4　本調査の概要

今年度行われた本調査（県埋蔵文化財センター 19件、斎宮歴史博物館14件、市町機関55件）の概要を示す。なお、※印は国・県費補助金事業である。

（1）県埋蔵文化財センター担当分

№1	遺 跡 名	大木ノ輪遺跡（第５次）	おぎのわいせき	台 帳 番 号	207－701
所 在 地	鈴鹿市上箕田町	事業主体	農水商工部四日市農林商工環境事務所		
調査原因	鈴鹿川沿岸地域（2期地区）経営体育成事業	費用負担	農水商工部農業基盤室※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	竹内英昭・穂積裕昌・酒井巳紀子		
調査期間	平成18年10月16日～平成18年11月10日	調査面積	380.0㎡		
着手通知	平成18年11月2日付教埋第385号	遺物発見	平成19年2月22日付教委第12-4-32号		
調査概要	当遺跡は、鈴鹿川下流の右岸の水田地帯に位置する。調査の結果、中世の溝や井戸、土坑などの遺構が確認された。遺物には、古墳時代の土器や中世の土師器類、山茶椀などがあり、山茶椀の底部に墨書が施されたものも出土した。				
主な遺構	井戸・溝・土坑・ピット				
主な遺物	土師器・須恵器・山茶椀・木製品			箱 数	3箱
				重 量	18.0kg
関連文献					

№2	遺 跡 名	立花堂遺跡（第３次）	たちばなどういせき	台 帳 番 号	201－a851
所 在 地	津市南河路	事業主体	県土整備部津建設事務所		
調査原因	一般国道163号南河路BP国補道路特殊改良（一種）事業	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	柴山圭子		
調査期間	平成18年6月23日～平成18年11月7日	調査面積	1,726.0㎡		
着手通知	平成18年7月3日付教埋第162号	遺物発見	平成18年11月16日付教委第12-4-13号		
調査概要	当遺跡は、安濃川下流の南岸、沖積地に位置する。調査の結果、古代の掘立柱建物や井戸、溝などを確認した。掘立柱建物の柱穴では黒色土器や灰釉陶器が出土している。また、溝からは土馬や延喜通寶、木製品などが出土した。いずれの溝も自然流路と思われる。井戸は今回調査区の南端で１基検出した。曲物が４段残っていたが、最下段の曲物は径が30cm強と非常に小さいものであった。				
主な遺構	溝・井戸・掘立柱建物・自然流路など				
主な遺物	土師器（ロクロ土師器含む）・須恵器・緑釉陶器・土錘・灰釉陶器・木製品（曲げ物・井戸枠）・土馬・延喜通寶など			箱 数	52箱
				重 量	102.1kg
関連文献					

№3	遺跡名	井手ノ上遺跡（第２次）	いでのうえいせき	台 帳 番 号	
所 在 地	津市木造町字井手ノ上	事業主体	国土交通省中部地方整備局		
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業	費用負担	国土交通省中部地方整備局		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	水谷豊・淺尾太･豊田祥三		
調査期間	平成18年5月17日～平成19年3月23日	調査面積	370.0㎡		
着手通知	平成18年6月16日付教埋第134号	遺物発見	平成19年3月16日付教委第12-4-39号		
調査概要	当遺跡は、雲出川下流左岸の沖積地に位置する。縄文後期から晩期の竪穴住居、弥生中期の可能性がある土坑・竪穴住居、古墳時代前期から後期にかけての竪穴住居・土坑等を確認した。多数の竪穴住居が検出されたが、その多くが古墳時代中期末から後期初頭のもので激しく重複している。				
主な遺構	竪穴住居・土坑・溝				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器甕・壷・杯、須恵器、山茶椀、白磁、臼玉、砥石			箱 数	57箱
				重 量	130.1kg
関連文献					

№4	遺 跡 名	木造赤坂遺跡（第７次）	こつくりあかさかいせき	台 帳 番 号	
所 在 地	津市木造町	事業主体	国土交通省中部地方整備局		
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業	費用負担	国土交通省中部地方整備局		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	大塚匡基・淺尾太・水谷豊・石井康晴・岡田実・角正芳浩・才木薫・豊田祥三		
調査期間	平成18年5月17日～平成19年3月23日	調査面積	11500.0㎡		
着手通知	平成18年6月16日付教埋第133号	遺物発見	平成19年3月16日付教委第12-4-40号		
調査概要	当遺跡は、雲出川下流の北岸の沖積地に位置する。周辺一帯は畑地ないしは水田になっている。縄文晩期・弥生中期・古墳時代前期から後期初頭の集落跡を南側の調査区で確認した。特に、古墳時代中期末を主とする竪穴住居群は激しく重複している。北側の調査区では、飛鳥時代から奈良時代の竪穴住居や、南北方向にのびる鎌倉時代から室町時代の道路の跡を確認した。その他、全体的に古代や中世の溝・井戸を数多く確認した。				
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、埋甕（縄文後期後葉）、井戸、道路跡、溝、土坑など				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、韓式系土器、埴輪、灰釉陶器、緑釉陶器、黒色土器、製塩土器、山茶椀、瓦器、白磁、青磁、常滑産陶器、石製品、鉄製品、木製品など			箱 数	639箱
				重 量	1773.9kg
関連文献					

№5	遺 跡 名	廿チ遺跡（第２次）	はたちいせき	台 帳 番 号	204－a790
所 在 地	松阪市上川町字廿チ	事業主体	国土交通省中部地方整備局 紀勢国道事務所		
調査原因	一般国道42号松阪多気バイパス建設事業	費用負担	国土交通省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	木野本和之・西口剛司		
調査期間	平成18年6月12日～平成18年6月29日	調査面積	339.0㎡		
着手通知	平成18年6月13日付教埋第149号	遺物発見	平成18年9月7日付教委第12-4-7号		
調査概要	当遺跡は、金剛川下流の南岸、丘陵端に位置する。平成７年度に第１次調査を行い、溝１条と掘立柱建物のように並ぶ小穴を検出したが時期等詳細については不明である。平成16年度に範囲確認調査を行い、遺構の広がりが明らかになったため、今年度第２次調査を行った。今回の調査では、古代から中世にかけての総柱建物3棟を含む掘立柱建物を9棟確認したほか、溝・土坑・柱穴等の遺構を多数確認した。				
主な遺構	掘立柱建物・溝・土坑・柱穴など				
主な遺物	土師器（ロクロ土師器含む）・須恵器・山茶椀・木製品（杭）など			箱 数	11箱
				重 量	41.9kg
関連文献	『一般国道42号松阪多気バイパス建設地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅵ　山ノ花・廿チ・北上遺跡』 三重県埋蔵文化財センター 1996 『一般国道42号松阪多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報９』三重県埋蔵文化財センター 2005				

№6	遺 跡 名	村竹コノ遺跡（第４次）	むらたけこのいせき	台 帳 番 号	
所 在 地	松阪市上川町字村竹・コノ	事業主体	国土交通省中部地方整備局 紀勢国道事務所		
調査原因	一般国道42号松阪多気バイパス建設事業	費用負担	国土交通省		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	木野本和之・西口剛司		
調査期間	平成18年6月27日～平成18年8月21日	調査面積	793.0㎡		
着手通知	平成18年7月3日付教埋第165号	遺物発見	平成18年9月11日付教委第12-4-8号		
調査概要	当遺跡は、金剛川下流の南岸、丘陵端に位置する。弥生時代後期から古墳時代前期にかけて営まれた集落の南端を調査した。この集落の周縁部で並行する位置に掘削された２本の環濠を確認した。居住域に相当する部分で竪穴住居跡６棟、井戸１基、その他溝・土坑・柱穴等の遺構を多数確認した。環濠の南側で幅約20mの旧河道を確認した。今までの調査結果から、環濠で囲まれた集落は、推定で東西約300m、南北約350mの範囲に広がるものと考えられ、周知の弥生時代後期の環濠集落としては県下最大規模であると考えられる。				
主な遺構	環濠・竪穴住居・井戸・溝・土坑・柱穴・旧河道など				
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器・山茶椀・木製品（農耕具）など			箱 数	49箱
				重 量	131.1kg
関連文献	『一般国道42号松阪多気バイパス埋蔵文化財発掘調査概報9』三重県埋蔵文化財センター 2005				

№7	遺 跡 名	西野田遺跡（第２次）	にしのだいせき	台帳番号	204－b248
所 在 地	松阪市嬉野下之庄町ほか	事業主体	県科学技術振興センター畜産研究部		
調査原因	県科学技術振興センター畜産研究部施設整備事業	費用負担	県科学技術振興センター畜産研究部		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	石井智大・川崎志乃		
調査期間	平成18年6月5日～平成18年11月2日	調査面積	1,755.9㎡		
着手通知	平成18年6月6日付教埋第109号	遺物発見	平成19年1月9日付教委第12-4-19号		
調査概要	当遺跡は、中村川右岸の台地上に立地している。今回の調査では竪穴住居や掘立柱建物が複数検出された。飛鳥時代後半～奈良時代前半に営まれた集落であるとみられ、付近の嬉野廃寺などとの関係が注目される。また、特筆されるのは土師器焼成遺構の検出である。この遺構は遺存状況もよく、内部からは燃料薪が当時の配置が復元できるような状態で検出された。当地域における土師器生産を考える上で重要な資料であると考えられる。				
主な遺構	竪穴住居・土師器焼成遺構・掘立柱建物・土坑・溝など				
主な遺物	土師器・須恵器・土錘・瓦・鉄製鋤先など			箱 数	39箱
				重 量	55.9kg
関連文献					

№8	遺 跡 名	西肥留遺跡（第５次）	にしひるいせき	台 帳 番 号	204－c6
所 在 地	松阪市肥留町	事業主体	県土整備部松阪建設事務所		
調査原因	道路改築事業（一）嬉野津線	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	伊藤文彦・野嶌美沙子・川崎志乃		
調査期間	平成18年9月12日～平成19年2月19日	調査面積	1,370㎡（累計2,372㎡）		
着手通知	平成18年9月12日付教埋第279号	遺物発見	平成19年3月1日付教委第12-4-37号		
調査概要	西肥留遺跡は雲出川南岸の沖積地に位置する。本第５次調査では、弥生時代後期から古墳時代にかけての竪穴住居、木棺墓、井戸、これら集落域の北端を画する流路跡などを検出した。竪穴住居のうち１棟は古墳時代前期初頭の焼失住居である。また床面に複数の炉跡が存在する竪穴住居や、鋳型かと思われる土製品、フイゴ羽口、鉄滓も検出されるなど、金属器加工を示唆する状況が認められた。このほか、外来系土器や鳥形土製品も検出された。				
主な遺構	流路跡・竪穴住居・焼失住居・井戸・木棺墓・杭列				
主な遺物	土師器・須恵器・土錘・瓦・鉄製鋤先など			箱 数	39箱
				重 量	55.9kg
関連文献					

№9	遺 跡 名	東沖遺跡	ひがしおきいせき	台 帳 番 号	204－a11A-12
所 在 地	松阪市茅原町東沖	事業主体	農水商工部松阪農林商工環境事務所		
調査原因	中山間総合整備事業(茅広江地区)	費用負担	農水商工部農山漁村室※		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	木本勝己・穂積裕昌・酒井巳紀子		
調査期間	平成18年5月17日～平成18年9月29日	調査面積	3,480.0㎡		
着手通知	平成18年5月18日付教埋第86号	遺物発見	平成18年10月25日付教委第12-4-10号		
調査概要	当遺跡は櫛田川中流の南岸、河岸段丘に位置する。石組みの中世墓２基のうち、その一つからは副葬品と考えられる漆椀や小刀も出土した。その他の大小の石組み遺構も複数確認されたが、その一つは方形でほぼ原型のままで、陶器甕片などが出土した。土坑は、焼土が混じっているものが多くあった。柱穴は敷石が置かれているものも多くあり、掘立柱建物も数棟確認された。その他屋敷の区画溝と考えられる溝も確認された。出土した土師器皿・鍋、陶器山茶碗、銭貨等の遺物の年代より鎌倉時代から室町時代（約800 ～ 600年前）の集落跡と分かる。				
主な遺構	土坑、柱穴、溝、中世墓、石組み遺構、掘立柱建物など				
主な遺物	土師器鍋・皿，陶器甕，陶器山茶碗，陶器山皿，青磁，白磁、鉄製品(釘，刀子など)、漆椀、銭貨など			箱 数	95箱
				重 量	146kg
関連文献					

No.10	遺 跡 名	岸本遺跡（第3次）	きしもといせき	台 帳 番 号	204－e33
所 在 地	松阪市飯高町森	事業主体	県土整備部松阪建設事務所		
調査原因	蓮峡線（一）道路改築事業	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	小濵　学		
調査期間	平成18年6月28日～平成18年10月5日	調査面積	969.0㎡		
着手通知	平成18年6月29日付教埋第157号	遺物発見	平成19年2月27日教委第12-4-36号		
調査概要	事業地は、櫛田側上流左岸の河岸段丘に立地している。当遺跡は、昭和59年度に三重県によって発掘調査が行われ、平成12年度には飯高町による試掘調査が行われている。今回、県道蓮峡線の道路改築事業に伴って発掘調査を行った。層序は、第Ⅰ層旧耕作土、第Ⅱ層暗褐色土、第Ⅲ層暗黄色粘質土、第Ⅳ層黄褐色粘質土で、第Ⅲ・Ⅳ層上面で室町時代に掛けての土坑・土坑墓・ピット（小穴）を検出した。				
主な遺構	溝、井戸、土坑など				
主な遺物	土師器、陶器、石器など			箱 数	3箱
				重 量	17.6kg
関連文献					

No.11	遺 跡 名	丁長遺跡	ちょながいせき	台 帳 番 号	442－745
所 在 地	明和町斎宮字丁長、上野字土橋・比和加山	事業主体	農林水産省東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所		
調査原因	国営宮川用水第二期土地改良事業	費用負担	農林水産省東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	木野本和之・小山憲一・西口剛司・ 前野謙一		
調査期間	平成18年4月10日～平成18年6月7日	調査面積	2,930.0㎡		
着手通知	平成18年4月10日付教埋第19号	遺物発見	平成18年6月22日付教委第12-4-3号		
調査概要	当遺跡は、国史跡斎宮跡の東方に位置し、笹笛川中流域左岸の段丘上に立地する。遺跡の現況は水田で、調査区は近鉄線を挟んだ北と南に位置する。調査の結果、近鉄線の南側調査区で古代の伊勢道と考えられる道路遺構を確認した。一方、近鉄線の北側調査区では中世の平行する溝を確認しており、当該遺構も道路遺構の可能性がある。 また、笹笛川の右岸側では、仮設工に伴うﾄﾚﾝﾁ調査を行ったが、旧河道若しくは湿地状と考えられる地形が確認できたのみで、想定された道路遺構の延長部分やその他の遺構は確認できなかった。				
主な遺構	道路遺構・溝・土坑落ち込みなど				
主な遺物	石器・土師器・陶器など			箱 数	19箱
				重 量	27.2kg
関連文献	杉谷政樹「三　古代の伊勢道」『明和町史「斎宮編」』明和町　2005 伊藤裕偉「斎宮寮・伊勢道・条里」『斎宮歴史博物館研究紀要十三』斎宮歴史博物館　2004				

No.12	遺 跡 名	丁長遺跡（第２次）	ちょながいせき	台 帳 番 号	442－745
所 在 地	明和町斎宮字丁長、上横田	事業主体	県土整備部松阪建設事務所		
調査原因	総合流域防災事業二級河川笹笛川	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	野嶌美沙子・小林俊之		
調査期間	平成18年5月16日～平成18年7月24日	調査面積	1,400.0㎡		
着手通知	平成18年5月17日付教埋第77号	遺物発見	平成18年8月3日付教委第12-4-4号		
調査概要	当遺跡は、国史跡斎宮跡の東方に位置し、笹笛川中流域左岸の段丘上に立地する。遺跡の現況は原野で、調査区は近鉄線の北側に位置する。調査の結果、1次調査で確認された中世の平行する溝の延長部分及び、井戸等を確認した。また、近世の井戸を１基確認した。上層は破壊されていたが、下層部の木枠の上面で護摩木と思われる木札が出土した。				
主な遺構	溝、井戸、土坑など				
主な遺物	土師器、陶器、石器など			箱 数	16箱
				重 量	17.6kg
関連文献	伊藤裕偉「斎宮寮・伊勢道・条里」『斎宮歴史博物館研究紀要十三』斎宮歴史博物館　2004				

№13	遺 跡 名	長谷町遺跡	はせまちいせき	台 帳 番 号	442－717
所 在 地	明和町池村字長谷町	事業主体	農林水産省東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所		
調査原因	国営宮川用水第二期土地改良事業	費用負担	農林水産省東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	小山憲一・前野謙一		
調査期間	平成18年11月6日～平成18年12月22日	調査面積	946.0㎡		
着手通知	平成18年9月4日付教埋第254号	遺物発見	平成19年1月23日付教委第12-4-20号		
調査概要	当遺跡は、斎宮跡から南南西へ約４kmに位置し、玉城丘陵南端部の丘陵尾根緩斜面上に立地する。遺構は南面する緩斜面で検出され、８世紀後半代の竪穴状遺構及び９世紀後半～10世紀前半代の火葬墓・焼土坑等が確認できた。火葬墓は、1辺約0.8m、深さ約30cmの隅丸方形の墓壙底部に木炭が敷き詰められ、中央に灰釉陶器椀で蓋をされた灰釉短頸壺の蔵骨器がすえられている。また、この蔵骨器の上には、木炭が山状に盛られ、さらに、蔵骨器の南側と東側には、副葬品と考えられる２つの土師器皿をあわせ口にしたものが合計5組並べられていた。遺跡の位置から、被葬者は斎宮もしくは伊勢神宮内宮の祢宜を代々世襲していた荒木田氏との関連が想定される高位の人物の可能性が高い。				
主な遺構	火葬墓・竪穴状遺構・焼土坑・土坑など				
主な遺物	土師器皿、土師器甕、灰釉陶器椀、壺、石器等			箱 数	20箱
				重 量	22.8kg
関連文献	『宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター　2001				

№14	遺 跡 名	大谷遺跡（第２次）	おおたにいせき	台 帳 番 号	
所 在 地	玉城町大字上田辺字不動	事業主体	農林水産省東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所		
調査原因	国営宮川用水第二期土地改良事業	費用負担	農林水産省東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	小山憲一・前野謙一		
調査期間	平成18年9月8日～平成18年11月1日	調査面積	1635.0㎡		
着手通知	平成18年9月4日付教埋第254号	遺物発見	平成19年2月26日付教委第12-4-34号		
調査概要	当遺跡は、外城田川中流の北岸に位置し、玉城丘陵の南端の谷筋に立地する。本発掘調査の対象地としたＡ～Ｄの４地区のうち、今回はD地区の調査を行った。調査の結果、検出した遺構は自然流路と落ち込み等を確認したのみである。包含層や流路埋土から縄文～中世の土器片や農耕具他の木製品等が出土したものの、出土量は少量で、検出遺構の時期は不明・不詳のものが多い。				
主な遺構	自然流路				
主な遺物	縄文（中期～後期）土器・弥生土器・土師器（古墳～中世）・須恵器・山茶椀・など			箱 数	11箱
				重 量	22.9kg
関連文献	『宮川用水第二期地区埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ』三重県埋蔵文化財センター　2001				

№15	遺 跡 名	三疋田遺跡	さんひきだいせき	台 帳 番 号	441－a309
所 在 地	多気町大字三疋田字西久保	事業主体	県土整備部松阪建設事務所		
調査原因	一般地方道勢和兄国松阪線地方道路整備事業	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担 当 者	伊藤文彦		
調査期間	平成18年5月16日～平成18年8月23日	調査面積	1,200.0㎡		
着手通知	平成18年5月17日付教埋第76号	遺物発見	平成18年9月5日付教委第12-4-6号		
調査概要	当遺跡は櫛田川右岸に展開する河岸段丘の段丘面上に位置する。本調査では平安時代後期の溝、平安時代以前の旧流路を検出した。このうち平安時代後期の溝からは蓮華文軒丸瓦や巴文軒丸瓦など瓦が一定量出土しており、付近に瓦葺建物の存在が想定される。旧流路中からは古墳時代後期から飛鳥時代の須恵器・土師器が出土しており、流路はこの時期までは機能していたと考えられる。なおこの旧流路の下層で時期不明ながら水田跡も検出された。				
主な遺構	水田跡、溝、自然流路				
主な遺物	瓦（蓮華文軒丸瓦・巴文軒平瓦・唐草文軒平瓦・平瓦・丸瓦） 土師器（甕・坏・高坏）、須恵器（坏身・坏蓋・器台）、木器（折敷・部材）、弥生土器、縄文土器			箱 数	12箱
				重 量	62.1kg
関連文献					

№16	遺跡名	流谷遺跡	ながしだにいせき	台帳番号	471－c新発見
所在地	度会郡大紀町大内山	事業主体	中日本高速道路㈱		
調査原因	近畿自動車道紀勢線建設事業	費用負担	中日本高速道路㈱		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担当者	木野本和之		
調査期間	平成18年8月11日～平成18年8月11日	調査面積	60.0㎡		
着手通知	平成18年8月10日付教埋第232号	遺物発見	平成19年2月22日付教委第12-4-33号		
調査概要	現況は山林で、大内山川支流・流谷右岸に派生する尾根の北麓の平坦面に位置する。調査対象は、尾根裾に造られた石組状構造物で囲まれた部分とその周囲である。調査は石組状構造物内側に堆積していた土砂と転落石を除去し、石組の構造を明らかにすることを主眼に実施した。石組は「コ」字形に積まれており、奥壁手前部分が一段高い壇状であることが確認され、堆積していた土砂中から磁器・瓦・寛永通宝等の遺物が出土した。				
主な遺構	石組				
主な遺物	磁器、瓦、砥石、寛永通宝など			箱数	1箱
				重量	0.5kg
関連文献					

№17	遺跡名	霧生城跡	きりゅうじょうあと	台帳番号	216－f176
所在地	伊賀市霧生字中切	事業主体	県土整備部伊賀建設事務所		
調査原因	道路改築事業（主）松阪青山線	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担当者	萩原義彦・石井智大・小林俊之		
調査期間	平成18年9月22日～平成19年1月9日	調査面積	1,395.0㎡		
着手通知	平成18年9月29日付教埋第297号	遺物発見	平成19年1月23日付教委第12-4-21号		
調査概要	調査地は尾根上の平坦地で、より高所に位置する霧生城本体と何らかの関連を持つ施設の存在が予想されていた。調査の結果、掘立柱建物２棟と、尾根を区切るように掘られた溝や土坑などが検出された。遺物は主に斜面部分より出土したが、これらの遺物からみて尾根上の構造物は16世紀後半に営まれたものであるとみられる。したがって、やはり霧生城本体と何らかの関係を持つ施設であると考えることができる。土製・鉄製の鍋や石臼などの出土品からみて、生活の場となっていた可能性が高い。				
主な遺構	掘立柱建物・溝・土坑・ピット				
主な遺物	土師器・陶器・磁器・瓦・砥石・石臼・鉄釜・鉄滓			箱数	3箱
				重量	4.4kg
関連文献	『伊賀の中世城館』伊賀中世城館調査会1997				

№18	遺跡名	中道遺跡	なかみちいせき	台帳番号	216－f253
所在地	伊賀市種生字中道	事業主体	県土整備部伊賀建設事務所		
調査原因	（一）名張青山線地方特定道路整備事業	費用負担	県土整備部道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担当者	柴山圭子・小林俊之		
調査期間	平成18年12月5日～平成18年12月7日	調査面積	66.0㎡		
着手通知	平成18年12月12日付教埋第348号	遺物発見	平成19年２月13日付教委第12-4-22号		
調査概要	当遺跡は、標高284～294mの段丘上に所在する。平成12年度に行われた範囲確認調査で、鎌倉時代以降を中心とする遺跡として確認されている。また、西側に流れる前深瀬川に近いところでは縄文土器も出土している。今回の調査では、土坑やピットを検出し、瓦器や土師器の小片・陶器片などを確認した。				
主な遺構	土坑・ピット				
主な遺物	土師器・瓦器・陶器			箱数	1箱
				重量	0.1kg
関連文献					

№19	遺跡名	森庵遺跡	もりあんいせき	台帳番号	216－a1244
所在地	伊賀市大谷	事業主体	伊賀建設事務所		
調査原因	一般国道422号三田坂バイパス道路改築事業	費用負担	県土整備部　道路整備室		
調査機関	三重県埋蔵文化財センター	担当者	萩原義彦		
調査期間	平成18年5月16日～平成19年8月23日	調査面積	1,400.0㎡		
着手通知	平成18年5月23日付教埋第96号	遺物発見	平成18年9月11日付教委第12-4-9号		
調査概要	調査成果は、古墳１基、掘立柱建物２棟、竪穴状遺構、溝多数、土坑多数、確認できた。古墳は、推定計約10m前後で円墳である。主体部は、良好に遺存しており鉄製品・石製品が出土した。掘立柱建物は、平安時代のものと鎌倉時代のものとみられる。鎌倉時代は、集落跡とみられ、屋敷跡と考えられる。また、竪穴状遺構は、附属するような建物と推測される。				
主な遺構	古墳・掘立柱建物・溝・土坑・ピット				
主な遺物	土師器・陶器・磁器・瓦・石製品・鉄製品			箱数	34箱
				重量	53.2kg
関連文献					

（2）斎宮歴史博物館担当分

No.20	遺跡名	斎宮跡（第149次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町竹川字中垣内	事業主体	三重県教育委員会		
調査原因	学術調査	費用負担	※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	水橋公恵		
調査期間	平成18年8月21日～平成18年11月15日	調査面積	650㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成18年11月15日付教斎第6-1号		
調査概要	史跡西部における初期斎宮の範囲確認を目的とした調査の５年目にあたる。古代の遺構は非常に少なく、掘立柱建物３棟・竪穴住居１棟・土坑である。第141次調査や第132次調査などで見つかっている奈良時代の南北道路は確認されなかった。 飛鳥・奈良時代の斎宮中心部は今回の調査区よりも西側や北側に存在する可能性が高まった。				
主な遺構	弥生時代後期の方形周溝墓４基、古代の掘立柱建物３棟・竪穴住居１棟・土坑、時期不明の溝１条				
主な遺物	弥生土器・土師器・須恵器・陶器			箱数	18箱
				重量	53.1kg
関連文献	史跡斎宮跡第149次発掘調査（中垣内地区）現地説明会資料				

No.21	遺跡名	斎宮跡（第150次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	三重県		
調査原因	斎宮跡学術調査研究事業	費用負担	三重県教育委員会・文化庁※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	大川勝宏		
調査期間	平成18年10月16日～平成19年1月10日	調査面積	500㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第178号		
調査概要	史跡東部に８世紀末頃に成立したとみられる方格地割の区画道路交差点のひとつを確認した。またその道路区画溝を踏襲したとみられる平安時代後期やそれ以降の溝も確認した。				
主な遺構	区画道路・道路交差点・溝・土坑				
主な遺物	土師器・須恵器・灰釉陶器			箱数	16箱
				重量	66.9kg
関連文献	－				

No.22	遺跡名	斎宮跡（第151-1次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	明和町		
調査原因	明和町下水道事業	費用負担	明和町		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	大川勝宏・泉雄二・水橋公恵		
調査期間	平成18年8月7日～平成18年12月5日	調査面積	177㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第179号		
調査概要	明和町による下水道事業に先立つ調査。23工区分。史跡東部の町道部分は推進工法によったため、マンホール及び各戸配管の部分を発掘調査した。				
主な遺構	溝・ピット				
主な遺物	土師器・須恵器・灰釉陶器			箱数	3箱
				重量	11.3kg
関連文献					

No.23	遺跡名	斎宮跡（第151-2調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	明和町		
調査原因	明和町下水道事業	費用負担	明和町		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	大川勝宏・水橋公恵		
調査期間	平成18年8月29日～平成18年10月16日	調査面積	469㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第180号		
調査概要	明和町下水道事業に先立つ発掘調査。22工区部分。				
主な遺構	竪穴住居・掘立柱建物・土坑・井戸・溝				
主な遺物	土師器・須恵器・灰釉陶器			箱数	17箱
				重量	50.5kg
関連文献					

No.24	遺跡名	斎宮跡（第151-3次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅改築	費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	大川勝宏		
調査期間	平成18年8月18日～平成18年8月18日	調査面積	4.0㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第181号		
調査概要	参宮街道沿い。東西方向の溝。				
主な遺構	溝				
主な遺物	なし			箱数	1箱
				重量	0.1kg
関連文献					

No.25	遺跡名	斎宮跡（第151-4次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅新築	費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	松田珠美		
調査期間	平成18年9月11日～平成18年12月25日	調査面積	92㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第182号		
調査概要	歴史の道北側の個人住宅新築に伴う発掘調査。住宅本体工事に伴う箇所と、排水管埋設工事に分けて調査を行った。				
主な遺構	竪穴住居・掘立柱建物・鎌倉大溝				
主な遺物	土師器・須恵器			箱数	10箱
				重量	21.0kg
関連文献					

No.26	遺跡名	斎宮跡（第151-5次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅改築	費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	泉雄二		
調査期間	平成18年9月27日～平成18年9月27日	調査面積	56.7㎡		
着手通知	－	遺物発見	－		
調査概要	参宮街道沿いの集落内。個人住宅の改築工事に伴い立会いを行ったが、掘削深度が遺構面直上に至ったため、検出された遺構の実測を行い記録を作成した。				
主な遺構	周溝				
主な遺物	なし			箱数	なし
				重量	0.0kg
関連文献					

No.27	遺跡名	斎宮跡（第151-6次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅新築	費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	泉雄二		
調査期間	平成18年10月11日～平成18年10月17日	調査面積	65.0㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第183号		
調査概要	参宮街道沿いの宅地。新築する個人住宅の基礎部分を調査。				
主な遺構	掘立柱建物・ピット				
主な遺物	土師器			箱数	1箱
				重量	1.2kg
関連文献					

No.28	遺跡名	斎宮跡（第151-7次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮	事業主体	個人		
調査原因	明和町下水道事業	費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※		
調査機関	斎宮歴史博物館	担当者	大川勝宏		
調査期間	平成18年11月8日～平成19年1月19日	調査面積	193.0㎡		
着手通知	－	遺物発見	平成19年2月14日付教斎第184号		
調査概要	明和町下水道事業に先立つ発掘調査。24工区部分。				
主な遺構	溝				
主な遺物	土師器・須恵器・陶器			箱数	2箱
				重量	6.7kg
関連文献					

No.29	遺跡名	斎宮跡（第151-8次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮		事業主体	明和町	
調査原因	明和町上水道改修事業		費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※	
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	泉雄二・大川勝宏	
調査期間	平成18年11月8日～平成18年12月24日		調査面積	11.5㎡	
着手通知	―		遺物発見	―	
調査概要	参宮街道南の水田地域にある町道での、上水道管付け替え工事に伴う。工事立会い中に遺構面に達した部分について記録作成。				
主な遺構	溝・土坑				
主な遺物	なし			箱数	なし
				重量	0.0kg
関連文献					

No.30	遺跡名	斎宮跡（第151-9次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮		事業主体	個人	
調査原因	植栽撤去と土壌改良		費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※	
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	大川勝宏	
調査期間	平成18年11月27日～平成18年11月27日		調査面積	4.2㎡	
着手通知	―		遺物発見	―	
調査概要	参宮街道沿いの集落内。竹やぶを抜開し畑地に転換するのに先立ち調査を行い、遺構の状況と遺構面の深度を確認した。				
主な遺構	なし				
主な遺物	なし			箱数	なし
				重量	0.0kg
関連文献					

No.31	遺跡名	斎宮跡（第151-10次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮		事業主体	個人	
調査原因	飼料用サイロ建設		費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※	
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	大川勝宏	
調査期間	平成18年12月18日～平成18年12月19日		調査面積	8.0㎡	
着手通知	―		遺物発見	平成19年2月14日付教斎第186号	
調査概要	史跡東部において飼料用サイロ建設に先立ちその基礎部分の調査を行った。				
主な遺構	溝・ピット				
主な遺物	土師器・須恵器			箱数	1箱
				重量	0.7kg
関連文献					

No.32	遺跡名	斎宮跡（第151-11次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮		事業主体	個人	
調査原因	宅地造成		費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※	
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	大川勝宏	
調査期間	平成19年2月1日～平成19年2月5日		調査面積	92㎡	
着手通知	―		遺物発見	平成19年2月14日付教斎第187号	
調査概要	史跡南部の水田地を埋め立てて宅地の造成を行うのに先立って発掘調査を実施。				
主な遺構	なし				
主な遺物	土師器片等			箱数	1箱
				重量	0.9kg
関連文献					

No.33	遺跡名	斎宮跡（第151-12次調査）	さいくうあと	台帳番号	442－210
所在地	多気郡明和町斎宮		事業主体	個人	
調査原因	ポールの設置		費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※	
調査機関	斎宮歴史博物館		担当者	大川勝宏	
調査期間	平成19年3月23日		調査面積	2㎡	
着手通知	―		遺物発見	平成19年3月29日教斎207号	
調査概要	平安時代の斎宮内院と想定されている竹神社境内地での調査。				
主な遺構	土坑?				
主な遺物	土師器・ロクロ土師器			箱数	1箱
				重量	0.1kg
関連文献					

（2）市町機関担当の調査

No.34	遺跡名	上惣作遺跡	かみそうさくいせき	台帳番号	214－a69
所在地	いなべ市北勢町阿下喜	事業主体	中部電力㈱		
調査原因	天然ガス導管『三重・滋賀ライン』敷設工事	費用負担	中部電力㈱		
調査機関	いなべ市教育委員会	担当者	生涯学習課		
調査期間	平成19年1月25日～平成19年3月13日	調査面積	217.0㎡		
着手通知	平成19年1月25日付い教生第8466号	遺物発見			
調査概要	当遺跡は、員弁川中下流の南岸、沖積地に位置し、東海環状自動車道敷設予定地に接する。奈良時代・中世の掘立柱建物柱建物跡を２棟を確認した。土師器・山茶碗片が出土。				
主な遺構	掘立柱建物２棟				
主な遺物	土師器：甕、坏 山茶碗			箱数	1箱
				重量	
関連文献	『上惣作遺跡』三重県埋蔵文化財センター				

No.35	遺跡名	柳原遺跡	やなぎはらいせき	台帳番号	205－a69
所在地	桑名市大字赤尾字松ヶ坪	事業主体	個人		
調査原因	美容院建築	費用負担	桑名市教育委員会		
調査機関	桑名市教育委員会	担当者	斎藤理		
調査期間	平成18年4月6日	調査面積	9.6㎡		
着手通知		遺物発見			
調査概要	合併浄化槽設置部分が調査対象。掘削深度に制限があり、地表から2mの掘削のみ。近世以降の堆積層を確認。未掘削の下層に遺構がある可能性。				
主な遺構	なし				
主な遺物	近世陶器			箱数	1箱
				重量	
関連文献					

No.36	遺跡名	七和廃寺	ななわはいじ	台帳番号	205－a44
所在地	桑名市大字芳ヶ崎字大辻	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅建設	費用負担	桑名市教育委員会		
調査機関	桑名市教育委員会	担当者	斎藤理		
調査期間	平成18年4月20日	調査面積	2.4㎡		
着手通知	平成18年4月21日付教文第38号	遺物発見	平成19年5月28日付教文第109号		
調査概要	浄化槽部分が調査対象。地表より0.45mで焼土粒を含む遺物包含層を検出。地山まで掘削したが遺構は確認されず。				
主な遺構	遺物包含層				
主な遺物	近世陶器			箱数	1箱
				重量	
関連文献					

No.37	遺跡名	桑名城下町遺跡	くわなじょうかまちいせき	台帳番号	205－a99
所在地	桑名市一色町	事業主体	（株）ユニディオコーポレーション		
調査原因	住宅建設	費用負担	原因者		
調査機関	桑名市教育委員会	担当者	斎藤理		
調査期間	平成18年7月7日	調査面積	41.0㎡		
着手通知	平成18年7月27日付教文第18号の３	遺物発見	平成19年5月28日付教文第109号		
調査概要	道路部分が調査対象。遺構の残存状況確認のためトレンチを3ヶ所設定、掘削を行った。いずれも遺構は検出されなかったが、近世の遺物包含層が確認された。				
主な遺構	遺物包含層				
主な遺物	近世陶磁器、瓦、木製品、炭、種子、貝類			箱数	8箱
				重量	
関連文献					

№38	遺 跡 名	桑名城下町遺跡	くわなじょうかまちいせき	台帳番号	205－a99
所 在 地	桑名市外堀		事業主体	個人	
調査原因	住宅建設		費用負担	桑名市教育委員会	
調査機関	桑名市教育委員会		担 当 者	斎藤理	
調査期間	平成18年8月1日		調査面積	22.0㎡	
着手通知	平成18年8月23日付教文第136号の６		遺物発見	平成19年5月28日付教文第109号	
調査概要	表層改良部分が調査対象。掘削深度に制限があったため、地表から1.9mの掘削。近年の盛土を確認したのみで、遺構は検出されなかった。				
主な遺構	なし				
主な遺物	近世陶磁器			箱 数	1箱
				重 量	
関連文献					

№39	遺 跡 名	桑名城下町遺跡	くわなじょうかまちいせき	台帳番号	205－a99
所 在 地	桑名市外堀		事業主体	個人	
調査原因	住宅建築		費用負担	桑名市教育委員会	
調査機関	桑名市教育委員会		担 当 者	宇佐見亜紀	
調査期間	平成18年8月29日		調査面積	1.4㎡	
着手通知	平成18年9月4日付教文第99号の６		遺物発見	平成19年5月28日付教文第109号	
調査概要	柱状改良基礎集中部分2ヶ所が調査対象（トレンチ1、2）。掘削深度に制限があり、地表から1.5m掘削したのみ。トレンチ1、2ともに近世の遺物包含層を確認。トレンチ1の最下部では土坑1基を検出した。				
主な遺構	土坑、遺物包含層				
主な遺物	近世陶磁器、瓦、土師器、炭			箱 数	1箱
				重 量	
関連文献					

№40	遺跡名	天王平遺跡	てんのうびらいせき	台帳番号	205－b57
所 在 地	桑名市多度町小山字天王平		事業主体	桑名市多度建設課	
調査原因	市道天王平５号線建設工事		費用負担	桑名市	
調査機関	桑名市教育委員会多度支局		担当者	石神教親	
調査期間	平成18年9月25日～平成18年12月8日		調査面積	500.0㎡	
着手通知	平成18年9月25日付多教総第46号		遺物発見		
調査概要	今回の調査では、天王平遺跡で初めて古墳時代の竪穴住居が確認された。				
主な遺構	今回の調査では、竪穴住居２棟・掘立柱建物１棟が検出された。				
主な遺物	土師器・須恵器・灰釉陶器			箱数	5箱
				重量	
関連文献	「多度町詳細遺跡分布地図」多度町教育委員会1999				

№41	遺 跡 名	西方古窯	にしかたこよう	台帳番号	205－a80
所 在 地	桑名市大字西方字笹山		事業主体	西方連合自治会	
調査原因	造成		費用負担	桑名市教育委員会」	
調査機関	桑名市教育委員会		担 当 者	斎藤理・宇佐見亜紀	
調査期間	平成18年9月5日～平成18年9月23日		調査面積	130.4㎡	
着手通知	平成18年10月9日付教文第301号		遺物発見	平成19年5月28日付教文第109号	
調査概要	瓦窯2基及び、瓦窯に伴うと考えられる遺物集中地点と、焼土を含む土層を確認した。最大で計4基の瓦窯が想定される。				
主な遺構	瓦窯2基				
主な遺物	軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、須恵器			箱 数	125箱
				重 量	
関連文献					

№42	遺跡名	七和廃寺	ななわはいじ	台帳番号	205－a
所在地	桑名市大字芳ヶ崎字大辻		事業主体	個人	
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会	
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斎藤理・宇佐見亜紀	
調査期間	平成18年10月13日		調査面積	9.7㎡	
着手通知	平成18年10月25日付教文第261号の6		遺物発見	平成19年5月28日付第109号	
調査概要	浄化槽部分が調査対象。地表下0.3mで、他地点で確認されている黒褐色の遺物包含層を検出した。地山面に掘り込まれた幅0.5mの溝1条も検出された。				
主な遺構	溝、遺物包含層				
主な遺物	なし			箱数	
				重量	
関連文献					

№43	遺跡名	桑名城跡	くわなじょうあと	台帳番号	205－a100
所在地	桑名市三之丸		事業主体	個人	
調査原因	個人住宅		費用負担	桑名市教育委員会	
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	宇佐見亜紀	
調査期間	平成18年11月14日		調査面積	4.3㎡	
着手通知	平成18年11月24日付教文第231号の６		遺物発見	平成19年5月28日付第109号	
調査概要	柱状改良基礎集中部分1ヶ所が調査対象。掘削深度に制限があり、地表から1.6m掘削したのみ。最下部に土坑1基を検出。近世の遺物包含層も確認した。				
主な遺構	土坑、遺物包含層				
主な遺物	近世陶磁器、瓦、土師器、炭			箱数	1箱
				重量	
関連文献					

№44	遺跡名	矢田城跡	やだじょうあと	台帳番号	205－a
所在地	桑名市大字矢田地内		事業主体	桑名市教育委員会	
調査原因	愛宕山庚申碑整備事業		費用負担	桑名市教育委員会	
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斎藤理	
調査期間	平成18年12月25日・平成19年1月25日		調査面積	15.8㎡	
着手通知	平成19年3月23日付教文332号の２		遺物発見	平成19年5月28日付第109号	
調査概要	庚申碑設置場所が調査対象。郭と考えられる平坦面の縁辺部にあたり、遺構や遺物包含層は検出されなかったが、旧表土より下層はよく残存しており、旧地形が温存されているものと考えられる。				
主な遺構	なし				
主な遺物	なし			箱数	
				重量	
関連文献					

№45	遺跡名	宇賀遺跡	うがいせき	台帳番号	205－a98
所在地	桑名市大字蓮花寺字惣作		事業主体	大東建託株式会社	
調査原因	共同住宅建設		費用負担	原因者	
調査機関	桑名市教育委員会		担当者	斎藤理	
調査期間	平成19年3月14日		調査面積	52.8㎡	
着手通知	平成19年3月23日付教文第382号の６		遺物発見	平成19年5月28日付第109号	
調査概要	建物基礎部分が調査対象。遺跡の縁辺部にあたるため、遺跡範囲をトレンチで確認した。掘削深度に制限があったため、無遺物層まで掘り抜いていない。地表から1mで中世の遺物包含層を確認したが遺物はごく少量であった。				
主な遺構	遺物包含層				
主な遺物	山茶碗、白磁、土師器、須恵器、近世陶磁器、木製品			箱数	2箱
				重量	
関連文献					

№46	遺跡名	柿城跡	かきじょうあと	台帳番号	343－6
所在地	朝日町大字柿字城ノ広	事業主体	朝日町柿土地区画整理組合		
調査原因	土地区画整理	費用負担	朝日町柿土地区画整理組合		
調査機関	朝日町教育委員会	担当者	竹内弘光		
調査期間	平成18年6月25日～平成18年10月18日	調査面積	2,020.0㎡		
着手通知	平成18年7月4日朝教文216号	遺物発見	平成18年10月20日付朝教文307号		
調査概要	当遺跡は、朝明川左岸、標高32m付近の丘陵先端部に位置する中世城館である。発掘調査の結果、主郭の西側において通路と推測される溝状の遺構を確認し、また北西においては自然地形を利用した堀を確認している。				
主な遺構	堀、通路				
主な遺物	須恵器、灰釉陶器、土師皿、羽釜、瀬戸美濃陶器、常滑陶器、近世陶磁器			箱数	12箱
				重量	12.6kg
関連文献	「朝日町遺跡詳細分布地図」朝日町教育委員会2003				

№47	遺跡名	久留倍遺跡	くるべいせき	台帳番号	202－74
所在地	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	事業主体	四日市市		
調査原因	国庫補助金事業	費用負担	国・県・市		
調査機関	四日市市教育委員会	担当者	服部芳人・濱辺一機		
調査期間	平成18年7月4日～平成18年7月26日	調査面積	2,150.0㎡		
着手通知	平成18年7月10日付社会第298号	遺物発見	平成18年9月5日付社会第398号		
調査概要	遺跡西側の丘陵頂部の平坦面に広がる、政庁域とその西の区画溝の２ヶ所を調査対象とした。政庁域の主な掘立柱建物の精査では、遺構の切り合い関係と柱痕の痕跡確認に努めた結果、これまで考えていた変遷案に修正を加える必要性が生じてきた。また、若干区画溝を掘削を行った結果、下層より12世紀前半代の山茶椀が出土した。				
主な遺構	掘立柱建物・区画溝				
主な遺物	弥生土器・須恵器・土師器・山茶椀・中世陶器			箱数	3箱
				重量	3.0kg
関連文献	『久留倍遺跡範囲確認調査報告書ー三重県四日市市大矢知町ー』四日市市教育委員会　2006（平成18）年３月				

№48	遺跡名	久留倍遺跡	くるべいせき	台帳番号	202－74
所在地	四日市市大矢知町字久留倍・字矢内谷	事業主体	四日市市		
調査原因	史跡整備	費用負担	市		
調査機関	四日市市教育委員会	担当者	葛山拓也･五十棲孝子		
調査期間	平成18年11月6日～平成18年12月27日	調査面積	226.0㎡		
着手通知	平成18年11月14日付社会第536号	遺物発見	平成18年12月26日付社会第602号		
調査概要	調査場所はＥ地区とＧ地区の間で、国指定史跡久留倍官衙遺跡指定地のすぐ東側である。弥生時代に集落が営まれた後、古墳時代から中世の溝や土坑、ピット、井戸が散見される。官衙に関する遺構は無く、当該時期の遺物も僅かである。				
主な遺構	竪穴住居･溝・土坑（弥生時代中期－後期）、溝・土坑･井戸･ピット（古墳時代･平安時代･中世）				
主な遺物	弥生土器･須恵器･灰釉陶器陶器･山茶椀･土師器・土錘・土製紡錘車・砥石			箱数	28箱
				重量	70.0kg
関連文献	『久留倍遺跡範囲確認調査報告書ー三重県四日市市大矢知町ー』（四日市市教育委員会2006(平成18)年３月）				

№49	遺跡名	平田遺跡（11-1次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年3月31日～平成18年4月26日	調査面積	81.3㎡		
着手通知	平成18年4月21日鈴考第66号	遺物発見	平成18年6月7日付鈴考第213号		
調査概要	平成17年度当遺跡の南東部において新たな宅地造成に伴い発掘調査（9次）を行った。今回の調査区は9次調査区の南区北西部に位置する。調査の結果、新たに竪穴住居1棟、掘立柱建物1棟(南北棟・5間×2間・南半分は11-2次調査で確認)、柵1条などを検出した。				
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、柵、土坑、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗			箱数	3箱
				重量	2.7kg
関連文献					

No.50	遺跡名	平田遺跡（11-2次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成19年4月14日～平成19年4月26日	調査面積	104.2㎡		
着手通知	平成18年4月21日付鈴考第66号	遺物発見	平成18年6月7日付鈴考第214号		
調査概要	平成17年度当遺跡の南東部において新たな宅地造成に伴い発掘調査（9次）を行った。今回の調査区は9次調査区の南区北西部に位置する。調査の結果、11-1次調査で検出した掘立柱建物の南東隅を検出し、5間×2間の南北棟であることを確認。調査区南西部では布掘の掘立柱建物1棟を検出。また、9次調査で検出したL字状に曲がる溝SD0903（中世）の延長とこの溝に並行する溝SD1106を検出した。				
主な遺構	掘立柱建物、溝、井戸、土坑、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼			箱数	3箱
				重量	7.5kg
関連文献					

No.51	遺跡名	平田遺跡（12-1次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市平田本町一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年3月31日～平成18年4月28日	調査面積	83.1㎡		
着手通知	平成18年4月21日付鈴考第66号	遺物発見	平成18年6月7日付鈴考第215号		
調査概要	1次調査で検出した掘立柱建物SB0109の延長を確認。9間×3間の長大な東西棟。掘立柱建物SB0109の南に位置する四面廂付掘立柱建物SB0101と方位をそろえ、東西規模がほぼ同じとなる。道路側溝と考えられる溝SD0194の延長も確認された。				
主な遺構	掘立柱建物、溝、土坑、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、軒平瓦、平瓦、丸瓦、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、刀子			箱数	6箱
				重量	13.4kg
関連文献					

No.52	遺跡名	平田遺跡（12-2次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市平田本町一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年4月14日～平成18年4月26日	調査面積	68.6㎡		
着手通知	平成18年5月9日付鈴考第117号	遺物発見	平成18年6月7日付鈴考第216号		
調査概要	1次調査で検出した溝SD0119・SD0120の延長を検出。調査区の南部で方形周溝墓の北隅を確認。調査区北西部で道路側溝の一部を検出。				
主な遺構	方形周溝墓、溝、土坑、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、平瓦、丸瓦、灰釉陶器、青磁、山茶碗、天目茶碗、近世陶器			箱数	2箱
				重量	5.5kg
関連文献					

No.53	遺跡名	平田遺跡（13次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年5月12日～平成18年5月31日	調査面積	101.5㎡		
着手通知	平成18年5月23日付鈴考第169号	遺物発見	平成18年6月7日付鈴考第217号		
調査概要	平成17年度当遺跡の南東部において新たな宅地造成に伴い発掘調査（9次）行った。今回の調査区は9次調査区の南区南西部、11-2次調査の南に位置する。11-2次調査で検出した溝SD1106の延長を検出。井戸の周りを溝がめぐる。				
主な遺構	井戸、溝、土坑、小柱穴				
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、青磁、山茶碗、山皿、古瀬戸、近世陶器			箱数	4箱
				重量	8.9kg
関連文献					

No.54	遺跡名	平田遺跡（14次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市平田本町一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年7月3日～平成18年7月14日	調査面積	66.8㎡		
着手通知	平成18年7月10日付鈴考第346号	遺物発見	平成19年2月22日付鈴考第1061号		
調査概要	土塁に続く溝の延長を検出。さらに東へ続くものと思われる。				
主な遺構	竪穴住居、井戸、溝、土坑、小柱穴				
主な遺物	土師器、須恵器、中世陶器、山茶碗、常滑焼、羽釜、古瀬戸			箱数	1箱
				重量	2.8kg
関連文献					

No.55	遺跡名	平田遺跡（15-1次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年7月3日～平成18年7月14日	調査面積	106.1㎡		
着手通知	平成18年10月6日付鈴考第630号	遺物発見	平成19年3月2日付鈴考第1086号		
調査概要	平成17年度当遺跡の南東部において新たな宅地造成に伴い発掘調査（9次）を行った。今回の調査区は9次調査区北区の中央に位置する。調査の結果、掘立柱建物2棟、土器焼成坑などを検出。掘立柱建物SB0965は9次調査の延長にあたり、建物規模は桁行5間、梁行4間となる。掘立柱建物SB1505は桁行5間、梁行2間の東西棟で隣接地の調査結果から3棟の掘立柱建物がL字状に並ぶことが判明。				
主な遺構	掘立柱建物、土器焼成坑、土坑、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、青磁、石器（剥片）			箱数	3箱
				重量	2.7kg
関連文献					

No.56	遺跡名	平田遺跡（15-2次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅建設	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年10月9日～平成18年10月22日	調査面積	94.2㎡		
着手通知	平成18年10月19日付鈴考第664号	遺物発見	平成19年3月2日付鈴考第1087号		
調査概要	平成17年度当遺跡の南東部において新たな宅地造成に伴い発掘調査（9次）を行った。今回の調査区は9次調査区北区の中央に位置する。調査の結果、掘立柱建物2棟、総柱建物1棟を検出。9次調査の結果を含め、3棟の掘立柱建物がL字状に配置される。				
主な遺構	古墳周溝、竪穴住居、掘立柱建物、土坑、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、黒色土器、山茶碗、伊勢型鍋、石器（剥片）			箱数	6箱
				重量	7.5kg
関連文献					

No.57	遺跡名	平田遺跡（16次）	ひらたいせき	台帳番号	207－386
所在地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅建設	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担当者	吉田真由美		
調査期間	平成18年11月7日～平成18年11月18日	調査面積	69.4㎡		
着手通知	平成18年11月15日付鈴考第759号	遺物発見			
調査概要	9・15-2次調査で検出した古墳の周溝の埋土から埴輪は確認されていなかったが、調査区南西隅で検出した土坑から埴輪の破片が出土した。				
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、土坑、溝、小柱穴				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、埴輪、土師器、須恵器、土馬、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、近世瓦、近世陶器、鉄製品			箱数	5箱
				重量	9.0kg
関連文献					

No.58	遺 跡 名	平田遺跡（17次）	ひらたいせき	台 帳 番 号	207－386
所 在 地	鈴鹿市弓削一丁目	事業主体	個人		
調査原因	個人住宅建設	費用負担	鈴鹿市※		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担 当 者	吉田真由美		
調査期間	平成19年1月26日～平成19年2月8日	調査面積	81.9㎡		
着手通知	平成19年2月1日付鈴考第986号	遺物発見			
調査概要	平成17年度当遺跡の南東部において新たな宅地造成に伴い発掘調査（9次）を行った。今回の調査区は9次調査区北区の北部に位置する。調査の結果、方形周溝墓、土坑、井戸、掘立柱建物、溝などを検出。今回、古代の井戸を初めて確認。方形の掘り方に方形の枠組みの痕跡を検出。				
主な遺構	方形周溝墓、土坑、柵、井戸、掘立柱建物、溝				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗、古瀬戸、刀子			箱 数	5箱
				重 量	18.4kg
関連文献					

No.59	遺跡名	保子里8号墳	ほこりはちごうふん	台 帳 番 号	207－187
所 在 地	鈴鹿市国府町字井口	事業主体	医療法人　斎寿会　回生病院		
調査原因	病院進入道路改良工事	費用負担	医療法人　斎寿会　回生病院		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担 当 者	田部剛士		
調査期間	平成18年11月2日～平成18年12月28日	調査面積	85.0㎡		
着手通知	平成18年10月23日付鈴考第686号	遺物発見	平成19年1月5日付鈴考第924号		
調査概要	調査の結果、主体部は盗掘によって残っていないことが確認された。また、従来円墳とされてきたが検出された周溝の形状から方墳の可能性が高まった。出土遺物から６世紀前半頃の築造と考えられる。				
主な遺構	盗掘坑・周溝・土坑・ピット				
主な遺物	須恵器・土師器・刀子			箱 数	1箱
				重 量	0.7kg
関連文献	『鈴鹿市考古博物館年報』第1号、第2号　2000、2001　鈴鹿市考古博物館 『保子里遺跡・古墳群』　2003　鈴鹿市考古博物館				

No.60	遺 跡 名	保子里遺跡　5次	ほこりいせき	台 帳 番 号	207－1067
所 在 地	鈴鹿市国府町字井口	事業主体	医療法人　斎寿会　回生病院		
調査原因	院内保育所施設建設工事	費用負担	医療法人　斎寿会　回生病院		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担 当 者	田部剛士		
調査期間	平成18年11月2日～平成18年12月28日	調査面積	100.0㎡		
着手通知	平成18年12月28日付鈴考第900号	遺物発見	平成19年1月5日付鈴考第925号		
調査概要	調査の結果、未知の古墳の周溝を確認し、保子里19号墳と命名した。また、飛鳥時代の土坑墓2基を確認し、当地が墓域として利用されていることが判明した。				
主な遺構	古墳の周溝、土坑墓、土坑、ピット				
主な遺物	須恵器・土師器			箱 数	1箱
				重 量	0.8kg
関連文献	『鈴鹿市考古博物館年報』第1号、第2号　2000、2001　鈴鹿市考古博物館 『保子里遺跡・古墳群』　2003　鈴鹿市考古博物館				

No.61	遺 跡 名	境谷遺跡	さかいだにいせき	台 帳 番 号	207－542
所 在 地	鈴鹿市国分町字境谷	事業主体	鈴鹿市		
調査原因	廃棄物最終処分場	費用負担	鈴鹿市		
調査機関	鈴鹿市考古博物館	担 当 者	浅野隆司・服部英世・加藤拓也・吉田朋史		
調査期間	平成18年8月7日～平成18年12月22日	調査面積	8,080.0㎡		
着手通知	平成19年12月12日付鈴考第885号	遺物発見	平成19年2月2日付鈴考第999号		
調査概要	弥生時代中期の竪穴住居34棟、古墳時代後期の竪穴住居18棟、土坑10基、飛鳥･奈良時代の竪穴住居18棟、土坑20基、掘立柱建物30棟以上が検出されている。				
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物跡、溝、土坑				
主な遺物	弥生土器、石器（石鏃・石斧・石庖丁）、須恵器、土師器、砥石、刀子			箱 数	109箱
				重 量	
関連文献					

№62	遺跡名	西川遺跡（２次）	にしかわいせき	台帳番号	207－675
所在地	鈴鹿市郡山字野口		事業主体	不動産会社	
調査原因	宅地造成		費用負担	原因者負担	
調査機関	鈴鹿市考古博物館		担当者	林 和範	
調査期間	平成18年6月5日～平成18年8月31日		調査面積	2,000.0㎡	
着手通知	平成18年6月14日付鈴考226号		遺物発見	平成18年12月20日付鈴考880号	
調査概要	中ノ川右岸の河成段丘上の奥まった地点に立地し、周辺には古墳～平安時代の遺跡が数多く分布する。調査では飛鳥時代末～奈良時代初頭の竪穴住居、奈良～平安時代の掘立柱建物、平安時代末～鎌倉時代の土坑群、江戸時代後期の達磨窯を確認した。出土遺物には土師器・須恵器・円面硯・山茶碗・瓦などがある。				
主な遺構	竪穴住居・掘立柱建物・溝・土坑・達磨窯				
主な遺物	土師器・須恵器・円面硯・山茶碗・瓦・陶器・磁器			箱数	93箱
				重量	619.6kg
関連文献	『郡山遺跡群発掘調査報告Ⅰ』鈴鹿市教育委員会1983・『鈴鹿市遺跡地図』鈴鹿市教育委員会1987				

№63	遺跡名	富士遺跡（2次）	ふじいせき	台帳番号	207－952
所在地	鈴鹿市国府町字富士		事業主体	個人	
調査原因	共同住宅建設事業		費用負担	原因者	
調査機関	鈴鹿市考古博物館		担当者	伊藤 淳・田部剛士	
調査期間	平成18年6月3日～平成18年6月21日		調査面積	148.0㎡	
着手通知	平成18年6月8日付鈴考第219号		遺物発見	平成18年6月27日付鈴考第312号	
調査概要	当遺跡は、鈴鹿川右岸の河岸段丘上に位置する。飛鳥～奈良時代の土坑墓や竪穴住居、炉跡の他、中世の溝等が確認された。炉跡から鋳型が出土していることなどから、通常の集落とは異なり、官衙的な性格を持つものと考えられる。				
主な遺構	竪穴住居3棟、溝7条、土坑墓１基、炉1基、土坑6基、ピット				
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、山皿、鋳型など			箱数	6箱
				重量	12.3kg
関連文献	「富士遺跡発掘調査報告」『鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅳ』 1997				

№64	遺跡名	長者屋敷遺跡（21次）	ちょうじゃやしきいせき	台帳番号	207－363
所在地	鈴鹿市広瀬町字西野		事業主体	鈴鹿市考古博物館	
調査原因	伊勢国府ほか発掘調査		費用負担	鈴鹿市※	
調査機関	鈴鹿市考古博物館		担当者	伊藤 淳・田部剛士	
調査期間	平成18年7月19日～平成18年11月23日		調査面積	500.0㎡	
着手通知	平成18年8月7日付鈴考第445号		遺物発見	平成18年9月8日付鈴考第547号	
調査概要	従来推定されてきた場所に東西の区画溝が確認された。また、南北溝も2条検出されたが、その幅は心々間で24mあり、南北大路が存在することが確認された。この南北大路は、政庁から真北に延びることから、伊勢国府の中央軸となる可能性が考えられる。				
主な遺構	区画溝・土坑・ピット				
主な遺物	瓦が大部分を占めている。その他には、僅かに土師器が出土した。			箱数	3箱
				重量	18.9kg
関連文献	「伊勢国府跡1 ～ 8」鈴鹿市考古博物館　1999 ～ 2006				

№65	遺跡名	南山遺跡（4次）	みなみやまいせき	台帳番号	207－737
所在地	鈴鹿市河田町		事業主体	鈴鹿市	
調査原因	福祉施設駐車場整備		費用負担	原因者	
調査機関	鈴鹿市考古博物館		担当者	藤原秀樹・吉田真由美	
調査期間	平成18年9月19日～平成18年10月4日		調査面積	90.0㎡	
着手通知	平成18年9月22日付鈴考第595号		遺物発見	平成18年10月17日付鈴考第662号	
調査概要	当遺跡は、鈴鹿川左岸の段丘上に位置する。弥生時代後期の環濠が検出された。				
主な遺構	環濠1条、ピット				
主な遺物	弥生土器、須恵器			箱数	1箱
				重量	4.3kg
関連文献	「南山遺跡発掘調査報告」『鈴鹿市埋蔵文化財調査年報Ⅲ』 1996、『南山遺跡・南山６号墳』1991				

No.66	遺跡名	国分北遺跡　5次	こくぶきたいせき	台帳番号	207－536
所在地	鈴鹿市国分町字裏山		事業主体	個人	
調査原因	自動車修理工場建設		費用負担	個人	
調査機関	鈴鹿市考古博物館		担当者	田部 剛士	
調査期間	平成19年1月12日～平成19年1月18日		調査面積	70.0㎡	
着手通知	平成19年1月16日付鈴考第951号		遺物発見	平成19年1月23日付鈴考第973号	
調査概要	方位を意識して建てられた、掘立柱建物跡5棟を検出した。調査範囲が狭いため詳細は不明であるが、その内の１つから灰釉陶器椀が出土しているため、平安時代の建物跡と考えられる。				
主な遺構	掘立柱建物跡、溝、土坑				
主な遺物	土師器、須恵器、黒色土器、灰釉陶器、瓦			箱数	1箱
				重量	3.6kg
関連文献	『国分北遺跡発掘調査報告』　2000.12　三重県埋蔵文化財センター・ 『国分北遺跡（第3次）発掘調査報告』　2005.3　三重県埋蔵文化財センター				

No.67	遺跡名	大鼻遺跡	おおはないせき	台帳番号	210－a120
所在地	亀山市布気町		事業主体	㈱ハウスプロダクトタケモリ	
調査原因	アパート建設		費用負担	原因者	
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	山際文則	
調査期間	平成18年4月17日～平成18年4月28日		調査面積	265.0㎡	
着手通知	平成18年4月21日付亀教ま第2441号		遺物発見		
調査概要	調査地は、鈴鹿川中流左岸の河岸段丘上に位置する。アパート建設に伴う試掘調査で遺構・遺物が確認されたことから発掘調査を実施。調査では、柱穴と井戸が１基検出された。遺物は井戸からの出土がほとんどで、中世土師器、陶磁器等である。				
主な遺構	柱穴、井戸				
主な遺物	中世土師器、陶磁器			箱数	1箱
				重量	10.0kg
関連文献	『大鼻遺跡』三重県埋蔵文化財センター 1994				

No.68	遺跡名	鈴鹿関跡	すずかのせきあと	台帳番号	210－b46
所在地	亀山市関町新所		事業主体	亀山市教育委員会	
調査原因	学術調査		費用負担	※	
調査機関	亀山市教育委員会･三重大学人文学部山中章研究室		担当者	森川 幸雄・藤岡 直子、山中 章	
調査期間	平成18年8月21日～平成18年10月10日		調査面積	130.0㎡	
着手通知	平成18年8月21日付亀教ま第2373号		遺物発見	平成18年4月3日付亀教ま第2372号	
調査概要	遺跡詳細分布調査により、観音山の裾部に谷を巡る形で土塁状の高まりが確認された。今回は崩落の著しい部分を対象に学術調査を実施した。調査の結果、土塁状の高まりは、築地の痕跡であることが明らかになった。また、築地築造のために谷地形を造成していることや築地基底土塁の構築の状況などが確認された。重圏文軒丸瓦の出土から、築地の築造は奈良時代中頃で、聖武天皇の関東巡幸と関連性が高いと考えられる。				
主な遺構	築地、築地基底土塁				
主な遺物	重圏文軒丸瓦1点、平瓦、丸瓦、須恵器、土師器、フイゴの羽口			箱数	59箱
				重量	393.0kg
関連文献	亀山市文化財調査速報vol.26・29				

No.69	遺跡名	高飛館跡	たかとびやかたあと	台帳番号	210－a140
所在地	亀山市野村二丁目		事業主体	亀山市	
調査原因	市営斎場建設		費用負担	亀山市	
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	山際文則	
調査期間	平成18年9月28日～平成18年11月30日		調査面積	4,815.0㎡	
着手通知	平成18年9月27日付亀教ま第2302号		遺物発見		
調査概要	幅２m、高さ１mの土塁がL字状に廻る。内部は建物跡はなく、出土遺物もほとんどない。天正11年秀吉の亀山城攻めの際の秀吉側の陣城か。				
主な遺構	土塁				
主な遺物	山茶碗、土師器羽釜			箱数	1箱
				重量	2.0kg
関連文献					

№70	遺跡名	亀山城跡	かめやまじょうせき	台帳番号	210－a200
所在地	亀山市本丸町		事業主体	亀山市	
調査原因	公園整備		費用負担	亀山市	
調査機関	亀山市教育委員会		担当者	藤岡直子	
調査期間	平成18年12月11日～平成19年3月15日		調査面積	742.5㎡	
着手通知	平成18年12月8日付亀教ま第2585号		遺物発見		
調査概要	亀山城土居崩落部の復旧に伴い発掘調査を実施。				
主な遺構	亀山城土居				
主な遺物	近世の瓦			箱数	26箱
				重量	70.0kg
関連文献	『亀山城本丸跡』1992、『亀山城跡』1996、『伊勢亀山城跡発掘調査報告Ⅲ』1999				

№71	遺跡名	川方城跡	かわかたじょうせき	台帳番号	201－b163
所在地	津市川方町		事業主体	個人	
調査原因	集合住宅建設		費用負担	事業者	
調査機関	津市教育委員会		担当者	村木一弥・熊﨑司	
調査期間	平成18年8月7日～平成18年8月26日		調査面積	200.0㎡	
着手通知	平成18年8月7日付津市教文第293号		遺物発見	平成18年9月7日付津市教文第348号	
調査概要	雲出川左岸の標高約20mの台地端部に位置する中世城館。 川方城跡は東西に二つの郭が並んでおり、今回は東側の郭と北側の土塁の一部を調査した。遺構の時期については検討中であるが、近世期に郭内がかなり改変されていることが判明した。				
主な遺構	土塁・溝・土坑・ピット				
主な遺物	陶器（山茶椀、天目茶椀、擂鉢）、土師器（鍋、羽釜、皿）、須恵器、土師器甕（古代）			箱数	4箱
				重量	
関連文献					

№72	遺跡名	今徳城跡	こんどくじょうあと	台帳番号	201－f601
所在地	津市安濃町今徳		事業主体	個人	
調査原因	集合住宅建設		費用負担	事業者	
調査機関	津市教育委員会		担当者	田中秀和・藤田充子	
調査期間	平成18年8月25日～平成18年9月30日		調査面積	280.0㎡	
着手通知	平成18年8月30日付津市教文第329号		遺物発見	平成18年10月6日付津市教文第410号	
調査概要	安濃川の支流である穴倉川右岸に位置する中世城館。 表土下15cm ～ 20cmに遺構面が所在し、弥生時代中期～江戸時代にかけての遺構を検出。				
主な遺構	弥生時代中期-方形周溝墓、古墳時代後期-柱穴、今徳城存続期-溝、土坑、柱穴、江戸時代の溝等				
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、山茶椀、陶磁器、鉄製品、石器			箱数	22箱
				重量	
関連文献	『安濃町史　資料編』安濃町　1994				

№73	遺跡名	多気北畠氏遺跡（第29次） 〔上多気六田地区〕	たげきたばたけしいせき （かみたげろくたちく）	台帳番号	201－j026－19
所在地	津市美杉町上多気		事業主体	津市教育委員会	
調査原因	学術調査		費用負担	津市※	
調査機関	津市教育委員会		担当者	石淵　誠人	
調査期間	平成18年11月28日～平成19年1月16日		調査面積	419.0㎡	
着手通知	平成18年12月1日付津市教文第741号		遺物発見	平成19年3月9日付津市教文第772号	
調査概要	当遺跡は、八手俣川上流域に盆地状に広がる多気地域のほぼ中央、史跡多気北畠氏城館跡の対岸に位置する。北畠氏館跡を基準とした地割の東西幹線と南北幹線の交差点の南西に調査区を設定したところ、遺構密度はきわめて低く、幹線地割の方位(N14° E)にやや近い掘立柱建物を１棟、方位がN33° Eの溝SD50を検出した。				
主な遺構	掘立柱建物１棟 土坑３基 溝				
主な遺物	土師器、山茶碗、瓦器、瀬戸美濃産陶器、近世陶器			箱数	21箱
				重量	1.7kg
関連文献	「美杉村遺跡分布地図」美杉村教育委員会1996 「北畠氏館跡8・六田館跡２－多気北畠氏遺跡第23・25次調査－」美杉村教育委員会2005 「多気北畠氏遺跡発掘調査報告－六田館跡3・上多気六田地区１－」津市教育委員会2006				

No.74	遺跡名	中鳶遺跡（第３次）	なかとびいせき	台帳番号	201－a477
所在地	津市大里窪田町		事業主体	津市	
調査原因	大里小学校校舎改築		費用負担	津市	
調査機関	津市教育委員会		担当者	村木一弥	
調査期間	平成18年11月28日～平成19年1月20日		調査面積	600.0㎡	
着手通知	平成18年12月6日付津市教文第723号		遺物発見	平成18年3月22日付津市教文第800号	
調査概要	志登茂川中流右岸の河岸段丘上に位置する遺跡。調査区は、過去の校舎建て替えや植栽のため部分的に削平されていたものの、多数のピットを検出。そのうちで２間×３間以上の掘立柱建物１棟が確認できた。また、調査区は東北隅にむけて大きく落ち込み谷状の地形を呈する。				
主な遺構	ピット、掘立柱建物１棟				
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、韓式系土器			箱数	8箱
				重量	
関連文献	『中鳶遺跡発掘調査報告』津市教育委員会　1977 『中鳶遺跡(第２次)発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター　2002				

No.75	遺跡名	小野口遺跡（第２次）	おのくちいせき	台帳番号	201－f742
所在地	津市安濃町草生		事業主体	天應教本部	
調査原因	天應教本部建設事業		費用負担	事業者	
調査機関	津市教育委員会		担当者	田中秀和	
調査期間	平成19年2月3日～平成19年3月14日		調査面積	580.0㎡	
着手通知	平成19年2月14日付津市教文第714号		遺物発見	平成19年3月20日付津市教文第795号	
調査概要	本遺跡は、安濃川中流右岸の経ヶ峰から派生する標高80mの丘陵上に位置する。平成15年度にも宗教施設建設に伴い進入道路及び本殿部分1、244㎡の発掘調査を実施している。第２次調査にあたる本調査では、第１次調査同様、縄文時代早期の土坑が51基検出された。この中には落とし穴、貯蔵穴と推察されるものも含まれる。				
主な遺構	土坑				
主な遺物	石器剥片、縄文土器			箱数	2箱
				重量	
関連文献	『小野口遺跡第1次発掘調査報告書-宗教法人天応教本部建設事業に伴う発掘調査報告書-』安濃町教育委員会　2005.3				

No.76	遺跡名	亀井遺跡（第２次）	かめいいせき	台帳番号	201－a478
所在地	津市河辺町大字大垣内		事業主体	津市	
調査原因	市道広明町・河辺町線改良工事		費用負担	津市	
調査機関	津市教育委員会		担当者	藤田充子・熊﨑司	
調査期間	平成19年1月23日～平成19年3月22日		調査面積	1,216.9㎡	
着手通知	平成19年1月23日付津市教文第677号		遺物発見	平成19年3月28日付津市教文第814号	
調査概要	本遺跡は安濃川支流の美濃屋川右岸の微高地位置する。１区（926.4㎡）では、 調査区を南北方向に横断する自然流水路（もとは美濃屋川の氾濫原か）、東西方向の中世の溝（15世紀中頃～ 16世紀前半） １条、土坑１基（時期不明）を検出。２区(290.5㎡)は、後世の耕作の影響を受けていたものの、L字状に屈曲する弥生時代中期後半の溝１条、土坑18基(時期不明含む)、ピット３基、東西方向の中世の溝２条（13世紀前半）を検出。				
主な遺構	弥生時代－溝、土坑、ピット 中世－溝、土坑				
主な遺物	弥生－弥生土器（壺・甕・高杯・鉢）、石製品（石斧、石包丁、砥石、磨石） 中世－土師器（鍋・羽釜・皿）、陶器（山茶椀、甕）、青磁			箱数	190箱
				重量	
関連文献	『津市河辺町・亀井遺跡』三重県教育委員会　1973				

No.77	遺跡名	茶屋前遺跡	ちゃやまえいせき	台帳番号	204－a2A13
所在地	松阪市八重田町		事業主体	民間社会福祉法人	
調査原因	社会福祉施設建設		費用負担	民間社会福祉法人	
調査機関	松阪市教育委員会		担当者	和氣清章	
調査期間	平成18年5月16日～平成18年5月30日		調査面積	193.0㎡	
着手通知	平成18年5月18日付松教文第248号		遺物発見		
調査概要	小規模な調査であるために茶屋前遺跡全体を推察することが出来ないが、縄文時代の土器棺は晩期の五貫森段階の遺物であり晩期段階でもやや古い時期の遺物である。周辺の低地部に縄文時代晩期に集落が広く造営されたことが推察出来る。また、この小規模範囲において古墳時代後期～飛鳥時代にかけての竪穴住居が4棟確認された事などからすると、周辺に広く集落が形成されたものであると考えられる。				
主な遺構	竪穴住居4棟、土坑4、溝5条				
主な遺物	縄文土器、土師器甕、須恵器			箱数	10箱
				重量	96.0kg
関連文献					

No.78	遺跡名	権現角遺跡	ごんげんつのいせき	台帳番号	204－c32
所在地	松阪市市場庄町字古市場	事業主体	民間不動産会社		
調査原因	建売分譲住宅、駐車場建設	費用負担	民間不動産会社		
調査機関	松阪市教育委員会	担当者	福田哲也・村田匡・寺嶋昭洋		
調査期間	平成18年7月3日～平成18年8月10日	調査面積	2,772.0㎡		
着手通知	平成18年7月25日付06松教文第640号	遺物発見			
調査概要	当遺跡は、三渡川下流の南岸約1km、沖積地に形成された自然堤防上に位置し、遺跡の基盤は粗砂である。16世紀前半の溝を2条検出し、両溝とも東方向へL字状に屈曲することから、区画溝と推測される。地形は、調査区中央付近の標高が最も高く、南北へ向かい徐々に低くなり、調査区の南端では流路の肩を発見できた。流路の落ち込む位置は現地表面とも一致し、現在でも雨天時には川となる。この落ち込みを形成する黒色砂の基盤には古墳時代の土器が包含する。				
主な遺構	区画溝、土坑、溝、ピット				
主な遺物	古式土師器高杯、古式土師器甕、土師器皿、陶器、近世陶器			箱数	12箱
				重量	108.0kg
関連文献					

No.79	遺跡名	方婦多山古墳	かたぶたやまこふん	台帳番号	204－a新規発見
所在地	松阪市山下町字方婦多山	事業主体	松阪市建設部土木課		
調査原因	山下町総合運動公園造成	費用負担	松阪市建設部土木課※		
調査機関	松阪市文化財センター	担当者	松葉和也		
調査期間	平成18年6月28日～平成18年8月23日	調査面積	306.0㎡		
着手通知	平成18年7月25日付06松教文第639号	遺物発見			
調査概要	本古墳は、松阪市東部の山添町と安楽町付近から山下町に広がる標高30mから40mほどの丘陵地帯から、北側の標高20m台の平野に向かって舌状に伸びる尾根筋に位置する。墳頂部は標高36.1mである。出土した複数個体の円筒埴輪は、２条突帯３段の全体形と器面の２次調整から５世紀後半から末のものと考えられ、古墳の築造時期を示す。				
主な遺構	墳丘、周溝、土坑				
主な遺物	円筒埴輪6、朝顔形埴輪2、人物埴輪（巫女）3、馬形埴輪3、家形埴輪1、蓋形埴輪1			箱数	9箱
				重量	81.0kg
関連文献	「方婦多山古墳埋蔵文化財発掘調査報告書」松阪市教育委員会2007				

No.80	遺跡名	鴻ノ木遺跡（第７次）	こうのきいせき	台帳番号	204－a12A41
所在地	松阪市射和町字鴻ノ木	事業主体	個人		
調査原因	長屋住宅建築工事	費用負担	個人		
調査機関	松阪市文化財センター	担当者	松葉和也		
調査期間	平成19年2月6日～平成19年2月8日	調査面積	120.0㎡		
着手通知	平成19年2月6日付06松教文第1073号	遺物発見			
調査概要	今回の開発対象地は、国道42号松阪多気バイパス建設に伴って平成３年に実施された第２次調査区に隣接する。第２次調査時の溝（SD2093）の延長部分に相当する溝を検出し、平安から中世の土師器や山茶椀などが出土した。上層では近世陶磁が出土している。				
主な遺構	溝、石列				
主な遺物	石錘、土師器皿・甕、黒色土器、山茶椀、土錘、近世陶磁器			箱数	2箱
				重量	3.0kg
関連文献	『一般国道42号松阪・多気バイパス建設地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ　鴻ノ木遺跡（上層編）』三重県埋蔵文化財センター 1998				

No.81	遺跡名	古堀遺跡	ふるぼりいせき	台帳番号	442－746
所在地	明和町大字上野字古堀	事業主体	開発業者		
調査原因	宅地造成	費用負担	開発業者		
調査機関	明和町斎宮跡課	担当者	中野 敦夫		
調査期間	平成18年7月10日～平成18年9月28日	調査面積	1,155.0㎡		
着手通知	平成18年7月13日付明斎第95号	遺物発見			
調査概要	当該地は、周知の埋蔵文化財　北野遺跡と安養寺跡に挟まれた山林で、標高約12mを計る。試掘調査の結果、事業地6,000㎡が遺跡であることが確認され、今回道路及び側溝部分を調査した。遺構・遺物から奈良時代後期から平安時代初期の土師器の製作遺跡であることが確認された。				
主な遺構	土師器焼成坑30基、竪穴住居2戸、掘立柱建物2棟、井戸1基、粘土溜、土坑、溝等が検出された。出土遺物は奈良・平安時代のものである。				
主な遺物	土師器（甕、壺、杯、椀、蓋、甑、カマド、高杯、鉢、鍋）須恵器（長頸壺、杯蓋）、土馬、刀子、砥石			箱数	
				重量	
関連文献					

№82	遺跡名	金剛坂遺跡	こんごうさかいせき	台帳番号	442－36
所在地	明和町大字金剛坂字辰ノ口		事業主体	個人	
調査原因	飲食店新築		費用負担	明和町	
調査機関	斎宮跡課		担当者	中野敦夫	
調査期間	平成18年7月12日～平成18年7月14日		調査面積	24.0㎡	
着手通知	平成18年7月13日付明斎第96号		遺物発見	平成18年7月14日付明斎第98号	
調査概要	金剛坂遺跡内に建設される店舗の浄化槽の調査を実施した。				
主な遺構	柱穴、土坑				
主な遺物	土師器杯			箱数	1箱
				重量	
関連文献					

№83	遺跡名	金剛坂遺跡	こんごうさかいせき	台帳番号	442－36
所在地	明和町大字金剛坂字辰ノ口		事業主体	個人	
調査原因	店舗兼住宅の建築		費用負担	明和町	
調査機関	斎宮跡課		担当者	中野敦夫	
調査期間	平成18年9月1日～平成18年9月29日		調査面積	45.5㎡	
着手通知	平成18年9月4日付明斎第133号		遺物発見		
調査概要	金剛坂遺跡内に建設される店舗兼個人住宅の進入路と浄化槽の調査を実施した。				
主な遺構	溝、土坑、柱穴				
主な遺物	弥生土器（甕、壺）			箱数	1箱
				重量	
関連文献					

№84	遺跡名	仮）山田御師邸宅街遺跡	やまだおんしていたくがいいせき	台帳番号	203－新発見
所在地	伊勢市大世古1丁目（大豊和紙工場敷地内）		事業主体	伊勢市	
調査原因	市史編さん事業		費用負担	伊勢市	
調査機関	皇學館大学		担当者	史料編纂所教授　岡田登	
調査期間	平成19年3月6日～平成19年4月4日		調査面積	8.0㎡	
着手通知			遺物発見		
調査概要	当遺跡は、外宮近くを流れる豊川と清川に挟まれた自然堤防の北側に形成された後背低地である。 本調査により、寛文10年以降3度の火災による整地層が確認された。また、標高3.6m付近で幅約0.5mの石敷、土坑9基や標高3.9mと4.5m付近では礎石とみられるものも検出された。				
主な遺構	石敷、土坑、礎石（？）				
主な遺物	貨幣、土師器、陶器、瓦、木製品、碁石、石硯他			箱数	10箱
				重量	
関連文献					

№84	遺跡名	殿畑遺跡	とのはたいせき	台帳番号	215－d116
所在地	志摩市阿児町国府字上ノ東		事業主体	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海	
調査原因	阿児国府上ノ東無線局建設事業		費用負担	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海	
調査機関	志摩市教育委員会		担当者	奥野英樹	
調査期間	平成18年7月31日～平成18年8月2日		調査面積	71.0㎡	
着手通知	平成18年8月1日付教文ス第１－161号		遺物発見	平成18年8月3日付教文ス第１－162号	
調査概要	志摩市阿児町国府字殿畑周辺に広がる。前回（S54. 6）及び今回（H18. 8）の調査により溝、土坑、建物址の柱穴や遺物などによりおよそ平安時代末から中世に至るものと考える				
主な遺構	中世を中心とした溝跡、土坑跡、塀・柵跡等が検出された				
主な遺物	土師器（鍋・皿）・山茶碗・土錘			箱数	2箱
				重量	
関連文献	「殿畑遺跡発掘調査報告」三重県教育委員会1980				

№85	遺 跡 名	琴平山古墳	ことひらやまこふん	台帳番号	208－182
所 在 地	名張市赤目町檀字横山		事業主体	名張市教育委員会	
調査原因	史跡等整備事業		費用負担	名張市教育委員会	
調査機関	名張市教育委員会		担 当 者	門田了三	
調査期間	平成18年10月26日～平成18年11月30日		調査面積	50.0㎡	
着手通知	平成18年11月6日付名教文第218号		遺物発見	平成18年12月7日付名教文第238号	
調査概要	全長70mを測る、名張郡内初現でかつ最大の前方後円墳。３基の石室が造られ、後円部の石室は、初期の畿内型石室。後円部は三段築成で、それぞれに葺石と埴輪列がめぐる。くびれ部南面には、墓前祭祀の土器集積があり、陶質土器も見つかっている。				
主な遺構	奥壁幅2.4m、玄室長4.5m、右片袖で羨道部は５mを測る。袖のない左壁（奥から入口を見て）は崩落している。基底部は、薄い板石を積み上げ、中段からは大振りの石をコーナーを中心に持ち送っている。				
主な遺物	羨道部から、竪矧鋲留衝角付甲と全長128cmの直刀、赤鞘の剣などが見つかっている。			箱 数	5箱
				重 量	
関連文献					

№86	遺 跡 名	長良遺跡	ながらいせき	台 帳 番 号	216－f949
所 在 地	伊賀市印代字長良		事業主体	伊賀市教育委員会教育総務課	
調査原因	（仮称）上野東地区中学校建設		費用負担	伊賀市教育委員会	
調査機関	伊賀市教育委員会		担 当 者	福島伸孝	
調査期間	平成18年5月24日～平成18年11月16日		調査面積	4,970.0㎡	
着手通知	平成18年5月25日付伊教生文第63号		遺物発見		
調査概要	長良遺跡は伊賀市北部、柘植川左岸の沖積地に立地する。調査の結果、縄文時代後期～晩期、弥生時代後期、古墳時代初め、古墳時代後半、中世の遺構・遺物を確認した。				
主な遺構	縄文時代後期～晩期：土坑・ピット　弥生時代後期：竪穴住居　古墳時代初め：方形周溝墓 古墳時代後期：溝・落ち込み　中世：掘立柱建物・井戸				
主な遺物	縄文土器片・弥生土器・土師器（壺・甕・高杯）・須恵器・土師器（皿）・瓦器（椀・小皿）・石器（石鏃・石錐・石斧・剥片・石核）			箱 数	55箱
				重 量	302.5kg
関連文献	『上野市遺跡地図』（上野市教育委員会　平成４年３月） 『長良遺跡現地説明会資料』（伊賀市教育委員会　平成18年９月）				

№87	遺 跡 名	上野城跡	うえのじょうあと	台 帳 番 号	216－a358
所 在 地	伊賀市上野丸之内		事業主体	伊賀市教育委員会	
調査原因	保存整備のための学術調査		費用負担	伊賀市※	
調査機関	伊賀市教育委員会		担 当 者	福田典明	
調査期間	平成18年10月12日～ 2007/2 末、調査継続中		調査面積	110.0㎡	
着手通知	平成18年6月6日付伊教生文第82号（現状変更申請）		遺物発見		
調査概要	上野城跡の保存整備事業に伴い、城代屋敷跡の発掘調査を継続して実施してきたが、本年は表門、台所門付近に範囲を限って調査を実施した。特に、台所門付近については、遺構の平面的な位置関係がほぼ定まりつつあるが、石垣の立面形については課題が残る。				
主な遺構	表門南側調査区で石組遺構、階段状遺構を検出。表門東側の石垣天端付近で、土塀の基底部と思われる石列検出。また、台所門西側石垣の調査では、北側で土段上にせりあがった状況で積まれた鉢巻石垣を検出。				
主な遺物	土師器皿・鍋、陶器浅碗・灯明受皿・擂鉢、蓋、軒丸瓦、鬼瓦片			箱 数	
				重 量	
関連文献	「国史跡上野城跡（14次）発掘調査概要」『伊賀市文化財年報３』2007.3				

5　組織・職員・施設

1　組織・分掌事務

所　　長

■総務課（課長1・主査1・主事2）

・公印の管理に関すること
・予算及び経理に関すること
・契約及び入札事務に関すること
・文書の収発に関すること
・防災管理に関すること
・職員の身分及び服務に関すること
・給与及び旅費等の支給に関すること
・施設、設備の保守管理に関すること
・職員の健康、福利厚生に関すること
・その他　他グループに属さないこと

■情報普及課（課長1・主査2・技師2）

・資料の管理・公開・活用に関すること
・図書の管理・公開・活用に関すること
・GIS並びに遺跡台帳に関すること
・情報・ホームページの公開に関すること
・収蔵庫等の管理に関すること
・各種企画展に関すること

■支援研究課（課長1・主査2・主事1・技師2）

・市町への支援・協力に関すること
・発掘調査委託の設計・施工管理に関すること
・印刷物の設計に関すること
・埋蔵文化財発掘技術市町職員・教職員研修に関すること
・整理作業に関すること
・資料の保存処理に関すること
・埋蔵文化財センター年報の刊行に関すること
・発掘調査報告書作成に関すること
・公立埋蔵文化財センター連絡協議会に関すること

■調査研究Ⅰ課（課長1・主幹1・主査2・主事1・技師4・臨時技術補助員2）

・県公共事業に伴う調整・協議に関すること
・県公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施・施工管理に関すること
・県公共事業に伴う発掘調査報告書の作成に関すること
・各種データの集約管理に関すること
・研究紀要の編集・刊行に関すること

■調査研究Ⅱ課（課長1・主査3・主事5・技師4・臨時技術補助員2）

・国・公団等の事業に伴う調整・協議に関すること
・各種データの収集に関すること

■松阪多気バイパス
・国道42号松阪多気バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関すること
・国道42号松阪多気バイパス建設事業に伴う発掘調査報告書の作成に関すること

■宮川用水
・宮川用水建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関すること
・宮川用水建設事業に伴う発掘調査報告書の作成に関すること

■近畿自動車道（亀山～亀山、亀山～滋賀県境、紀勢～勢和）
・近畿自動車道高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関すること
・近畿自動車道高速道路建設事業に伴う発掘調査報告書の作成に関すること

■中勢道路〔松阪市駐在〕
・国道23号中勢バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関すること
・国道23号中勢バイパス建設事業に伴う発掘調査報告書の作成に関すること

2　職員一覧

所　長　吉水　康夫			
総務課	課　長　田 岡 やす美（斎宮歴史博物館と兼務） 主　査　福 井　夏 美（斎宮歴史博物館と兼務） 主　事　金 森　功 主　事　松 本　桂（斎宮歴史博物館と兼務）		
情報普及課	課　長　田 阪　仁 技　師　西 村　美 幸	主　査　東　敬 義 技　師　新 名　強	主　査　中 川　明
支援研究課	課　長　河 北　秀 実 主　事　奥　義 次	主　査　竹 田　憲 治 技　師　大 川　操	主　査　池 本　浩 弥 技　師　角 正　淳 子
調査研究Ⅰ課	課　長　竹 内　英 昭 主　査　小 濵　学 技　師　伊 藤　文 彦 臨時技術補助員　酒 井 巳紀子	主　幹　木 本　勝 己 主　事　柴 山　圭 子 技　師　石 井　智 大 臨時技術補助員　小 林　俊 之	主　査　穂 積　裕 昌 技　師　萩 原　義 彦 技　師　野 嶌　美沙子
調査研究Ⅱ課	課　長　田 村　陽 一		
松阪多気バイパス担当	主　査　木野本 和 之（近畿自動車道と兼務）		主　事　西 口　剛 司
宮川用水担当	主　事　小 山　憲 一		
近畿自動車道担当	主　査　木野本 和 之（松阪多気バイパスと兼務）		主　事　前 野　謙 一
中勢道路担当（松阪市駐在）	主　査　上 村　安 生 主　事　石 井　康 晴 技　師　角 正　芳 浩 臨時技術補助員　才 木　薫	主　査　大 塚　匡 基 技　師　原 田　恵理子 技　師　岡 田　実 臨時技術補助員　豊 田　祥 三	主　事　淺 尾　太 技　師　水 谷　豊

3　施設概要

三重県埋蔵文化財センター

〒 515-0325　三重県多気郡明和町竹川 503
TEL：0596-52-1732　FAX：0596-52-7035
面積：敷地 18,000㎡　建築 4,573㎡　延床 5,077㎡
構造：鉄筋コンクリート造 1 階（一部 2 階）建
※建物は斎宮歴史博物館と共用

嬉野分室

三重県松阪市嬉野川北町 501
TEL：0598-42-5886
面積：敷地 9,219㎡
（内 4,800㎡）
建築 926.25㎡
延床 926.25㎡
構造：鉄骨平屋建

中勢道路整理所

三重県松阪市嬉野川北町 471

※嬉野分室敷地内
ＴＥＬ：0598-42-7960
ＦＡＸ：0598-42-7961

遺物収蔵庫

桜 橋 収 蔵 庫：三重県津市桜橋２丁目126　TEL：059-227-2465（平成19年3月末に閉鎖）
高茶屋収蔵庫：三重県津市高茶屋７丁目３番46　TEL：059-235-4343

4　各種研修・資料調査

（1）全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会

同協議会が主催する各種会議・研修会に職員を派遣し、多機関との交流や技術研修を行っている。平成15年度から会長機関を務めており、平成18年度の参加・出席実績は下記の通りである。

名　　称	内　　容	期　　日	場　　所	出 席 者
平成18年度 全国公立埋蔵文化財センター 連絡協議会総会・第１回役員会	平成17年度事業報告・ 収支決算 討論：「今考える 埋文センターが求められる役割」 ほか	H18. 5 .25(木) ～ H18. 5 .26(金)	滋賀県近江八幡市 ウェルサンピア滋賀 ほか	吉水 康夫 河北 秀実 木野本和之 上村 安生 金森　功
平成18年度 全国公立埋蔵文化財センター 連絡協議会東海･北陸ブロック会議	県と市町村の役割分担についてなど	H18.10.26(木) H18.10.27(金)	三重県松阪市 松阪市橋西地区 市民センター 松阪市文化財センター はにわ館ほか	吉水 康夫 河北 秀実 上村 安生 木野本和之 小濵　学
全国公立埋蔵文化財センター 連絡協議会並びに 全国埋蔵文化財法人連絡協議会 合同研修会	『保護VS公開 -活用の接点をさぐる-』	H18. 9 .21(木) H18. 9 .22(金)	北海道札幌市 ホテルライフォート 札幌ほか	吉水 康夫
平成18年度 全国公立埋蔵文化財センター 連絡協議会第２回役員会	平成19 ～ 20年度総会、 研修会等の計画　ほか	H18.11.16(木) H18.11.17(金)	千葉県市原市 サンプラザ市原ほか	吉水 康夫 河北 秀実 上村 安生 木野本和之
平成18年度埋蔵文化財調査研究事業の充実に関する陳情要望		H18. 9 . 6 (水)	東京都千代田区 文化庁	吉水 康夫 河北 秀実 木野本和之
「発掘された日本列島2006」開会式・内覧会		H18. 6 .19(月)	東京都墨田区 江戸東京博物館	吉水 康夫 水谷　豊
「発掘された日本列島2007」準備会		H18.12.4(月)	東京都墨田区 江戸東京博物館	吉水 康夫 河北 秀実
「発掘された日本列島2007」第2回実行委員会		H19. 3 .12(月)	東京都墨田区 江戸東京博物館	吉水 康夫
埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会 「今後の埋蔵文化財保護行政の展開と体制整備」第3回委員会		H18. 7 . 6 (木)	東京都千代田区 文部科学省	吉水 康夫
全国埋蔵文化財法人連絡協議会コンピューター等研究委員会		H18. 6 .29(木) H18. 6 .30(金)	大阪府大阪市 ホテルアウィーナ大阪 ほか	吉水 康夫 東　敬義

（2）研究会・研修会・講座など

埋蔵文化財のおかれている現状や課題についての見聞を広め、発掘調査・報告書作成に際しての参考とするため、各種講座や研修会・研究会などに職員を派遣している。平成18年度は10件・16名を派遣した。

名　　称	内 容	主　催　者	期　間	場　　所	出 席 者
第18回埋蔵文化財写真技術研究会	古墳内部遠隔撮影の実際 等	埋蔵文化財 写真技術研究会	H18. 7 .14（金） H18. 7 .15（土）	奈良県奈良市 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 平城京跡資料館講堂	前野 謙一
第１回埋蔵文化財担当職員等講習会	埋蔵文化財の保存と活用	文化庁	H18. 7 .20（木） ～ H18. 7 .22（土）	愛知県名古屋市 愛知県産業貿易館 西館ほか	大塚 匡基 西口 剛司 伊藤 文彦 野嶌美沙子
第11回遺跡GIS研究会	GISに関する最近の動向 など	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所	H18.10.27(金)	奈良県奈良市 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 平城京跡資料館講堂	伊藤 文彦 石井 智大 野嶌美沙子

名　　称	内 容	主　催　者	期　間	場　　所	出 席 者
埋蔵文化財保護 行政担当者会議	埋蔵文化財の 保存と活用 等	文化庁	H18.11. 7 (火) H18.11. 8 (水)	東京都港区 三田共用会議所	竹 内 英 昭
文化財行政講座	文化財行政の 現状と課題に ついて 等	文化庁	H18.11. 8 (水) ～ H18.11.10(金)	東京台東区 独立行政法人文化財研究所 東京文化財研究所	木 本 勝 己 大 塚 匡 基
第31回全国遺跡 環境整備会議	「史跡の整備・活 用と地域づくり ー管理･運営の望 ましい在り方ー」	第31回 全国遺跡環境整備 会議実行委員会	H18.11. 9 (木) H18.11.10(金)	栃木県宇都宮市 ホテルニューイタヤ	原田恵理子
「文化財の生物劣化対 策の研究」研究会	木質文化財の 生物劣化対策	独立行政法人文化財研究所 東京文化財研究所	H18.11.16(木)	東京都台東区 独立行政法人文化財研究所 東京文化財研究所	角 正 淳 子
第1回遺跡整備・活用 研究集会	遺跡の教育面 に関する活用	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所	H19. 1 .25(木) H19. 1 .26(金)	奈良県奈良市 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 平城京跡資料館講堂	前 野 謙 一
平成18年度埋蔵文化財 発掘技術者専門研修 「古代陶磁器調査課程」	古代遺跡出土中国･ 日本陶磁器の調査 研究に関して必要 な専門的知識と 技術の研修	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	H19. 2 . 1 (木) ～ H19. 2 . 9 (金)	奈良県奈良市 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所	伊 藤 文 彦
平成18年度埋蔵文化財 発掘技術者専門研修 「環境考古学（生物編） 課程」	遺跡の発掘にお いて、第四紀学 の成果を用いて 過去の自然環境を 推定復原する方法 を学ぶ研修	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	H19. 2 .21(水) ～ H19. 2 .28(水)	奈良県奈良市 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所	淺 尾　太

（3）類例調査

内　　容	場　所	期　日	職 員 名
東沖遺跡ほか出土遺物に関する資料調査	滋賀県埋蔵文化財センター	H19. 2 .26(月)	木 本 勝 己 大 塚 匡 基 穂 積 裕 昌 酒井巳紀子

（4）職員の派遣

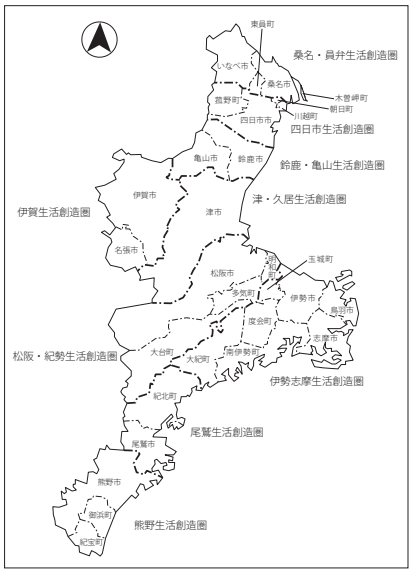
職員の経験や知識を活かすため、職員を派遣している。平成18年度は13件、16名の依頼にこたえた。

職 員 名	派 遣 日	内　　容
穂 積 裕 昌	H18. 5 .14(日)	鈴鹿市考古博物館特別展関連講座講師
奥　義 次	H18.10. 8 (日)	鈴鹿市考古博物館特別展講演会講師
竹 田 憲 治	H18. 8 . 5 (土)	斎宮歴史博物館友の会講座講師
河 北 秀 実	H18. 8 .24(木)	地域文化資産の発見・保全・活用研修会講師
穂 積 裕 昌	H18.10.25(水)	古代庭園研究集会
竹 田 憲 治	H18.11.20(月)	三重県史編さん資料調査
竹 内 英 昭	H19. 1 .14(日)	くわな歴史と文学を語る会講演会講師
川 崎 志 乃	H19. 2 .19(月)	発掘調査指導
東　敬 義	H19. 3 . 9 (金)	農業農村整備事業環境アドバイザー委員会、ため池生態調査・保全対策報告会講師
東　敬 義	通　　年	ため池希少生物等調査
竹 内 英 昭		弥生・古墳時代遺跡出土鏡データベース集成共同研究員
萩 原 義 彦		木簡研究第28号原稿執筆
上 村 安 生 小 濵　学 角 正 淳 子 新 名　強		三重県史執筆

6　行政資料

1　県内遺跡数

今年度より、教育事務所が廃止されたため、三重県生活創造圏ビジョン推進条例に策定された９つの生活創造圏によって区分した。それぞれの生活創造圏は右の通りである。



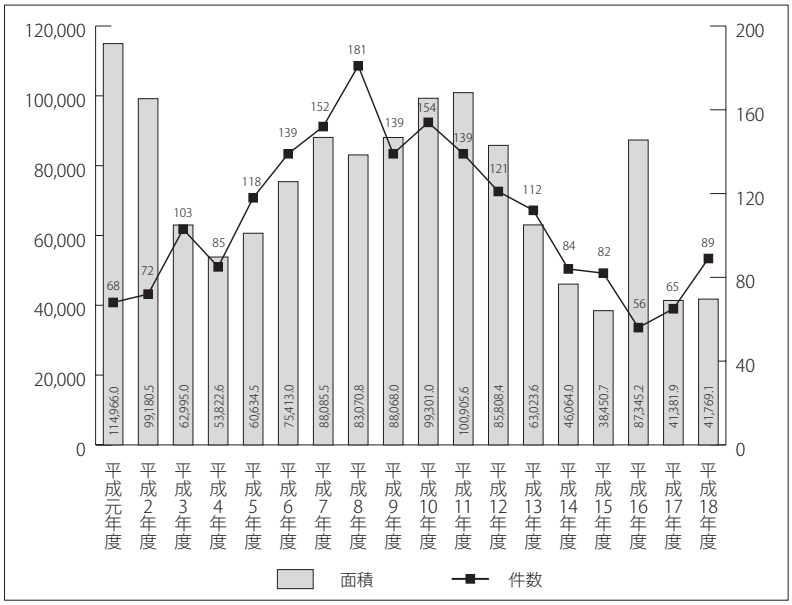
生活創造圏	散布地	貝塚	都城官衙跡	城館跡	社寺跡	生産遺跡	古墳・横穴	その他の墳墓	その他	合 計
桑名・員弁	272	3	0	86	21	8	176	33	11	610
四　日　市	324	0	1	57	21	22	308	15	2	750
鈴 鹿･亀 山	575	0	1	61	16	42	962	8	18	1,683
津・久　居	824	0	0	124	43	33	1,641	41	13	2,719
松阪・紀勢	1,105	0	1	96	58	46	1,562	5	5	2,878
伊 勢 志 摩	844	31	1	102	17	28	752	35	102	1,912
尾　　鷲	46	0	0	19	1	4	4	0	1	75
熊　　野	137	0	0	66	1	0	0	1	4	209
伊　　賀	547	0	1	675	271	31	1,521	40	66	3,152
合　　計	4,674	34	5	1,286	449	214	6,926	178	222	13,988

2　県内発掘調査の経年変化

（1）　県埋蔵文化財センター担当の発掘調査

三重県埋蔵文化財センターは平成元年に設立以来、18年間にわたって三重県内で発掘調査を実施してきた。この間、発掘調査の件数やその面積は、社会状況や行財政事情により大きく変化している。調査件数は平成元年度に68件であったが、その後増加を続け平成８年には181件とピークを迎えた。しかし、それ以降は減少していき、16年度には56件にまで落ち込んだものの17年度以降は再度上昇傾向にある。調査面積は、平成元年度は114,966㎡程であるが、以後は年々減少し４年度には53,822㎡となった。しかしその後再度増加し、11年度には100,905㎡とピークを迎える。その後再度減少し、14年度から18年度は40,000㎡前後で推移している。こうしてみると、件数、面積とも概ね10年を１サイクルとして、大きな波がみられる。

件数と面積とは、一般に件数が増加すれば面積も増加するという相関関係にあるが、決して正比例するものではない。１件についての調査面積は、一般的に事業内容に起因することが多い。すなわち原因事業が高速道路のように大規模な場合は面積も大きく、排水路工事のように小規模なものは当然その面積も小さくなる。発掘調査の業務量は、調査面積が大きな要素となることが多いので、以下、調査面積の推移について原因事業別にもう少し詳細にみていきたい。



県埋蔵文化財センター担当の発掘調査の経年変化

県農水商工部の事業に伴う発掘調査は、平成元年度は43,055㎡であるが、それ以後は年を追う毎に減少傾向にあり、18年度には4,081㎡と1/10以下にまで減少している。これは昭和の時代から継続して実施されてきた大規模な県営ほ

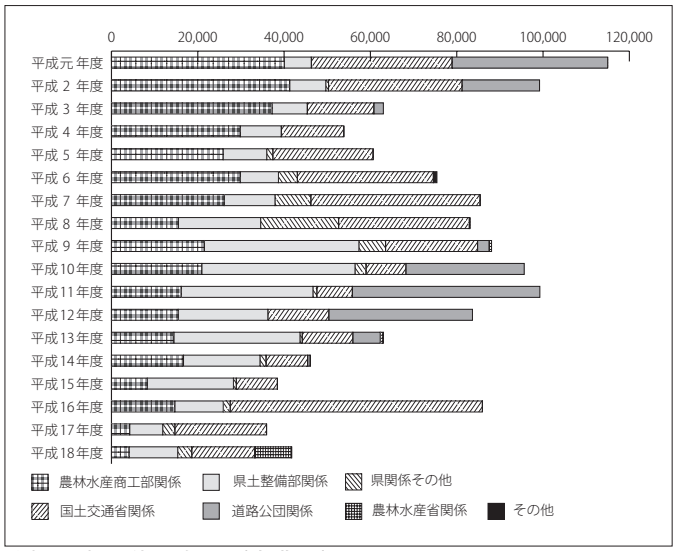
場整備事業が年々減少し、近年は中山間地域での開発やかんがい排水などの小規模な事業が主流となっていることが原因と考えられる。

県土整備部の事業に伴う発掘調査は、主に道路建設に伴うものであるが、通常の年度は10,000㎡前後である。しかしながら、８～15年度までの間は20,000～35,000㎡程になっており、とりわけ９～11年が突出している。これは、三重県が道路網の整備に取り組んだ時期であり、また第二名神を始めとする高速道路網整備に関連した取り付け道などの県道の調査が加わったことが原因である。

国土交通省事業は、各年度により増減はあるが、10,000～40,000㎡程で推移している。国土交通省事業の調査面積が増減する要因は原因事業の数である。平成元・２年は30,000㎡程であるが、これは中勢道路と国道１号亀山バイパスの事業が大きな面積が占めていたためである。その後、平成３～４年は亀山バイパスの終焉に伴い減少するが、５～９年には中勢道路に加えて松阪多気バイパスや東海環状自動車道の新規事業が加わったために調査面積が増加した。10年度以降はまたも減少していくが、17・18年度に再び増加するのは松阪多気バイパスが再度加わったためである。なお、16年度の面積は揖斐川護岸工事に伴う膨大な工事立会面積を加算したための異常値である。

中日本高速道路株式会社（旧　日本道路公団）事業は高速道路建設に伴う事業であるが、調査が無い年もあれば、面積が40,000㎡を越える年もある。元年から３年にかけては近畿自動車道関・伊勢線（勢和～伊勢）、８年から14年にかけては第二名神（愛知県境～四日市ＪＣＴ）などの事業が原因となって発掘調査が行われたものである。このように数年を１サイクルとして発掘調査が増減するのは、高速道路建設はインターからインターまでの間を一気に短期間で工事開通させるため、必然的にそれに伴う事前の発掘調査も短期間に実施するためである。また、高速道路は道路幅も広いうえにインター部分などもあり、一旦調査が始まると調査面積が莫大な数字になる。

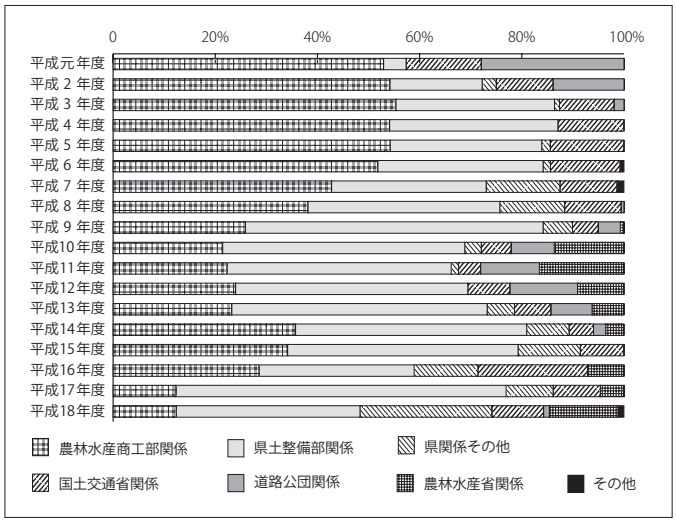
三重県は20年に一度の伊勢神宮の遷宮に合わせて道路網の整備を行っており、それに伴って発掘調査面積は大きく左右される。開発事業に伴う事前の発掘調査であるため、当然、開発のピークの何年か前に発掘のピークが訪れる。しかし、20年のサイクルでは道路事業としては期間が長すぎるため、ピークとピークの間に例えば平成８年から14年にかけての第二名神事業のような大規模な事業を組み込んでおり、これが結果的に10年１サイクルの大きな波となっている。



発掘調査面積の変化（事業別）

その他に分類したものは、郵政省事業、農林水産省事業などであるが、調査としては比較的小規模であり、かつ単発的な場合が多い。

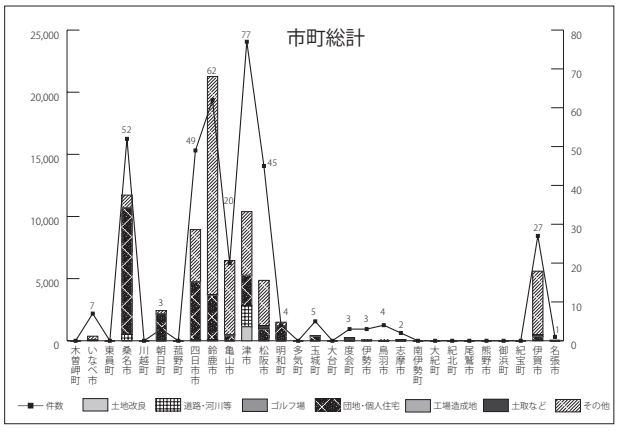
以上のように推移してきた三重県の発掘調査であるが、今後はどのような推移をたどるのであろうか。農林水産事業や道路事業などの県事業は、現在の三重県の財政状況を考慮すれば、今後大きく展開することは考えにくく、これから先も数年はこのまま下げ止まりの状態が続くであろう。一方、国土交通省事業や中日本高速道路事業については、現在は比較的安定しているが、今後は東海環状自動車道や第二名神の四日市ＪＣＴ～四日市北ＪＣＴ間の建設が計画されており、数年後には膨大な調査面積になることが予想される。

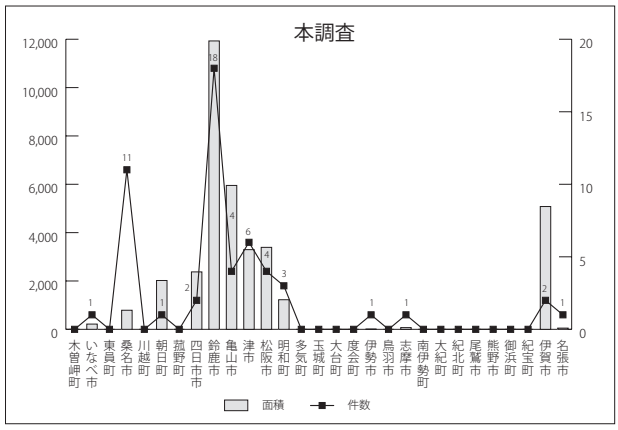


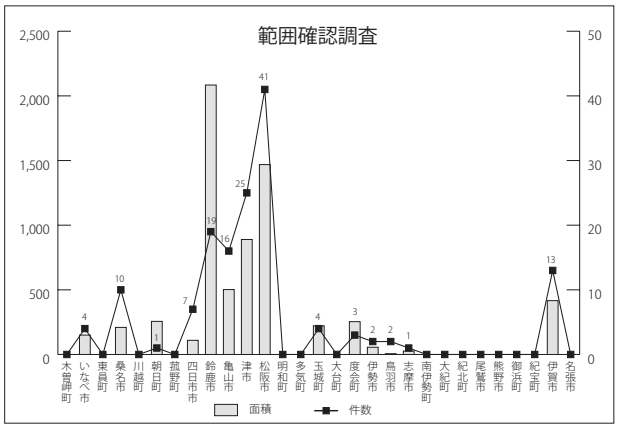
発掘調査件数の変化（事業別）

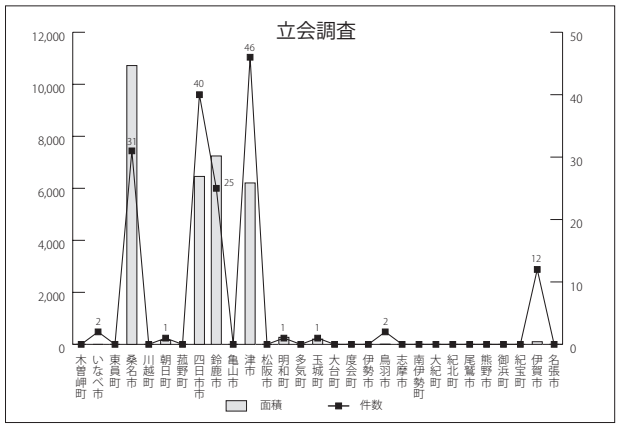
（2） 平成 18 年度における市町の発掘調査

	土地改良		道路･河川等		ゴルフ場		団地･個人住宅		工場造成地		土取など		その他		合計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
木曽岬町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
いなべ市	1件	40.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	2件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	4件	327.0㎡	7件	367.0㎡
東員町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
桑名市	0件	0.0㎡	4件	527.0㎡	0件	0.0㎡	35件	10,175.1㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	13件	1,016.8㎡	52件	11,718.9㎡
川越町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
朝日町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	2件	2,170.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	1件	256.0㎡	3件	2,426.0㎡
菰野町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
四日市市	0件	0.0㎡	1件	66.0㎡	0件	0.0㎡	29件	4,656.5㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	19件	4,220.0㎡	49件	8,942.5㎡
鈴鹿市	0件	0.0㎡	1件	85.0㎡	0件	0.0㎡	40件	3,563.6㎡	3件	53.0㎡	0件	0.0㎡	18件	17,556.5㎡	62件	21,258.1㎡
亀山市	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	9件	400.0㎡	2件	90.0㎡	0件	0.0㎡	9件	5,964.5㎡	20件	6,454.5㎡
津市	1件	1,129.0㎡	3件	1,707.1㎡	0件	0.0㎡	27件	2,422.8㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	46件	5,132.7㎡	77件	10,391.6㎡
松阪市	0件	0.0㎡	1件	24.0㎡	0件	0.0㎡	25件	880.8㎡	2件	36.0㎡	5件	284.0㎡	12件	3,635.0㎡	45件	4,859.8㎡
明和町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	2件	1,200.5㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	2件	294.0㎡	4件	1,494.5㎡
多気町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
玉城町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	4件	358.8㎡	0件	0.0㎡	1件	64.0㎡	0件	0.0㎡	5件	422.8㎡
大台町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
度会町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	3件	253.8㎡	0件	0.0㎡	3件	253.8㎡
伊勢市	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	1件	30.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	2件	34.0㎡	3件	64.0㎡
鳥羽市	0件	0.0㎡	1件	2.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	3件	8.0㎡	4件	10.0㎡
志摩市	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	2件	97.5㎡	2件	97.5㎡
南伊勢町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
大紀町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
紀北町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
尾鷲市	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
熊野市	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
御浜町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
紀宝町	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡
伊賀市	3件	43.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	16件	288.8㎡	1件	15.5㎡	1件	140.0㎡	6件	5,111.2㎡	27件	5,598.5㎡
名張市	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	0件	0.0㎡	1件	50.0㎡	1件	50.0㎡
合計	5件	1,212.0㎡	11件	2,411.1㎡	0件	0.0㎡	192件	26,146.8㎡	8件	194.5㎡	10件	741.8㎡	138件	43,703.2㎡	364件	74,409.4㎡









（3） 県内発掘調査の経年変化

		三重県埋蔵文化財センター担当								斎宮歴史博物館担当	その他の県組織担当	市町担当								他機関担当	合計
		農林水産商工部関係	県土整備部関係	県関係その他	国土交通省関係	道路公団関係	農林水産省関係	その他	小計			土地改良等	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他	小計		
平成元年度	件数	36	3	0	10	19	0		68	21	0	3	12	1	13	4	3	15	51	0	200
	面積	40,055.0	6,234.0	0.0	32,620.0	36,057.0	0.0		114,966.0	11,471.0	0.0	1,800.0	15,900.0	300.0	30,500.0	6,800.0	3,400.0	16,200.0	74,900.0	0.0	211,238.0
平成2年度	件数	39	13	2	8	10	0		72	11	0	9	9	2	20	10	5	13	68	0	174
	面積	41,295.5	8,356.0	648.0	30,922.0	17,959.0	0.0		99,180.5	5,697.0	0.0	16,900.0	19,700.0	3,500.0	27,900.0	15,400.0	8,000.0	17,300.0	108,700.0	0.0	217,668.0
平成3年度	件数	57	32	1	11	2	0		103	8	0	9	14	2	40	13	0	14	92	0	210
	面積	37,234.0	8,108.0	8.0	15,453.0	2,192.0	0.0		62,995.0	5,534.0	0.0	13,700.0	10,100.0	10,200.0	51,800.0	12,400.0	0.0	9,800.0	108,000.0	0.0	178,822.0
平成4年度	件数	46	28	0	11	0	0		85	9	0	6	13	4	38	17	3	28	109	0	212
	面積	29,842.6	9,478.0	0.0	14,502.0	0.0	0.0		53,822.6	3,954.0	0.0	13,700.0	14,000.0	15,600.0	15,400.0	45,200.0	500.0	8,000.0	112,400.0	0.0	172,913.0
平成5年度	件数	64	35	2	17	0	0		118	13	0	15	12	0	29	7	3	35	101	0	230
	面積	25,885.5	10,086.0	1,436.0	23,227.0	0.0	0.0		60,634.5	4,760.0	0.0	15,200.0	13,300.0	0.0	20,000.0	22,000.0	200.0	20,000.0	90,700.0	0.0	154,965.0
平成6年度	件数	72	45	2	19	0	0	1	139	9	0	10	14	0	31	3	8	37	103	0	253
	面積	29,842.0	8,845.0	4,379.0	31,531.0	0.0	0.0	816.0	75,413.0	3,770.0	0.0	24,347.0	8,651.0	0.0	13,788.0	830.0	440.0	20,511.0	68,567.0	0.0	150,062.0
平成7年度	件数	65	46	22	17	0	0	2	152	5	0	9	15	0	29	6	4	43	106	0	259
	面積	26,116.5	11,765.0	8,333.0	39,215.0	0.0	0.0	2,656.0	88,085.5	3,425.0	0.0	18,191.0	10,717.0	0.0	5,252.0	2,947.0	1,001.0	18,457.0	56,565.0	0.0	149,612.0
平成8年度	件数	69	68	23	20	1	0		181	10	0	10	23	0	157	3	6	40	239	0	431
	面積	15,509.0	19,053.8	18,076.0	30,272.0	160.0	0.0		83,070.8	3,986.0	0.0	21,293.0	6,769.0	0.0	43,038.0	842.0	1,325.0	19,324.0	92,591.0	0.0	179,512.0
平成9年度	件数	36	81	8	7	6	1		139	11	0	24	31	0	81	2	9	72	219	0	370
	面積	21,509.0	35,816.0	6,193.0	21,313.0	2,637.0	600.0		88,068.0	4,155.0	0.0	34,484.0	34,810.0	0.0	11,157.0	124.0	322.0	13,396.0	94,293.0	0.0	185,316.0
平成10年度	件数	33	73	5	9	13	21		154	6	1	7	27	0	114	4	5	99	256	0	413
	面積	20,924.0	35,500.0	2,558.0	9,241.0	27,401.0	3,677.0		99,301.0	2,025.0	48.0	5,123.0	18,432.0	0.0	29,527.0	5,605.0	5,788.0	23,111.0	87,586.0	0.0	187,394.0
平成11年度	件数	31	61	2	6	16	23		139	8	0	17	27	0	106	7	3	53	213	0	363
	面積	16,157.5	30,522.0	926.0	8,204.0	43,452.5	1,643.6		100,905.6	3,622.0	0.0	14,449.0	11,030.0	0.0	12,317.0	3,844.0	802.0	14,351.0	56,793.0	0.0	163,943.0
平成12年度	件数	29	55	0	10	16	11		121	11	0	10	34※	0	98	6	4	120	238	0	370
	面積	15,459.0	20,760.0	0.0	14,150.0	33,271.0	2,168.4		85,808.4	2,115.0	0.0	12,104.0	14379※	0.0	62,810.0	4,153.0	3,320.0	35,215.0	117,602.0	0.0	205,526.0
平成13年度	件数	26	56	6	8	9	7		112	17	0	6	26※	0	119	4	11	96	236	0	365
	面積	14,454.0	29,219.0	529.0	11,730.0	6,331.5	760.0		63,023.6	3,349.5	0.0	8,837.0	13679.4※	0.0	18,062.5	391.0	361.0	21,606.4	49,257.9	0.0	115,621.0
平成14年度	件数	30	38	7	4	2	3		84	23	0	3	62	0	89	5	7	41	207	0	310
	面積	16,694.0	17,710.0	1,412.0	9,644.0	534.0	70.0		46,064.0	2,007.0	0.0	7,040.0	48,017.2	0.0	13,859.5	292.0	407.0	14,431.0	84,046.7	0.0	132,117.7
平成15年度	件数	28	37	10	7	0	0		82	21	0	3	37	0	91	12	5	72	220	0	315
	面積	8,299.0	19,957.2	667.0	9,527.5	0.0	0.0		38,450.7	2,586.3	0.0	5,070.0	44,399.6	0.0	10,323.1	4,789.2	394.0	27,149.7	92,125.5	0.0	133,162.5
平成16年度	件数	16	17	7	12	0	4		56	26	0	2	29	0	135	3	2	89	260	1	340
	面積	14,673.5	11,224.0	1,617.7	58,422.0	0.0	1,408.0		87,345.2	3,345.8	0.0	1,508.0	25,001.7	0.0	79,921.9	1,492.0	32.0	368,906.0	476,861.7	200.0	567,752.7
平成17年度	件数	8	42	6	6	0	3		65	13	0	0	14	0	210	0	1	122	347	1	426
	面積	4,218.0	7,652.9	2,833.0	21,235.0	0.0	5,443.0		41,381.9	3,862.3		0.0	16,135.2	0.0	37,799.4	0.0	200.0	25,520.4	79,655.0	200.0	125,099.2
平成18年度	件数	11	32	23	9	1	12	1	89	14	0	5	11	0	192	8	10	138	364		467
	面積	4,081.5	11,263.2	3,274.7	14,603.7	60.0	8,402.0	84.0	41,769.1	2,324.0		1212.0	2,411.1	0.0	26,146.8	194.5	741.8	43,703.2	74,409.4		118,502.5

平成 18 年度
三重県埋蔵文化財年報

2007（平成19）年8月
編集・発行　三重県埋蔵文化財センター
印　　刷　東 海 印 刷 株 式 会 社